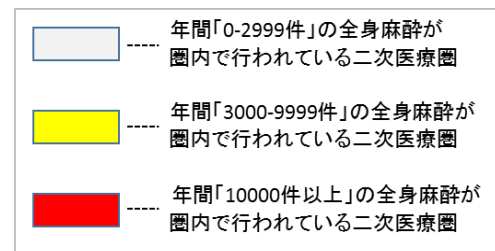
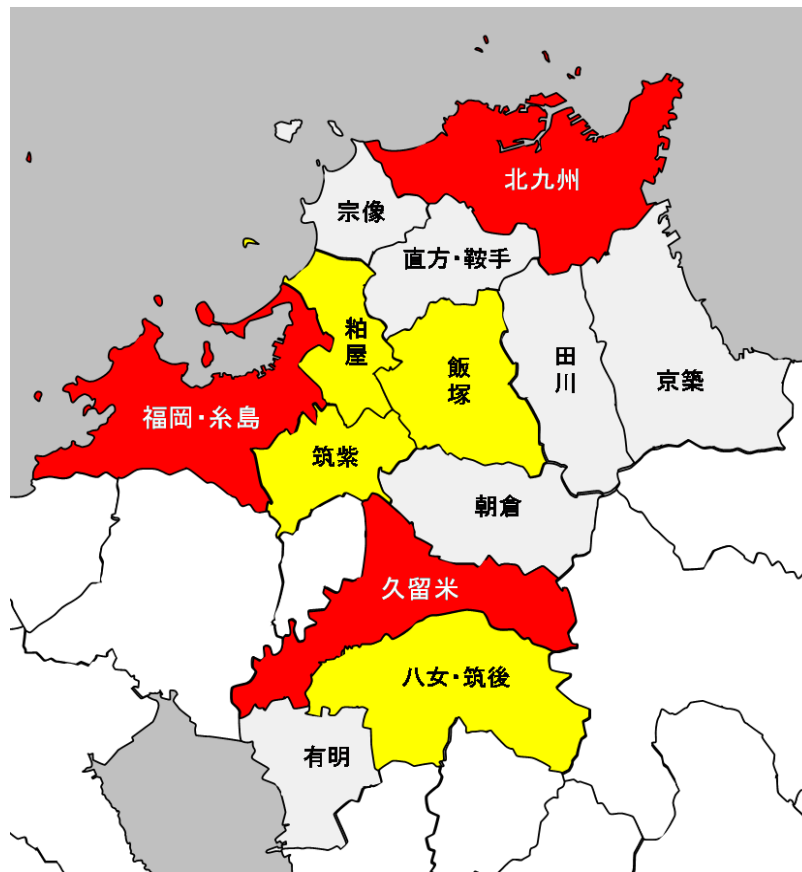


# 40. 福岡県

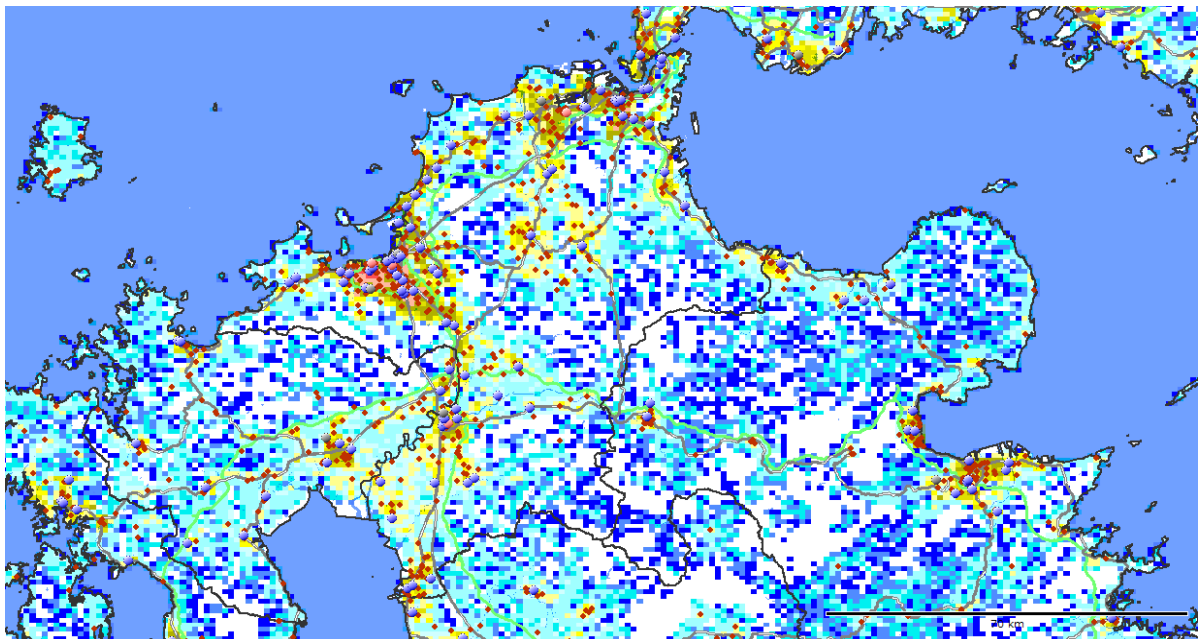


目次

福岡県	40	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	40	-	8
1. 福岡・糸島医療圏	40	-	26
2. 粕屋医療圏	40	-	31
3. 宗像医療圏	40	-	36
4. 筑紫医療圏	40	-	41
5. 朝倉医療圏	40	-	46
6. 久留米医療圏	40	-	51
7. 八女・筑後医療圏	40	-	56
8. 有明医療圏	40	-	61
9. 飯塚医療圏	40	-	66
10. 直方・鞍手医療圏	40	-	71
11. 田川医療圏	40	-	76
12. 北九州医療圏	40	-	81
13. 京築医療圏	40	-	86

# 40. 福岡県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （福岡県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 福岡県は、総人口約5046千人（2015年推計）、面積4977km<sup>2</sup>、人口密度は1014人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 福岡県の総人口は2025年に4856千人へと減少し（2015年比-4%）、2040年に4379千人へと減少する（2025年比-10%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の648千人が、2025年にかけて869千人へと増加し（2015年比+34%）、2040年には916千人へと増加する（2025年比+5%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 福岡県の一人当たり医療費（国保）は343千円（偏差値56）、介護給付費は266千円（偏差値53）であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 福岡県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.2、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が57（病院医師数57、診療所医師数55）と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 福岡県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、71361人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が40896床（偏差値53）、高齢者住宅等が30465床（偏差値55）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、51768人（75歳以上1000人当たりの偏差値53）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム55、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員（在宅）の合計は、9420人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

福岡県の総人口は、2005年5049908人が、2015年に5045624人と1%未満減少し、2025年の人口が4855724人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

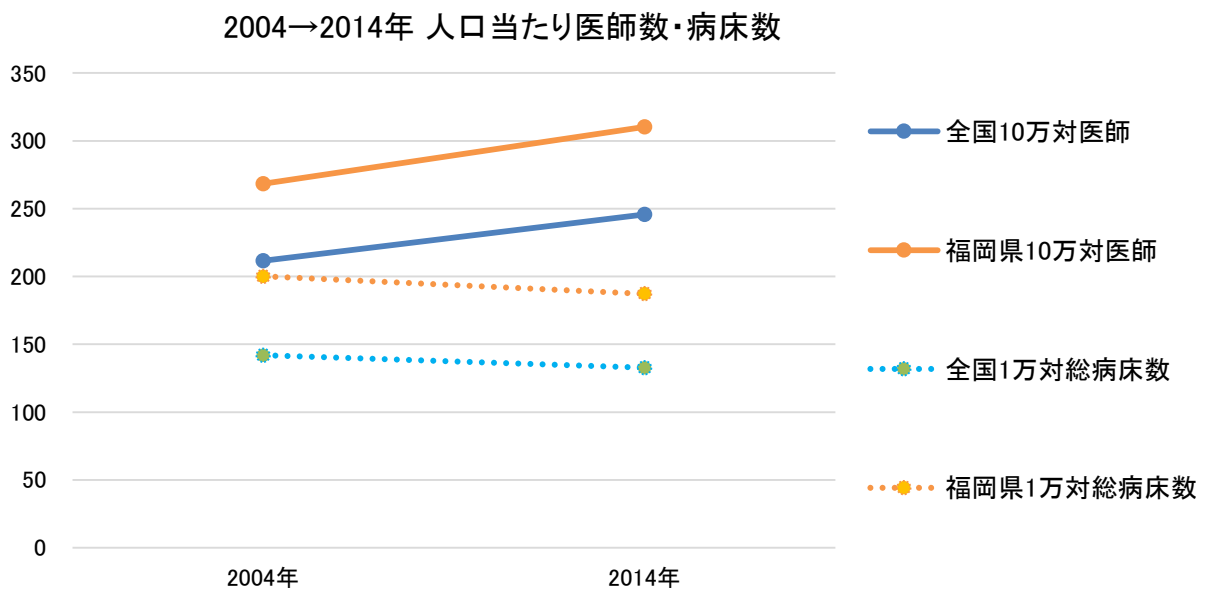
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が481(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に460(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で21病院が減少した。

2004年の診療所数が4357(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に4587(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値56)と、230診療所が増加した。

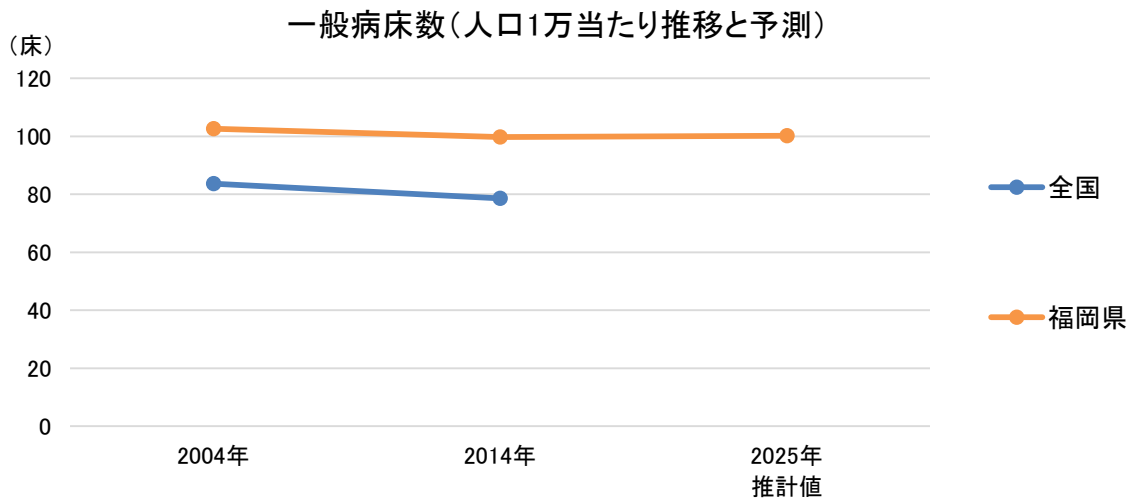
2004年の総病床数が101039床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に94486床(人口1万人当たり187(全国平均133)偏差値60)と、6553床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が13556人(人口10万人当たり268人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に15660人(人口10万人当たり310人(全国平均246人)偏差値57)と、2104人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



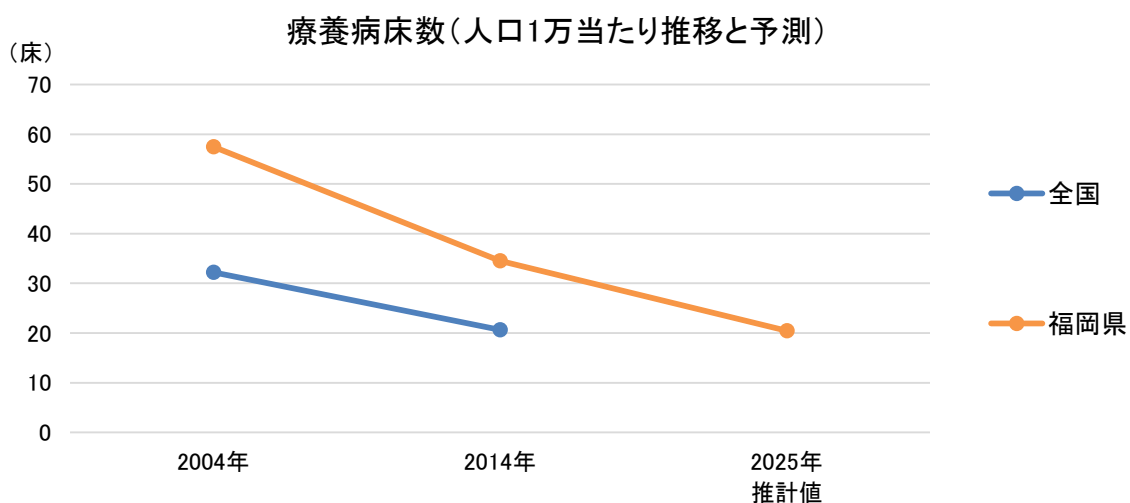
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が51820床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に50305床(人口1万人当たり100(全国平均79)偏差値58)と、1515床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には48640床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



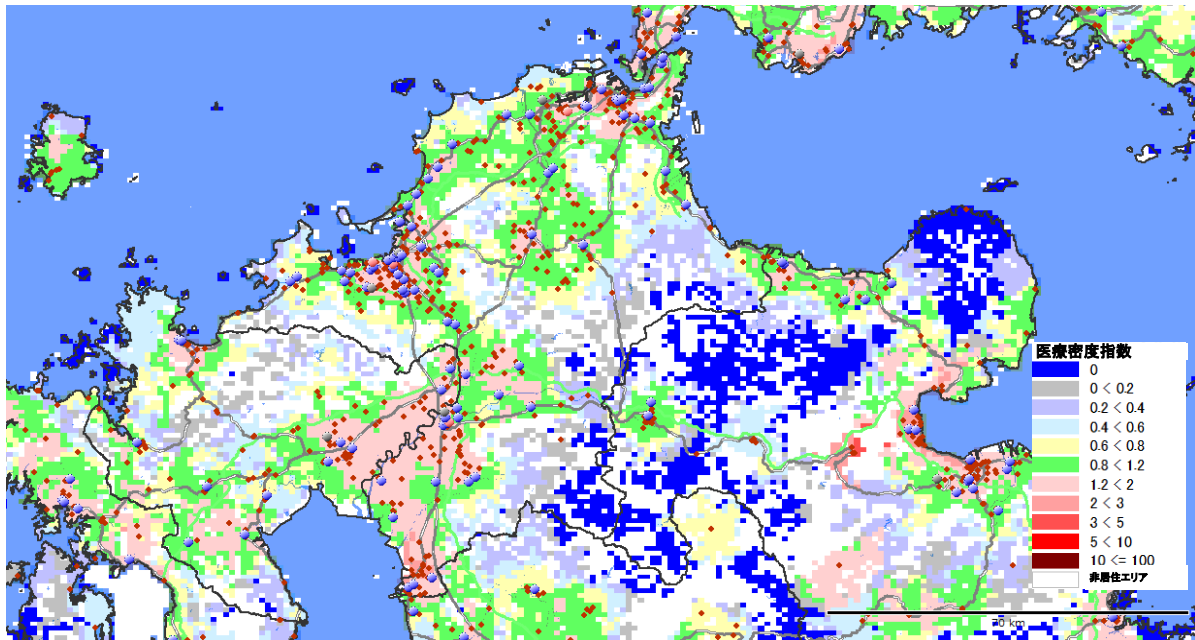
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が26543床(75歳以上1000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に22364床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値62)と、4179床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には17769床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

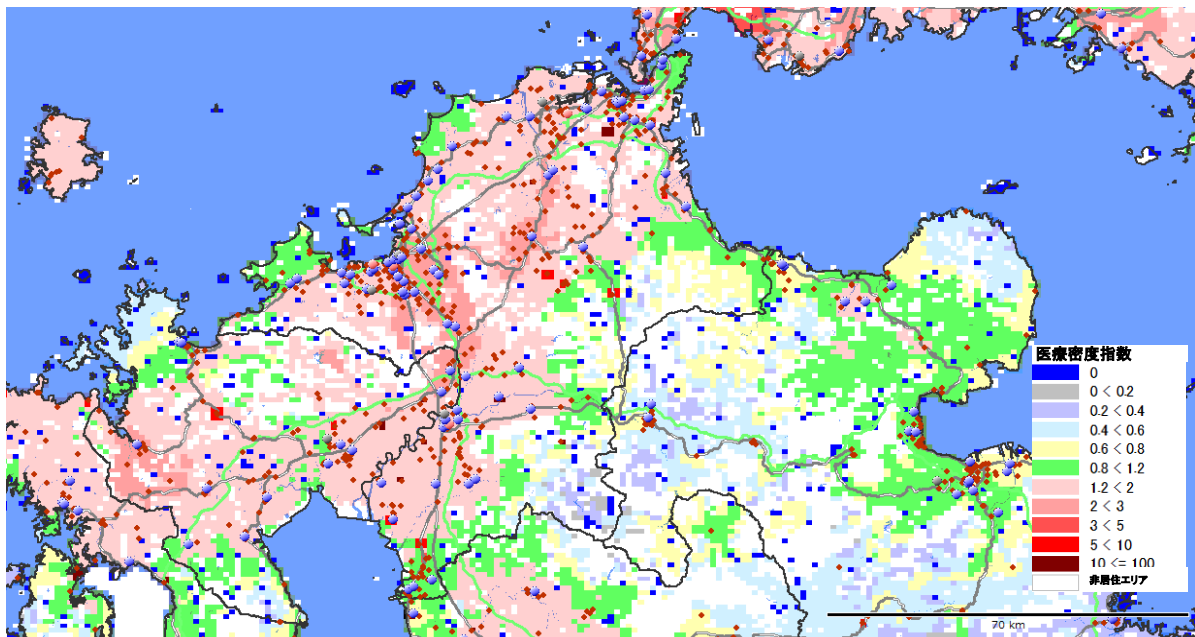


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-2 慢性期医療密度指数マップ



40. 福岡県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 40-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
福岡県	5,046	9位	4,977	29位	1,013.7		26%	4,856	4,379	648	869	916	-4%	-10%	34%	5%
福岡・糸島	1,596	32%	557	11%	2,863.4	大都市型	22%	1,603	1,522	164	245	293	0%	-5%	49%	20%
粕屋	280	6%	207	4%	1,356.6	地方都市型	22%	286	282	27	41	45	2%	-1%	52%	10%
宗像	150	3%	172	3%	870.4	地方都市型	28%	144	128	20	28	30	-4%	-11%	40%	7%
筑紫	428	8%	233	5%	1,832.8	地方都市型	22%	426	403	42	64	75	0%	-5%	52%	17%
朝倉	84	2%	366	7%	230.9	地方都市型	31%	77	64	14	16	16	-8%	-17%	14%	0%
久留米	451	9%	468	9%	963.5	地方都市型	27%	425	371	61	78	82	-6%	-13%	28%	5%
八女・筑後	134	3%	562	11%	237.6	地方都市型	30%	124	107	21	25	25	-7%	-14%	19%	0%
有明	222	4%	264	5%	843.2	地方都市型	34%	195	155	40	45	41	-12%	-21%	13%	-9%
飯塚	181	4%	369	7%	490.3	地方都市型	30%	166	141	28	34	32	-8%	-15%	21%	-6%
直方・鞍手	109	2%	252	5%	431.8	地方都市型	33%	98	81	18	22	20	-10%	-17%	22%	-9%
田川	128	3%	364	7%	351.3	地方都市型	33%	114	94	22	25	21	-11%	-18%	14%	-16%
北九州	1,098	22%	597	12%	1,839.0	大都市型	30%	1,028	888	164	213	204	-6%	-14%	30%	-4%
京築	185	4%	566	11%	326.4	地方都市型	30%	170	144	28	34	32	-8%	-15%	21%	-6%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 40-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
福岡県	1.20	1.70	-12.1%	-18.1%
福岡・糸島	1.25	1.82	-31.1%	-56.9%
粕屋	1.12	1.81	-26.2%	-39.4%
宗像	0.96	1.69	-39.4%	-46.8%
筑紫	1.02	1.99	-40.7%	-64.2%
朝倉	0.94	2.11	-7.5%	-8.0%
久留米	1.18	1.69	-26.0%	-31.2%
八女・筑後	1.05	2.19	-0.6%	-1.9%
有明	1.52	1.20	1.6%	10.3%
飯塚	1.06	1.62	10.6%	15.2%
直方・鞍手	0.84	1.58	24.0%	31.4%
田川	0.93	1.89	40.1%	47.9%
北九州	1.39	1.90	-18.1%	-13.1%
京築	0.74	1.60	9.9%	15.0%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 40-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
福岡県	343	56	1.204	266	53
福岡・糸島	307	47	1.067	265	53
粕屋	338	55	1.088	254	50
宗像	347	57	1.019	230	44
筑紫	318	50	1.032	225	42
朝倉	376	64	1.158	277	56
久留米	352	58	1.123	265	53
八女・筑後	353	58	1.123	264	53
有明	392	68	1.183	287	59
飯塚	356	59	1.115	318	67
直方・鞍手	362	61	1.100	279	57
田川	354	59	1.131	279	57
北九州	371	63	1.135	273	55
京築	386	66	1.118	250	49
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 40-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
福岡県	460	5.4%	9.1	56	4,587	4.6%	91	56
福岡・糸島	123	27%	7.7	52	1,551	34%	97	59
粕屋	26	6%	9.3	56	167	4%	60	40
宗像	14	3%	9.3	56	113	2%	75	48
筑紫	26	6%	6.1	48	288	6%	67	44
朝倉	8	2%	9.5	57	73	2%	86	54
久留米	49	11%	10.9	60	453	10%	101	61
八女・筑後	14	3%	10.5	59	117	3%	88	54
有明	33	7%	14.8	70	221	5%	99	60
飯塚	22	5%	12.1	63	170	4%	94	57
直方・鞍手	12	3%	11.0	61	102	2%	94	57
田川	16	3%	12.5	64	110	2%	86	53
北九州	102	22%	9.3	56	1,059	23%	96	59
京築	15	3%	8.1	53	163	4%	88	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

40. 福岡県 (2016年版)

資\_図表 40-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,461		79	(19.5)			73	(19.0)			6.6	(6.6)
福岡県	4,587	4.6%	91	56	3,985	4.3%	79	53	602	7.2%	11.9	58
福岡・糸島	1,551	34%	97	59	1,385	35%	87	57	166	28%	10.4	56
粕屋	167	4%	60	40	148	4%	53	39	19	3%	6.8	50
宗像	113	2%	75	48	93	2%	62	44	20	3%	13.3	60
筑紫	288	6%	67	44	248	6%	58	42	40	7%	9.4	54
朝倉	73	2%	86	54	65	2%	77	52	8	1%	9.5	54
久留米	453	10%	101	61	372	9%	83	55	81	13%	18.0	67
八女・筑後	117	3%	88	54	102	3%	76	52	15	2%	11.2	57
有明	221	5%	99	60	182	5%	82	55	39	6%	17.5	66
飯塚	170	4%	94	57	139	3%	77	52	31	5%	17.1	66
直方・鞍手	102	2%	94	57	93	2%	86	57	9	1%	8.3	53
田川	110	2%	86	53	90	2%	70	49	20	3%	15.7	64
北九州	1,059	23%	96	59	928	23%	85	56	131	22%	11.9	58
京築	163	4%	88	55	140	4%	76	52	23	4%	12.4	59
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,568,261		1,238	(503)			89	(106)			1,327	(565)
福岡県	86,071	5.5%	1,706	59	8,415	7.5%	167	57	94,486	5.6%	1,873	60
福岡・糸島	22,685	26%	1,421	54	2,140	25%	134	54	24,825	26%	1,555	54
粕屋	4,663	5%	1,663	58	283	3%	101	51	4,946	5%	1,764	58
宗像	2,513	3%	1,675	59	276	3%	184	59	2,789	3%	1,859	59
筑紫	4,846	6%	1,133	48	644	8%	151	56	5,490	6%	1,283	49
朝倉	1,396	2%	1,653	58	121	1%	143	55	1,517	2%	1,796	58
久留米	9,170	11%	2,035	66	1,175	14%	261	66	10,345	11%	2,295	67
八女・筑後	2,339	3%	1,751	60	169	2%	126	54	2,508	3%	1,877	60
有明	5,872	7%	2,642	78	583	7%	262	66	6,455	7%	2,905	78
飯塚	3,902	5%	2,155	68	493	6%	272	67	4,395	5%	2,427	69
直方・鞍手	1,978	2%	1,821	62	127	2%	117	53	2,105	2%	1,938	61
田川	3,266	4%	2,556	76	318	4%	249	65	3,584	4%	2,805	76
北九州	20,812	24%	1,896	63	1,790	21%	163	57	22,602	24%	2,059	63
京築	2,629	3%	1,422	54	296	4%	160	57	2,925	3%	1,582	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 40-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
福岡県	42,914	4.8%	851	56	21,340	6.5%	423	58	21,476	6.4%	426	57
福岡・糸島	13,019	30%	816	55	5,169	24%	324	53	4,431	21%	278	50
粕屋	2,154	5%	768	53	1,415	7%	505	62	1,026	5%	366	55
宗像	814	2%	543	43	731	3%	487	61	968	5%	645	67
筑紫	1,980	5%	463	39	1,551	7%	363	55	1,311	6%	306	52
朝倉	602	1%	713	50	454	2%	538	63	340	2%	403	56
久留米	4,706	11%	1,044	65	2,409	11%	535	63	2,049	10%	455	59
八女・筑後	1,048	2%	784	53	825	4%	617	67	464	2%	347	54
有明	2,849	7%	1,282	75	1,281	6%	576	65	1,692	8%	761	73
飯塚	2,385	6%	1,317	77	588	3%	325	53	929	4%	513	61
直方・鞍手	674	2%	621	46	511	2%	470	60	730	3%	672	68
田川	1,019	2%	798	54	323	2%	253	50	1,916	9%	1,500	106
北九州	10,941	25%	997	63	5,119	24%	466	60	4,678	22%	426	57
京築	723	2%	391	36	964	5%	521	62	942	4%	510	61
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
福岡県	4,407	6.3%	87	57	3,744	10.4%	74	58
福岡・糸島	1,417	32%	89	57	1,172	31%	73	58
粕屋	164	4%	58	51	78	2%	28	49
宗像	49	1%	33	45	145	4%	97	63
筑紫	170	4%	40	47	89	2%	21	47
朝倉	86	2%	102	60	106	3%	126	69
久留米	601	14%	133	67	174	5%	39	51
八女・筑後	188	4%	141	68	233	6%	174	79
有明	286	6%	129	66	206	6%	93	62
飯塚	133	3%	73	54	325	9%	179	80
直方・鞍手	91	2%	84	56	105	3%	97	63
田川	61	1%	48	48	4	0%	3	44
北九州	1,000	23%	91	58	1,037	28%	94	63
京築	161	4%	87	57	70	2%	38	51
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

40. 福岡県（2016年版）

資\_図表 40-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
福岡県	17,476	15,216	1,425	68,551	27,819	19,891	35.4%	43	6.7%	49
福岡・糸島	5,983	5,598	174	16,787	7,635	4,872	42.3%	46	3.4%	48
粕屋	930	880	0	3,758	1,270	1,444	40.9%	45	0.0%	46
宗像	0	0	0	2,513	814	731	0.0%	29	0.0%	46
筑紫	760	430	0	4,142	1,604	1,555	21.1%	37	0.0%	46
朝倉	0	0	0	1,414	602	454	0.0%	29	0.0%	46
久留米	465	465	0	8,634	4,214	2,365	9.9%	33	0.0%	46
八女・筑後	563	561	0	1,776	487	825	53.5%	51	0.0%	46
有明	1,186	1,068	68	4,686	1,768	1,226	37.7%	44	5.3%	48
飯塚	493	493	0	3,403	1,886	588	20.7%	37	0.0%	46
直方・鞍手	473	310	100	1,505	364	411	46.0%	47	19.6%	55
田川	683	527	148	2,500	492	175	51.7%	50	45.8%	66
北九州	5,828	4,884	823	14,916	5,960	4,393	45.0%	47	15.8%	53
京築	112	0	112	2,517	723	852	0.0%	29	11.6%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 40-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福岡県	144,336	5.1%	2,861	56	50,508	4.9%	1,001	57
福岡・糸島	57,588	40%	3,608	63	13,368	26%	837	51
粕屋	3,912	3%	1,395	42	2,004	4%	715	47
宗像	1,260	1%	840	37	1,548	3%	1,032	58
筑紫	7,116	5%	1,664	45	3,756	7%	878	52
朝倉	972	1%	1,151	40	636	1%	753	48
久留米	18,120	13%	4,020	67	11,424	23%	2,535	110
八女・筑後	4,512	3%	3,377	61	1,368	3%	1,024	58
有明	4,092	3%	1,841	46	1,992	4%	896	53
飯塚	4,272	3%	2,359	51	2,040	4%	1,127	61
直方・鞍手	1,104	1%	1,016	39	456	1%	420	36
田川	1,668	1%	1,305	41	756	1%	592	42
北九州	37,428	26%	3,409	61	9,684	19%	882	53
京築	2,292	2%	1,240	41	1,476	3%	798	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
福岡県	16,680	4.9%	331	57	10,624	5.1%	211	57	6,056	4.6%	120	55
福岡・糸島	5,893	35%	369	61	3,642	34%	228	59	2,251	37%	141	62
粕屋	593	4%	212	44	370	3%	132	45	223	4%	80	43
宗像	335	2%	224	45	189	2%	126	44	147	2%	98	48
筑紫	974	6%	228	46	570	5%	133	45	404	7%	94	47
朝倉	209	1%	247	48	117	1%	139	46	91	2%	108	51
久留米	2,201	13%	488	74	1,626	15%	361	79	575	9%	128	57
八女・筑後	346	2%	259	49	198	2%	148	47	147	2%	110	52
有明	692	4%	311	55	416	4%	187	53	276	5%	124	57
飯塚	685	4%	378	62	500	5%	276	66	185	3%	102	50
直方・鞍手	270	2%	248	48	143	1%	132	45	127	2%	117	54
田川	337	2%	264	49	201	2%	158	49	135	2%	106	51
北九州	3,789	23%	345	58	2,480	23%	226	59	1,310	22%	119	55
京築	356	2%	193	42	172	2%	93	39	185	3%	100	49
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
福岡県	696	4.4%	13.8	52	619	5.0%	12.3	55	441	4.2%	8.7	51
福岡・糸島	272	39%	17.0	57	232	37%	14.5	60	189	43%	11.8	59
粕屋	36	5%	12.8	51	28	5%	10.0	50	15	3%	5.3	42
宗像	14	2%	9.3	46	11	2%	7.3	44	7	2%	4.7	41
筑紫	34	5%	7.9	43	42	7%	9.8	50	16	4%	3.7	38
朝倉	9	1%	10.7	47	9	1%	10.7	52	0	0%	0	28
久留米	56	8%	12.4	50	101	16%	22.4	77	66	15%	14.6	67
八女・筑後	9	1%	6.7	42	9	1%	6.7	43	6	1%	4.5	40
有明	27	4%	12.1	50	16	3%	7.2	44	10	2%	4.5	40
飯塚	36	5%	19.9	61	18	3%	9.9	50	12	3%	6.6	46
直方・鞍手	9	1%	8.3	44	8	1%	7.4	45	2	0%	1.8	33
田川	13	2%	10.2	47	12	2%	9.4	49	6	1%	4.7	41
北九州	171	25%	15.6	55	126	20%	11.5	54	106	24%	9.7	54
京築	10	1%	5.4	40	7	1%	3.8	37	6	1%	3.2	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

40. 福岡県（2016年版）

資\_図表 40-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
福岡県	214	4.1%	4.2	50	375	4.0%	7.4	50	302	4.0%	6.0	50
福岡・糸島	79	37%	4.9	54	150	40%	9.4	56	119	39%	7.5	56
粕屋	9	4%	3.2	46	10	3%	3.6	38	10	3%	3.6	41
宗像	5	2%	3.3	46	9	2%	6.0	46	7	2%	4.7	45
筑紫	14	7%	3.3	46	18	5%	4.2	40	23	8%	5.4	48
朝倉	1	0%	1.2	36	5	1%	5.9	45	4	1%	4.7	46
久留米	28	13%	6.2	60	44	12%	9.8	57	34	11%	7.5	56
八女・筑後	3	1%	2.2	41	6	2%	4.5	41	6	2%	4.5	45
有明	11	5%	4.9	54	13	3%	5.8	45	10	3%	4.5	45
飯塚	8	4%	4.4	51	15	4%	8.3	53	7	2%	3.9	42
直方・鞍手	5	2%	4.6	52	8	2%	7.4	50	5	2%	4.6	45
田川	4	2%	3.1	45	6	2%	4.7	42	1	0%	0.8	30
北九州	45	21%	4.1	50	84	22%	7.7	51	71	24%	6.5	52
京築	2	1%	1.1	36	7	2%	3.8	39	5	2%	2.7	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
福岡県	400	4.8%	7.9	54	1,077	5.3%	21.3	57	792	5.2%	15.7	58
福岡・糸島	145	36%	9.1	57	438	41%	27.4	66	303	38%	19.0	65
粕屋	8	2%	2.9	40	26	2%	9.3	40	31	4%	11.1	48
宗像	14	4%	9.3	58	17	2%	11.3	43	15	2%	10.0	45
筑紫	34	9%	7.9	54	47	4%	11.0	43	38	5%	8.9	43
朝倉	8	2%	9.5	58	9	1%	10.7	42	10	1%	11.8	49
久留米	61	15%	13.5	70	158	15%	35.1	76	81	10%	18.0	63
八女・筑後	8	2%	6.0	48	14	1%	10.5	42	22	3%	16.5	60
有明	20	5%	9.0	57	38	4%	17.1	51	39	5%	17.5	62
飯塚	10	3%	5.5	47	33	3%	18.2	53	32	4%	17.7	62
直方・鞍手	5	1%	4.6	44	15	1%	13.8	47	14	2%	12.9	52
田川	10	3%	7.8	54	18	2%	14.1	47	9	1%	7.0	39
北九州	71	18%	6.5	50	251	23%	22.9	59	178	22%	16.2	59
京築	6	2%	3.2	41	13	1%	7.0	37	20	3%	10.8	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
福岡県	249	4.4%	4.9	52	277	4.3%	5.5	52	342	6.5%	6.8	59
福岡・糸島	89	36%	5.6	55	98	35%	6.1	55	135	39%	8.5	64
粕屋	10	4%	3.6	45	11	4%	3.9	45	7	2%	2.5	44
宗像	5	2%	3.3	44	10	4%	6.7	57	8	2%	5.3	54
筑紫	19	8%	4.4	50	24	9%	5.6	52	16	5%	3.7	49
朝倉	3	1%	3.6	45	4	1%	4.7	49	6	2%	7.1	60
久留米	31	12%	6.9	61	27	10%	6.0	54	61	18%	13.5	81
八女・筑後	5	2%	3.7	46	5	2%	3.7	45	5	1%	3.7	49
有明	9	4%	4.0	48	11	4%	4.9	50	7	2%	3.1	47
飯塚	9	4%	5.0	52	8	3%	4.4	47	9	3%	5.0	53
直方・鞍手	3	1%	2.8	42	2	1%	1.8	37	3	1%	2.8	45
田川	7	3%	5.5	55	3	1%	2.3	39	1	0%	0.8	39
北九州	54	22%	4.9	52	69	25%	6.3	55	80	23%	7.3	60
京築	5	2%	2.7	41	5	2%	2.7	40	4	1%	2.2	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
福岡県	315	4.8%	6.2	53	68	4.4%	1.3	51	164	5.0%	3.3	54
福岡・糸島	130	41%	8.1	60	28	41%	1.8	56	48	29%	3.0	52
粕屋	10	3%	3.6	45	2	3%	0.7	45	7	4%	2.5	49
宗像	6	2%	4.0	46	0	0%	0	37	3	2%	2.0	47
筑紫	10	3%	2.3	41	2	3%	0.5	42	8	5%	1.9	46
朝倉	3	1%	3.6	45	2	3%	2.4	62	2	1%	2.4	49
久留米	36	11%	8.0	59	12	18%	2.7	66	29	18%	6.4	72
八女・筑後	5	2%	3.7	45	1	1%	0.7	45	2	1%	1.5	44
有明	8	3%	3.6	45	1	1%	0.4	42	3	2%	1.3	43
飯塚	13	4%	7.2	56	2	3%	1.1	49	7	4%	3.9	57
直方・鞍手	3	1%	2.8	42	0	0%	0	37	1	1%	0.9	40
田川	4	1%	3.1	43	1	1%	0.8	45	0	0%	0	35
北九州	84	27%	7.7	58	17	25%	1.5	54	49	30%	4.5	61
京築	3	1%	1.6	38	0	0%	0	37	5	3%	2.7	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

40. 福岡県（2016年版）

資\_図表 40-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
福岡県	93	4.7%	1.8	52	138	5.8%	2.7	57
福岡・糸島	37	40%	2.3	56	34	25%	2.1	52
粕屋	4	4%	1.4	49	6	4%	2.1	52
宗像	0	0%	0	37	5	4%	3.3	61
筑紫	3	3%	0.7	43	10	7%	2.3	54
朝倉	0	0%	0	37	0	0%	0	36
久留米	16	17%	3.6	66	16	12%	3.6	63
八女・筑後	1	1%	0.7	43	4	3%	3.0	59
有明	4	4%	1.8	52	7	5%	3.1	60
飯塚	1	1%	0.6	42	6	4%	3.3	61
直方・鞍手	0	0%	0	37	0	0%	0	36
田川	2	2%	1.6	50	0	0%	0	36
北九州	23	25%	2.1	54	48	35%	4.4	69
京築	2	2%	1.1	46	2	1%	1.1	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 40-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
福岡県	63,018	5.7%	1,249	63	49,927	5.5%	990	61	13,091	6.6%	259	64
福岡・糸島	19,266	31%	1,207	62	15,143	30%	949	60	4,123	31%	258	64
粕屋	2,882	5%	1,028	55	2,354	5%	839	55	529	4%	188	54
宗像	1,485	2%	990	54	1,140	2%	760	52	345	3%	230	60
筑紫	3,467	6%	810	48	2,586	5%	605	45	881	7%	206	57
朝倉	910	1%	1,077	57	736	1%	871	57	174	1%	206	57
久留米	6,721	11%	1,491	72	5,386	11%	1,195	70	1,335	10%	296	69
八女・筑後	1,781	3%	1,333	66	1,401	3%	1,048	64	380	3%	284	67
有明	3,690	6%	1,660	77	2,875	6%	1,294	74	814	6%	366	78
飯塚	2,974	5%	1,642	77	2,387	5%	1,318	75	588	4%	324	73
直方・鞍手	1,270	2%	1,170	60	970	2%	893	57	301	2%	277	66
田川	1,770	3%	1,385	68	1,444	3%	1,130	67	325	2%	254	63
北九州	14,958	24%	1,363	67	12,233	25%	1,114	67	2,725	21%	248	63
京築	1,846	3%	998	54	1,274	3%	689	49	572	4%	309	71
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			



資\_図表 40-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
福岡県	8,193	6.9%	162	63	11,193	3.9%	222	49
福岡・糸島	2,405	29%	151	61	4,389	39%	275	55
粕屋	422	5%	151	61	401	4%	143	41
宗像	169	2%	113	54	246	2%	164	43
筑紫	402	5%	94	50	791	7%	185	46
朝倉	141	2%	167	64	156	1%	185	46
久留米	1,032	13%	229	76	1,074	10%	238	51
八女・筑後	279	3%	209	72	228	2%	171	44
有明	563	7%	253	81	433	4%	195	47
飯塚	412	5%	228	76	389	3%	215	49
直方・鞍手	126	2%	116	54	189	2%	174	45
田川	153	2%	120	55	216	2%	169	44
北九州	1,852	23%	169	64	2,359	21%	215	49
京築	235	3%	127	56	322	3%	174	45
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 40-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
福岡県	872	5.9%	1.3	60	69	6.2%	0.1	56	462	4.8%	0.7	57
福岡・糸島	249	29%	1.5	64	16	23%	0.1	55	136	29%	0.8	63
粕屋	29	3%	1.1	54	5	7%	0.2	68	21	5%	0.8	60
宗像	21	2%	1.0	53	2	3%	0.1	55	10	2%	0.5	45
筑紫	43	5%	1.0	53	7	10%	0.2	65	36	8%	0.9	65
朝倉	31	4%	2.3	80	1	1%	0.1	51	4	1%	0.3	34
久留米	111	13%	1.8	70	4	6%	0.1	50	42	9%	0.7	56
八女・筑後	38	4%	1.8	69	2	3%	0.1	54	11	2%	0.5	46
有明	51	6%	1.3	58	4	6%	0.1	55	23	5%	0.6	50
飯塚	20	2%	0.7	46	4	6%	0.1	62	27	6%	1.0	71
直方・鞍手	21	2%	1.1	56	0	0%	0	39	11	2%	0.6	51
田川	17	2%	0.8	48	1	1%	0.0	47	24	5%	1.1	78
北九州	211	24%	1.3	59	19	28%	0.1	57	99	21%	0.6	51
京築	30	3%	1.1	54	4	6%	0.1	62	18	4%	0.7	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

40. 福岡県 (2016年版)

資\_図表 40-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
福岡県	71,361	4.4%	110	56	40,896	4.2%	63	53	30,465	4.7%	47	55
福岡・糸島	18,433	26%	112	58	9,208	23%	56	47	9,225	30%	56	61
粕屋	3,047	4%	112	58	1,915	5%	71	59	1,132	4%	42	52
宗像	1,877	3%	94	47	1,125	3%	56	47	752	2%	37	49
筑紫	4,460	6%	107	54	2,242	5%	54	45	2,218	7%	53	59
朝倉	1,419	2%	105	53	1,070	3%	79	65	349	1%	26	41
久留米	5,650	8%	93	46	3,257	8%	54	45	2,393	8%	39	50
八女・筑後	2,255	3%	105	53	1,579	4%	74	61	676	2%	31	45
有明	4,090	6%	102	52	2,861	7%	72	59	1,229	4%	31	44
飯塚	3,536	5%	127	66	2,209	5%	79	65	1,327	4%	47	55
直方・鞍手	2,748	4%	150	81	1,330	3%	73	60	1,418	5%	78	76
田川	3,608	5%	165	90	2,199	5%	101	83	1,409	5%	65	67
北九州	16,841	24%	103	52	9,912	24%	61	51	6,929	23%	42	52
京築	3,397	5%	123	64	1,989	5%	72	60	1,408	5%	51	58
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 40-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
福岡県	14,383	4.0%	22	50	22,216	4.0%	34	51	4,297	6.4%	6.6	56
福岡・糸島	2,941	20%	18	43	5,391	24%	33	49	876	20%	5.3	53
粕屋	585	4%	22	49	738	3%	27	44	592	14%	21.8	93
宗像	345	2%	17	42	471	2%	23	40	309	7%	15.4	77
筑紫	560	4%	13	35	1,057	5%	25	42	625	15%	15.0	76
朝倉	470	3%	35	72	600	3%	44	61	0	0%	0	40
久留米	1,260	9%	21	48	1,571	7%	26	42	426	10%	7.0	57
八女・筑後	654	5%	30	65	925	4%	43	59	0	0%	0	40
有明	1,158	8%	29	62	1,384	6%	35	51	319	7%	8.0	59
飯塚	810	6%	29	62	1,282	6%	46	62	117	3%	4.2	50
直方・鞍手	614	4%	34	70	570	3%	31	47	146	3%	8.0	59
田川	780	5%	36	74	1,360	6%	62	79	59	1%	2.7	47
北九州	3,328	23%	20	47	5,796	26%	35	52	788	18%	4.8	52
京築	878	6%	32	67	1,071	5%	39	55	40	1%	1.5	44
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			全国シェア			グループホーム	全国シェア			
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
福岡県	11,681	5.2%	18.0	54	1,033	4.5%	1.6	51	9,334	4.9%	14.4	55
福岡・糸島	4,212	36%	25.6	62	135	13%	0.8	47	1,991	21%	12.1	51
粕屋	449	4%	16.5	53	40	4%	1.5	50	297	3%	10.9	49
宗像	326	3%	16.2	53	29	3%	1.4	50	189	2%	9.4	46
筑紫	994	9%	23.8	60	50	5%	1.2	49	390	4%	9.3	46
朝倉	43	0%	3.2	40	0	0%	0	43	117	1%	8.6	45
久留米	523	4%	8.6	45	60	6%	1.0	48	1,206	13%	19.9	65
八女・筑後	134	1%	6.2	43	0	0%	0	43	369	4%	17.2	60
有明	319	3%	8.0	45	20	2%	0.5	46	504	5%	12.6	52
飯塚	365	3%	13.1	50	80	8%	2.9	57	367	4%	13.1	53
直方・鞍手	446	4%	24.4	61	100	10%	5.5	70	423	5%	23.1	71
田川	312	3%	14.3	51	79	8%	3.6	61	774	8%	35.5	92
北九州	2,863	25%	17.5	54	340	33%	2.1	53	2,339	25%	14.3	55
京築	695	6%	25.2	61	100	10%	3.6	61	368	4%	13.4	53
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア				
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)	
福岡県	8,417	4.0%	13.0	50	170	1.3%	0.3	47	8,247	4.1%	12.7	51	
福岡・糸島	2,887	34%	17.6	57	0	0%	0	45	2,887	35%	17.6	59	
粕屋	346	4%	12.8	50	0	0%	0	45	346	4%	12.8	51	
宗像	208	2%	10.4	46	0	0%	0	45	208	3%	10.4	47	
筑紫	784	9%	18.8	59	100	59%	2.4	60	684	8%	16.4	57	
朝倉	189	2%	13.9	52	0	0%	0	45	189	2%	13.9	53	
久留米	604	7%	10.0	46	0	0%	0	45	604	7%	10.0	47	
八女・筑後	173	2%	8.1	43	0	0%	0	45	173	2%	8.1	44	
有明	386	5%	9.7	45	0	0%	0	45	386	5%	9.7	46	
飯塚	515	6%	18.4	58	0	0%	0	45	515	6%	18.4	60	
直方・鞍手	449	5%	24.6	67	70	41%	3.8	69	379	5%	20.7	64	
田川	244	3%	11.2	47	0	0%	0	45	244	3%	11.2	49	
北九州	1,387	16%	8.5	43	0	0%	0	45	1,387	17%	8.5	44	
京築	245	3%	8.9	44	0	0%	0	45	245	3%	8.9	45	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成28年4月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

40. 福岡県（2016年版）

資\_図表 40-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
福岡県	7,517	4.7%	11.6	58	5,446	4.6%	8.4	56	2,070	4.9%	3.2	57
福岡・糸島	2,088	28%	12.7	62	1,400	26%	8.5	56	688	33%	4.2	69
粕屋	454	6%	16.7	79	364	7%	13.4	79	89	4%	3.3	59
宗像	228	3%	11.3	57	180	3%	9.0	58	47	2%	2.4	48
筑紫	449	6%	10.8	54	307	6%	7.4	51	142	7%	3.4	60
朝倉	119	2%	8.8	46	102	2%	7.5	51	18	1%	1.3	35
久留米	644	9%	10.6	54	444	8%	7.3	51	200	10%	3.3	59
八女・筑後	200	3%	9.3	48	157	3%	7.3	51	43	2%	2.0	43
有明	482	6%	12.1	60	392	7%	9.8	62	89	4%	2.2	46
飯塚	368	5%	13.2	64	276	5%	9.9	62	92	4%	3.3	59
直方・鞍手	216	3%	11.8	59	175	3%	9.6	61	41	2%	2.2	46
田川	313	4%	14.3	69	213	4%	9.7	62	100	5%	4.6	74
北九州	1,603	21%	9.8	50	1,162	21%	7.1	50	441	21%	2.7	52
京築	354	5%	12.9	63	274	5%	9.9	63	80	4%	2.9	54
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
福岡県	61,187	4.1%	94	53	51,768	4.1%	80	53	9,420	4.2%	14.5	52
福岡・糸島	15,326	25%	93	53	12,552	24%	76	50	2,774	29%	16.9	56
粕屋	2,400	4%	88	49	2,132	4%	79	52	268	3%	9.9	43
宗像	1,622	3%	81	42	1,422	3%	71	45	200	2%	10.0	43
筑紫	3,322	5%	80	41	2,855	6%	68	43	467	5%	11.2	46
朝倉	1,244	2%	92	51	1,157	2%	85	58	88	1%	6.5	37
久留米	5,629	9%	93	52	4,984	10%	82	55	646	7%	10.6	45
八女・筑後	2,073	3%	97	55	1,878	4%	88	60	195	2%	9.1	42
有明	4,044	7%	101	59	3,562	7%	89	61	481	5%	12.1	47
飯塚	2,903	5%	104	61	2,346	5%	84	56	558	6%	20.0	62
直方・鞍手	1,941	3%	106	63	1,692	3%	93	64	248	3%	13.6	50
田川	3,142	5%	144	94	2,425	5%	111	80	717	8%	32.9	85
北九州	15,007	25%	92	51	12,549	24%	77	50	2,459	26%	15.0	53
京築	2,534	4%	92	52	2,214	4%	80	53	320	3%	11.6	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
福岡県	45,601	4.3%	70	52	12,232	3.0%	19	44	67,177	4.5%	104	54
福岡・糸島	19,928	44%	121	68	3,826	31%	23	48	18,412	27%	112	57
粕屋	1,854	4%	68	51	679	6%	25	50	1,655	2%	61	40
宗像	892	2%	44	43	248	2%	12	38	1,518	2%	76	45
筑紫	2,188	5%	52	46	736	6%	18	43	3,594	5%	86	48
朝倉	780	2%	57	47	104	1%	8	34	570	1%	42	34
久留米	3,304	7%	54	47	1,136	9%	19	44	4,166	6%	69	43
八女・筑後	814	2%	38	41	150	1%	7	33	999	1%	47	36
有明	2,093	5%	52	46	631	5%	16	41	2,973	4%	74	45
飯塚	2,580	6%	92	59	506	4%	18	44	4,129	6%	148	68
直方・鞍手	919	2%	50	45	282	2%	15	41	1,848	3%	101	53
田川	707	2%	32	39	630	5%	29	54	4,573	7%	210	88
北九州	7,537	17%	46	44	2,940	24%	18	43	20,612	31%	126	61
京築	2,005	4%	73	53	364	3%	13	39	2,128	3%	77	46

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 40-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
福岡県		5,049,908	5,045,624	0%	4,855,724	-4%	13%	6%	21%
福岡・糸島	大都市型	1,499,253	1,596,254	6%	1,602,927	7%	22%	12%	37%
粕屋	地方都市型	261,212	280,435	7%	285,755	9%	20%	12%	35%
宗像	地方都市型	149,825	150,020	0%	143,852	-4%	15%	8%	24%
筑紫	地方都市型	412,780	427,749	4%	426,037	3%	20%	12%	34%
朝倉	地方都市型	91,487	84,462	-8%	76,947	-16%	3%	1%	5%
久留米	地方都市型	465,712	450,701	-3%	424,744	-9%	10%	4%	15%
八女・筑後	地方都市型	141,354	133,617	-5%	123,597	-13%	5%	1%	6%
有明	地方都市型	249,001	222,230	-11%	195,314	-22%	1%	-4%	-3%
飯塚	地方都市型	193,821	181,091	-7%	166,186	-14%	4%	1%	5%
直方・鞍手	地方都市型	115,584	108,618	-6%	98,057	-15%	5%	-1%	4%
田川	地方都市型	140,736	127,768	-9%	114,342	-19%	1%	-3%	-2%
北九州	大都市型	1,137,622	1,097,809	-3%	1,027,674	-10%	11%	3%	15%
京築	地方都市型	191,521	184,870	-3%	170,292	-11%	8%	1%	10%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

40. 福岡県（2016年版）

資\_図表 40-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
福岡県	481	9.5	56	460	9.1	56	-21	-4%	438
福岡・糸島	131	8.7	54	123	7.7	52	-8	-6%	114
粕屋	26	10.0	57	26	9.3	56	0	0%	26
宗像	14	9.3	56	14	9.3	56	0	0%	14
筑紫	28	6.8	49	26	6.1	48	-2	-7%	24
朝倉	9	9.8	57	8	9.5	57	-1	-11%	7
久留米	49	10.5	59	49	10.9	60	0	0%	49
八女・筑後	14	9.9	57	14	10.5	59	0	0%	14
有明	34	13.7	67	33	14.8	70	-1	-3%	32
飯塚	24	12.4	64	22	12.1	63	-2	-8%	20
直方・鞍手	13	11.2	61	12	11.0	61	-1	-8%	11
田川	17	12.1	63	16	12.5	64	-1	-6%	15
北九州	105	9.2	56	102	9.3	56	-3	-3%	99
京築	17	8.9	55	15	8.1	53	-2	-12%	13
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 40-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
福岡県	4,357	86	55	4,587	91	56	230	5%	4,841
福岡・糸島	1,372	92	58	1,551	97	59	179	13%	1,748
粕屋	135	52	38	167	60	40	32	24%	202
宗像	94	63	43	113	75	48	19	20%	134
筑紫	248	60	42	288	67	44	40	16%	332
朝倉	75	82	53	73	86	54	-2	-3%	71
久留米	433	93	58	453	101	61	20	5%	475
八女・筑後	120	85	54	117	88	54	-3	-3%	114
有明	244	98	61	221	99	60	-23	-9%	196
飯塚	167	86	55	170	94	57	3	2%	173
直方・鞍手	100	87	55	102	94	57	2	2%	104
田川	112	80	52	110	86	53	-2	-2%	108
北九州	1,109	97	61	1,059	96	59	-50	-5%	1,004
京築	148	77	51	163	88	55	15	10%	180
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 40-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
福岡県	13,556	268	57	15,660	310	57	2,104	16%	17,974
福岡・糸島	4,830	322	63	6,004	376	63	1,174	24%	7,295
粕屋	386	148	42	489	174	43	103	27%	602
宗像	217	145	42	268	179	43	51	24%	324
筑紫	680	165	44	835	195	45	155	23%	1,006
朝倉	158	173	45	165	195	45	7	4%	173
久留米	1,894	407	73	2,101	466	72	207	11%	2,329
八女・筑後	282	199	49	285	213	47	3	1%	288
有明	596	239	53	588	265	52	-8	-1%	579
飯塚	476	246	54	589	325	58	113	24%	713
直方・鞍手	207	179	46	210	193	45	3	1%	213
田川	269	191	48	265	207	46	-4	-1%	261
北九州	3,302	290	59	3,579	326	58	277	8%	3,884
京築	259	135	41	282	153	41	23	9%	307
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 40-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
福岡県	101,039	200	60	94,486	187	60	-6,553	-6%	87,278
福岡・糸島	26,329	176	56	24,825	156	54	-1,504	-6%	23,171
粕屋	5,071	194	59	4,946	176	58	-125	-2%	4,809
宗像	2,810	188	58	2,789	186	59	-21	-1%	2,766
筑紫	5,837	141	50	5,490	128	49	-347	-6%	5,108
朝倉	1,716	188	58	1,517	180	58	-199	-12%	1,298
久留米	11,336	243	68	10,345	230	67	-991	-9%	9,255
八女・筑後	2,803	198	60	2,508	188	60	-295	-11%	2,184
有明	7,012	282	75	6,455	290	78	-557	-8%	5,842
飯塚	4,731	244	68	4,395	243	69	-336	-7%	4,025
直方・鞍手	2,357	204	61	2,105	194	61	-252	-11%	1,828
田川	3,783	269	73	3,584	281	76	-199	-5%	3,365
北九州	23,901	210	62	22,602	206	63	-1,299	-5%	21,173
京築	3,353	175	56	2,925	158	55	-428	-13%	2,454
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

40. 福岡県 (2016年版)

資\_図表 40-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
福岡県	51,820	103	57	50,305	100	58	-1,515	-3%	48,640	100
福岡・糸島	15,066	100	56	14,942	94	56	-124	-1%	14,806	92
粕屋	2,010	77	48	2,432	87	53	422	21%	2,896	101
宗像	974	65	43	1,052	70	47	78	8%	1,138	79
筑紫	2,771	67	44	2,561	60	43	-210	-8%	2,330	55
朝倉	829	91	52	722	85	53	-107	-13%	604	78
久留米	6,492	139	70	5,761	128	68	-731	-11%	4,957	117
八女・筑後	1,427	101	56	1,205	90	54	-222	-16%	961	78
有明	3,523	141	70	3,360	151	77	-163	-5%	3,181	163
飯塚	2,941	152	74	2,812	155	78	-129	-4%	2,670	161
直方・鞍手	874	76	47	771	71	47	-103	-12%	658	67
田川	1,334	95	54	1,270	99	58	-64	-5%	1,200	105
北九州	12,465	110	59	12,427	113	63	-38	0%	12,385	121
京築	1,114	58	41	990	54	41	-124	-11%	854	50
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 40-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
福岡県	26,543	57	64	22,364	34	62	-4,179	-16%	17,769	20
福岡・糸島	6,526	64	68	5,386	33	60	-1,140	-17%	4,132	17
粕屋	1,914	103	90	1,420	52	77	-494	-26%	877	21
宗像	868	60	66	769	38	65	-99	-11%	660	24
筑紫	1,755	67	70	1,614	39	66	-141	-8%	1,459	23
朝倉	529	46	58	455	34	61	-74	-14%	374	23
久留米	2,644	60	66	2,529	42	68	-115	-4%	2,403	31
八女・筑後	912	53	62	837	39	66	-75	-8%	755	30
有明	1,667	50	60	1,353	34	61	-314	-19%	1,008	23
飯塚	770	33	50	654	23	52	-116	-15%	526	16
直方・鞍手	640	43	56	541	30	58	-99	-15%	432	20
田川	440	23	45	390	18	48	-50	-11%	335	14
北九州	6,581	57	64	5,423	33	61	-1,158	-18%	4,149	19
京築	1,297	60	66	993	36	63	-304	-23%	659	19
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									



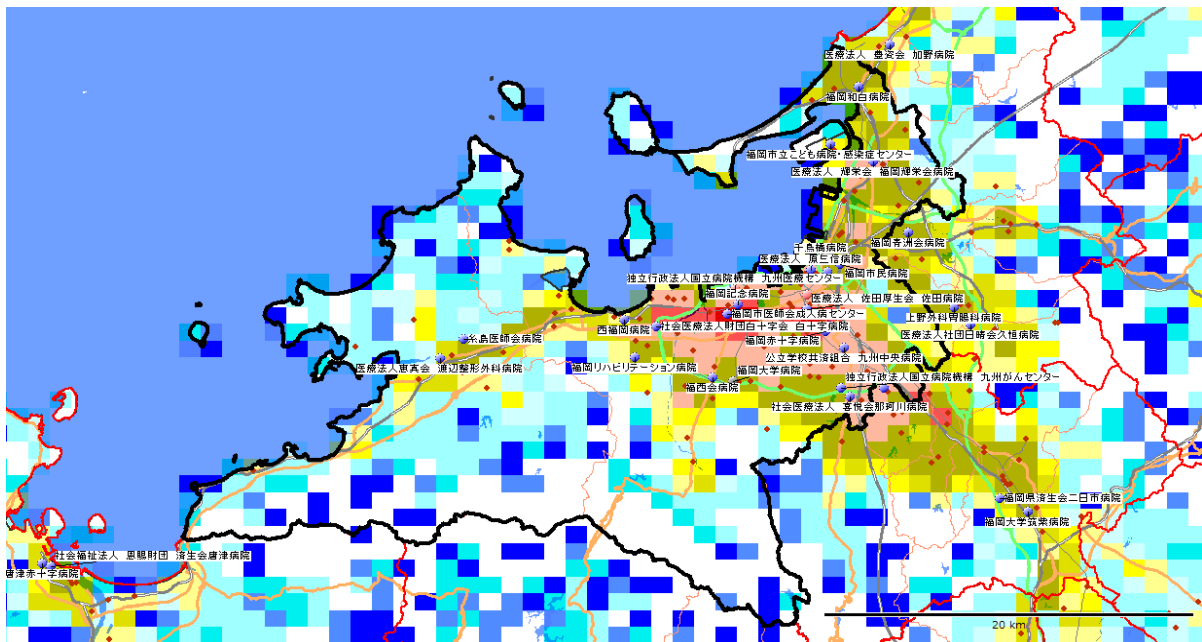
資\_図表 40-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
福岡県	351	55	1.099	152	59	1.239	172	47	0.997
福岡・糸島	313	47	1.063	133	53	1.180	155	37	0.973
粕屋	347	55	1.087	157	61	1.280	163	42	0.946
宗像	359	58	1.037	157	61	1.174	176	49	0.936
筑紫	329	50	1.038	137	54	1.122	166	44	0.968
朝倉	379	62	1.137	170	65	1.319	182	53	1.014
久留米	357	57	1.113	155	60	1.256	177	50	1.022
八女・筑後	360	58	1.116	157	61	1.258	177	50	1.018
有明	405	68	1.195	188	71	1.431	193	59	1.051
飯塚	366	59	1.121	165	64	1.311	175	49	0.992
直方・鞍手	370	60	1.102	162	63	1.256	180	52	0.992
田川	365	59	1.142	162	62	1.315	179	51	1.032
北九州	377	62	1.129	163	63	1.269	185	55	1.023
京築	393	65	1.112	167	64	1.224	199	63	1.039
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 40-1. ふくおか いとじま 福岡・糸島医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [東区](#) [博多区](#) [中央区](#) [南区](#)  
[西区](#) [城南区](#) [早良区](#) [糸島市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (福岡・糸島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 福岡・糸島(福岡市東区)は、総人口約1596千人(2015年推計)、面積557km<sup>2</sup>、人口密度は2863人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 福岡・糸島の総人口は2025年に1603千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1522千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の164千人が、2025年にかけて245千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には293千人へと増加する(2025年比+20%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 福岡・糸島の一人当たり医療費(国保)は307千円(偏差値47)、介護給付費は265千円(偏差値53)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 福岡・糸島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.82で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が61(病院医師数59、診療所医師数62)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。福岡・糸島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡赤十字病院(Ⅲ群)、浜の町病院(Ⅲ群)、原三信病院(Ⅲ群)、国立病院機構九州医療センター(Ⅱ群・救命)、済生会福岡総合病院(Ⅱ群・救命)、九州大学病院(Ⅰ群・救命)、福岡大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の国立病院機構九州がんセンター(Ⅲ群)、九州中央病院(Ⅲ群)、福岡記念病院(Ⅲ群)、福岡市立こども病院(Ⅲ群)、佐田病院(Ⅲ群)、福岡和白病院(Ⅱ群)、500例以上の白十字病院(Ⅲ群)、福岡リハビリテーション病院(Ⅲ群)、福西会病院(Ⅲ群)、福岡市民病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 福岡・糸島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18433人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9208床(偏差値47)、高齢者住宅等が9225床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12552人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。  
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム62、軽費ホーム47、グループホーム51、サ高住57である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、2774人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-57%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

福岡・糸島医療圏の総人口は、2005年1499253人が、2015年に1596254人と6%増加し、2025年の人口が1602927人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

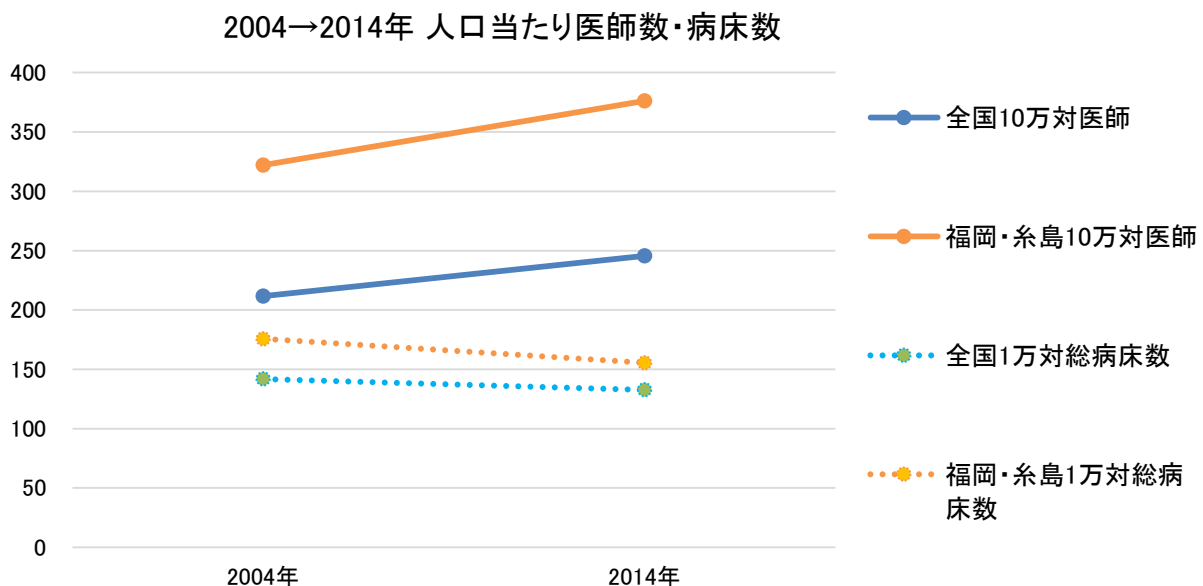
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が131(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に123(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1372(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に1551(人口10万人当たり97診療所(全国平均79)偏差値59)と、179診療所が増加した。

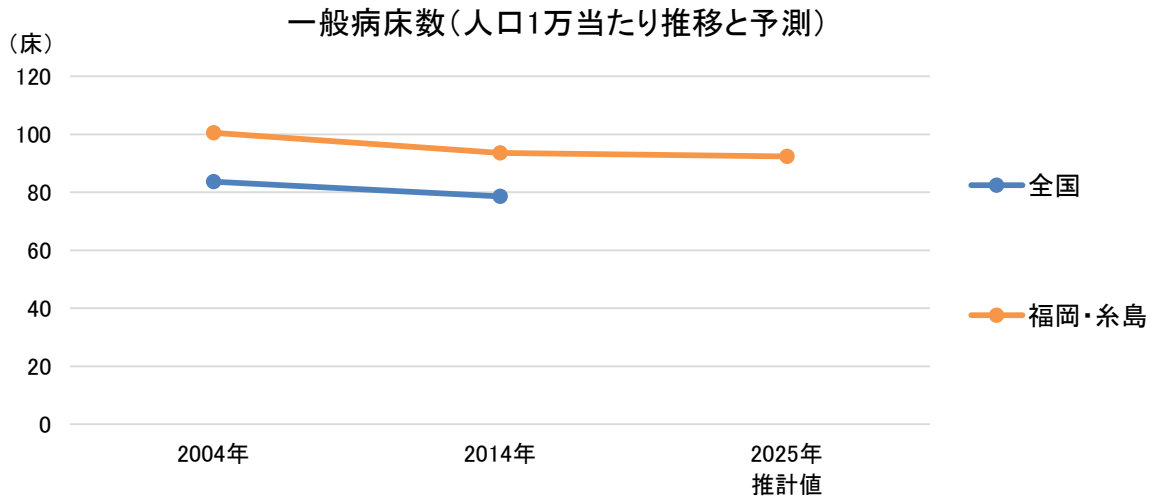
2004年の総病床数が26329床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に24825床(人口1万人当たり156(全国平均133)偏差値54)と、1504床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が4830人(人口10万人当たり322人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2014年に6004人(人口10万人当たり376人(全国平均246人)偏差値63)と、1174人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



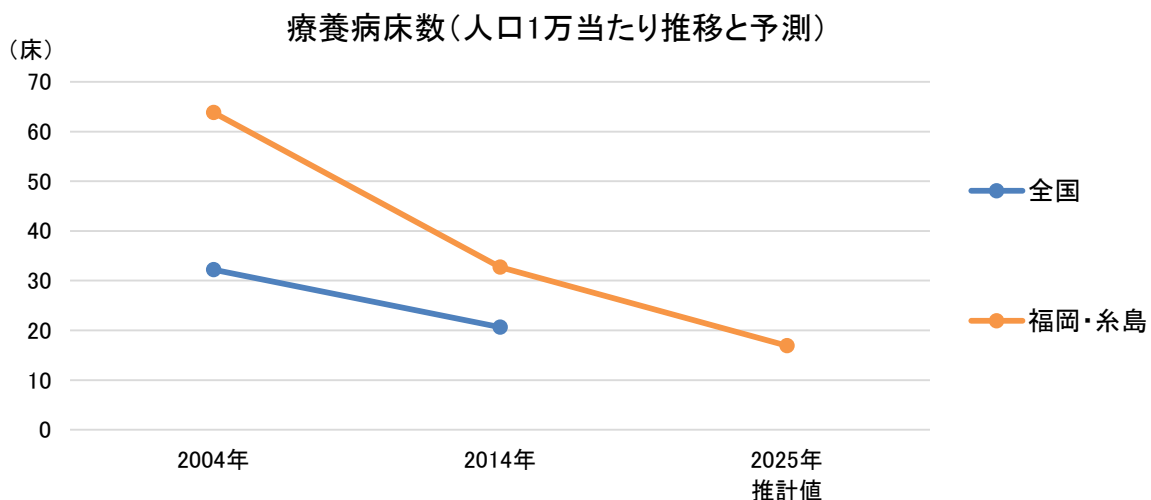
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15066床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に14942床(人口1万人当たり94(全国平均79)偏差値56)と、124床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14806床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



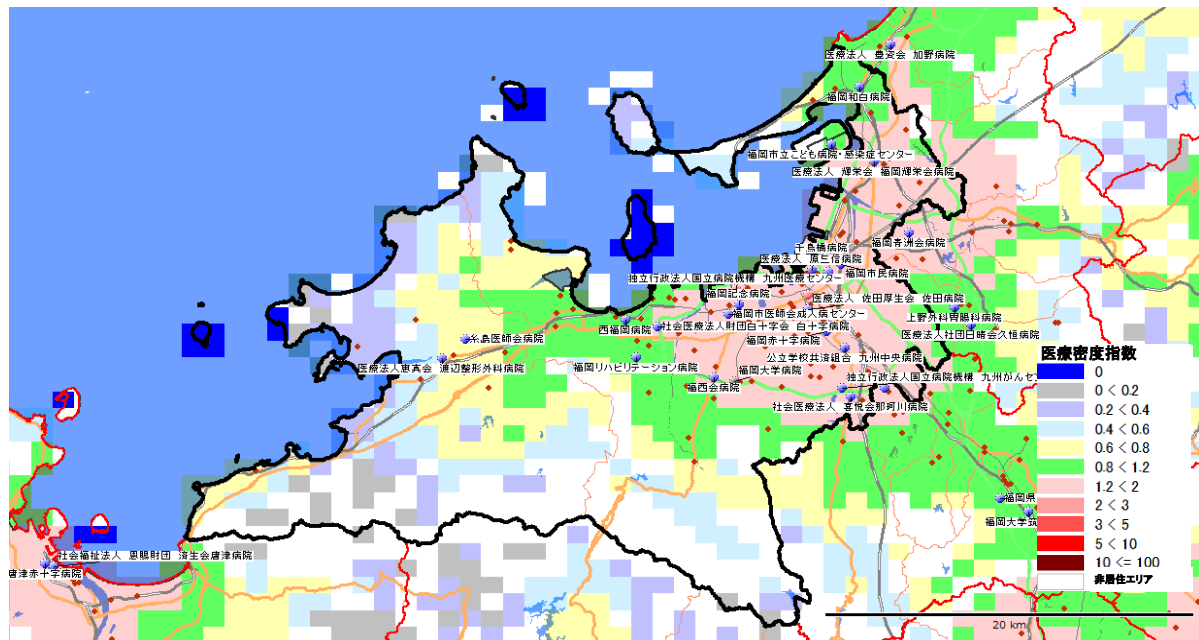
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6526床(75歳以上1000人当たり64(全国平均32)偏差値68)であったが、2014年に5386床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値60)と、1140床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4132床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

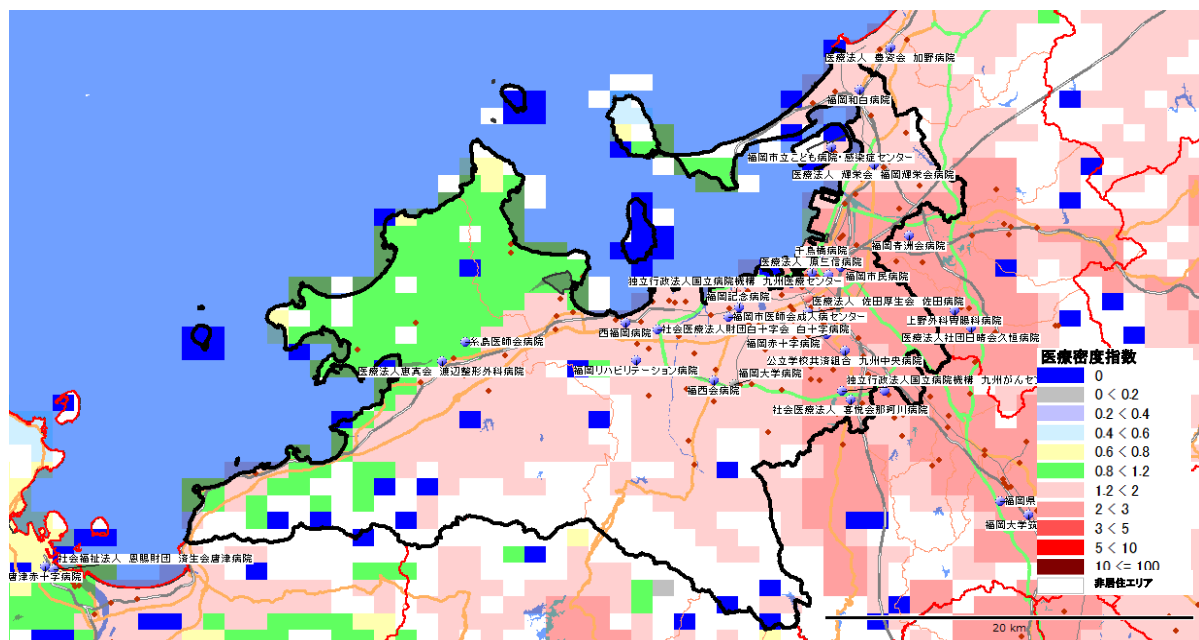


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-1-1 急性期医療密度指数マップ



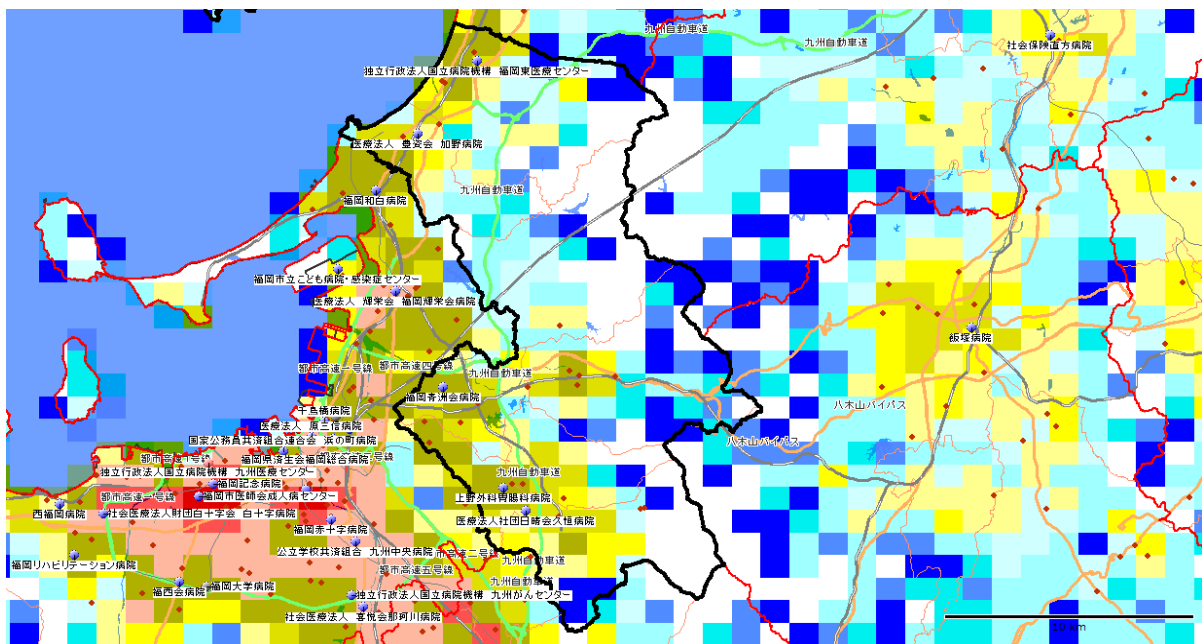
図表40-1-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-2. かすや 粕屋医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [古賀市](#) [宇美町](#) [篠栗町](#) [志免町](#)  
[須恵町](#) [新宮町](#) [久山町](#) [粕屋町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （粕屋医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 粕屋(古賀市)は、総人口約280千人(2015年推計)、面積207km<sup>2</sup>、人口密度は1357人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 粕屋の総人口は2025年に286千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に282千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には45千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 粕屋の一人当たり医療費(国保)は338千円(偏差値55)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 粕屋の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。粕屋には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構福岡東医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 粕屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3047人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1915床(偏差値59)、高齢者住宅等が1132床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2132人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設93、有料老人ホーム53、軽費ホーム50、グループホーム49、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、268人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-39%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。



## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

粕屋医療圏の総人口は、2005年261212人が、2015年に280435人と7%増加し、2025年の人口が285755人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

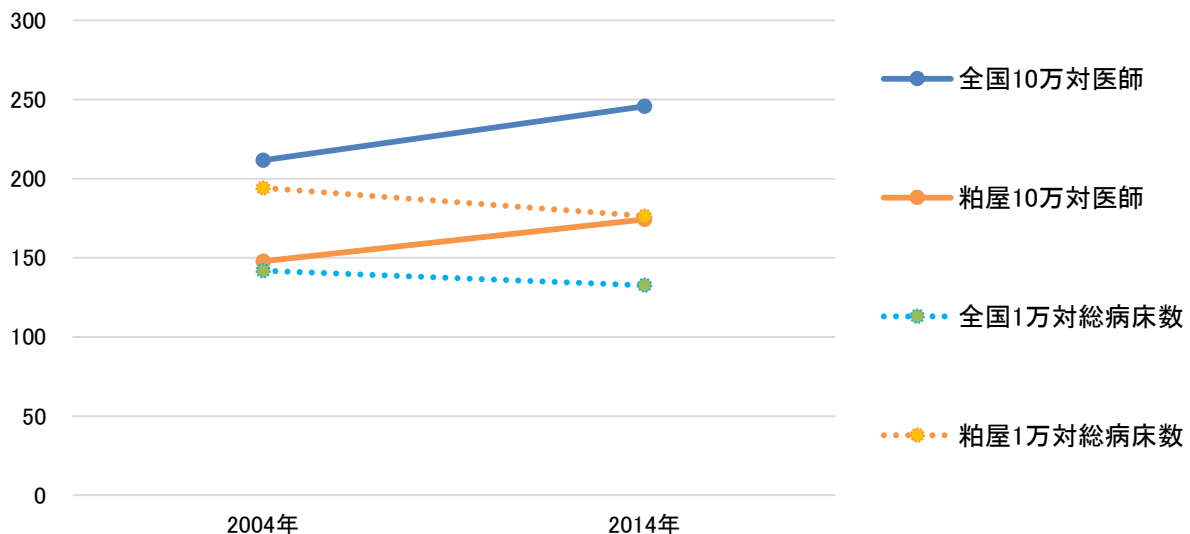
2004年の病院数が26(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に26(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が135(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に167(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、32診療所が増加した。

2004年の総病床数が5071床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4946床(人口1万人当たり176(全国平均133)偏差値58)と、125床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

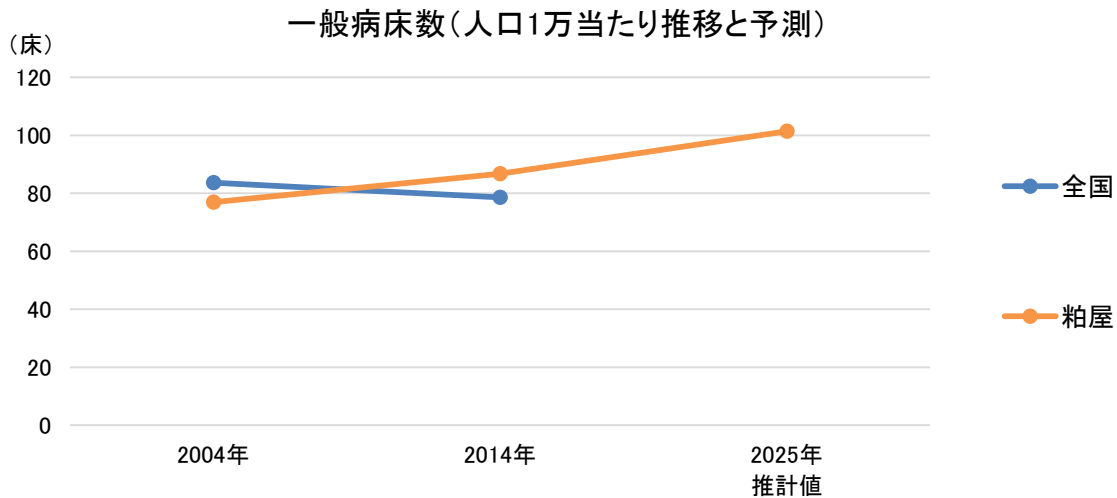
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が386人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に489人(人口10万人当たり174人(全国平均246人)偏差値43)と、103人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



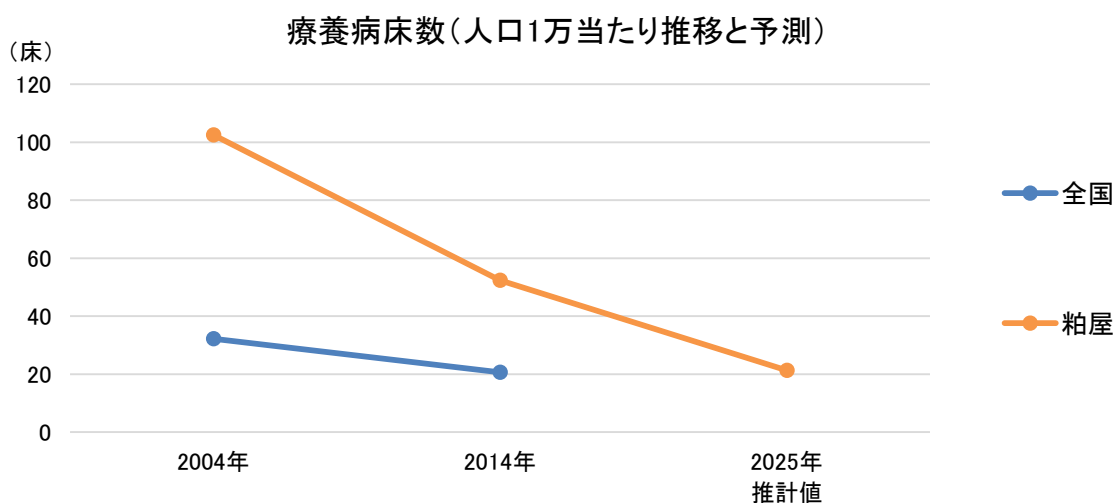
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2010床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に2432床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、422床の増加、率にして21%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2896床(2025年の推計人口1万人当たり101)になることが予想される。



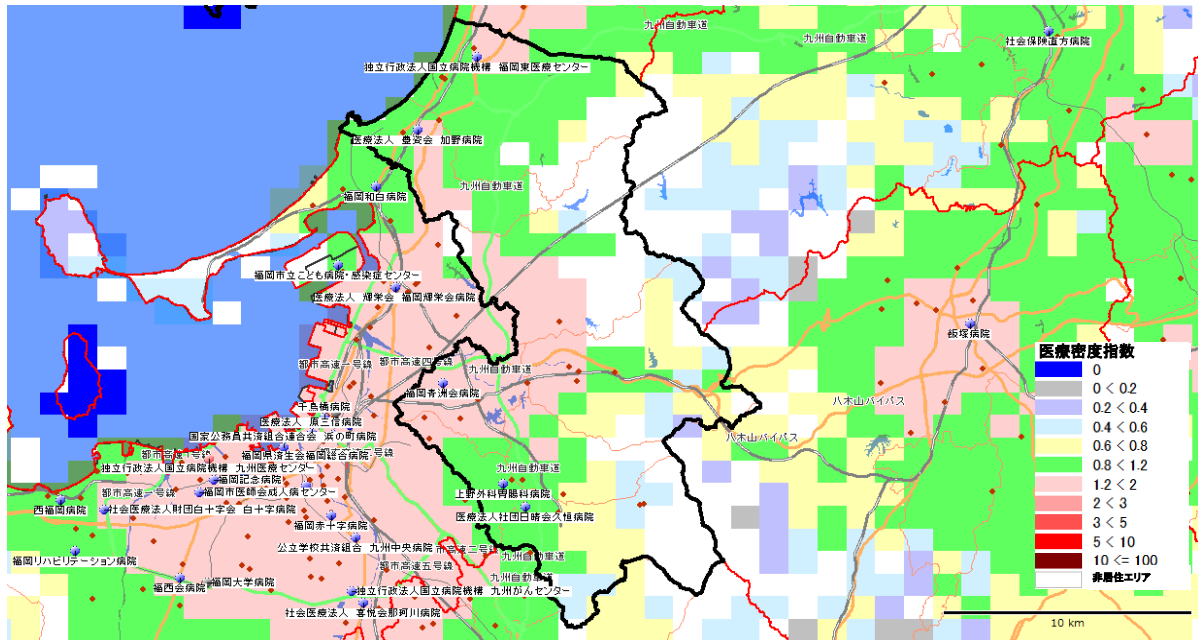
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1914床(75歳以上1000人当たり103(全国平均32)偏差値90)であったが、2014年に1420床(75歳以上1000人当たり52(全国平均21)偏差値77)と、494床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には877床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

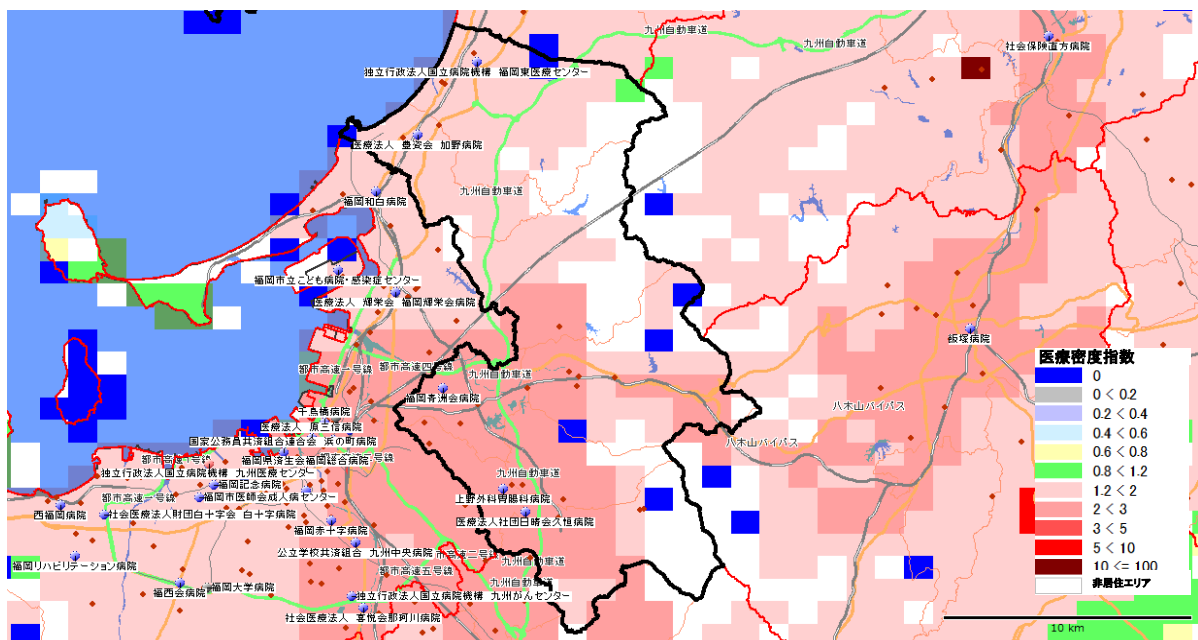


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-2-1 急性期医療密度指数マップ



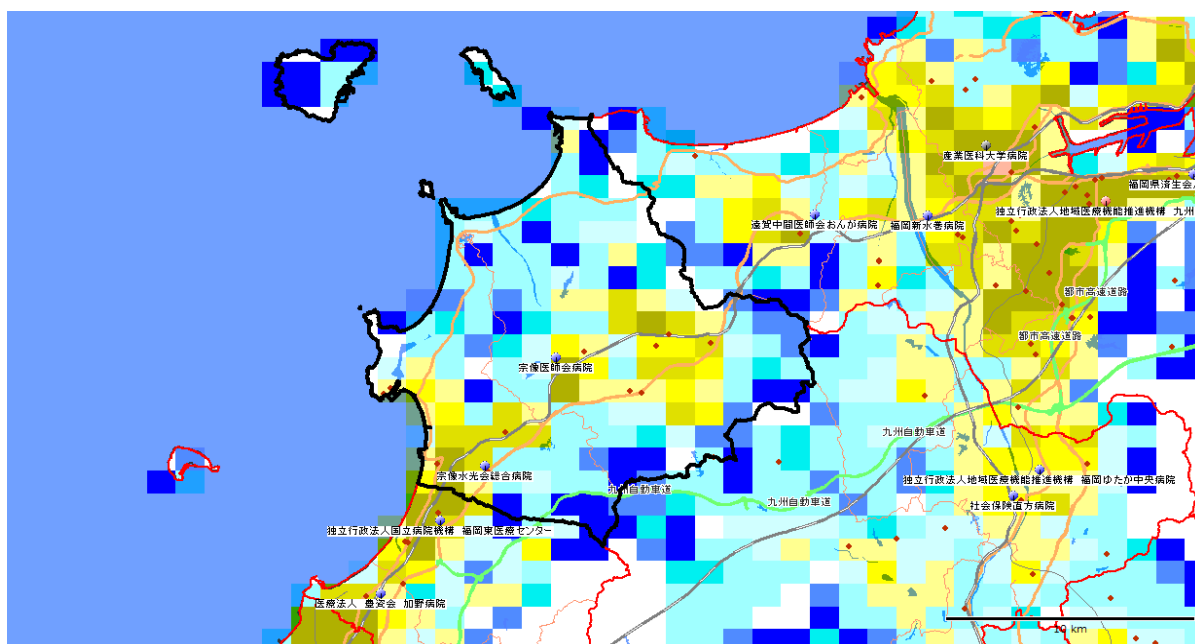
図表40-2-2 慢性期医療密度指数マップ



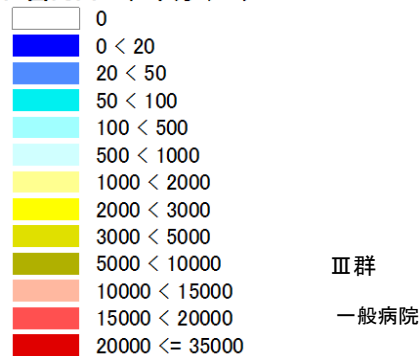
# 40-3. むなかた 宗像医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [宗像市](#) [福津市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



## (宗像医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 宗像(宗像市)は、総人口約150千人(2015年推計)、面積172km<sup>2</sup>、人口密度は870人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 宗像の総人口は2025年に144千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に128千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には30千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 宗像の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値57)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 宗像の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。宗像には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 宗像の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1877人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1125床(偏差値47)、高齢者住宅等が752床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1422人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設77、有料老人ホーム53、軽費ホーム50、グループホーム46、サ高住46である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、200人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-47%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

宗像医療圏の総人口は、2005年149825人が、2015年に150020人と1%未満増加し、2025年の人口が143852人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

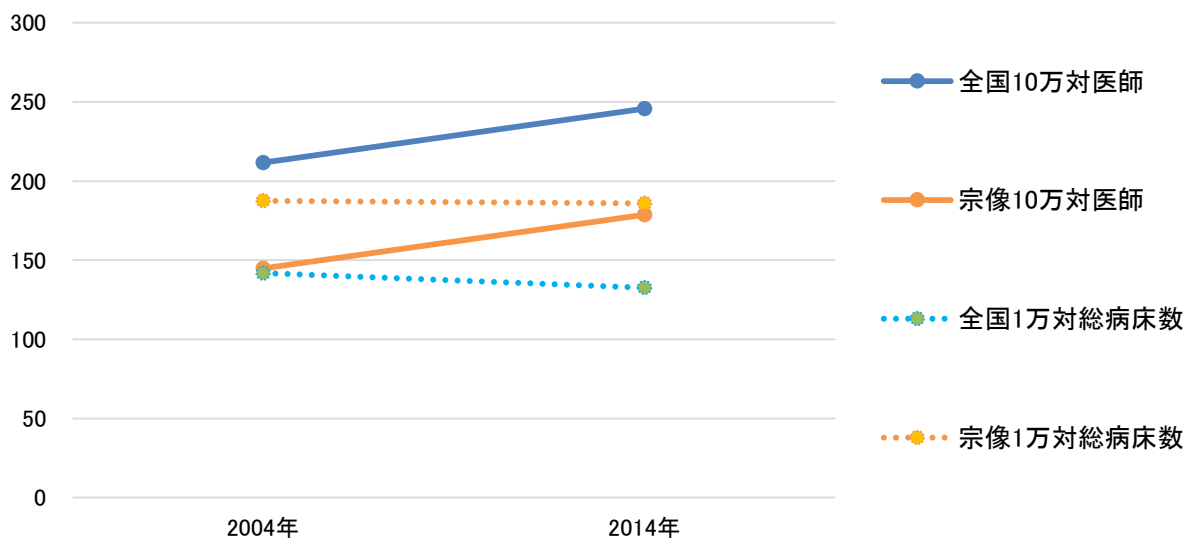
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に14(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に113(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が2810床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2789床(人口1万人当たり186(全国平均133)偏差値59)と、21床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

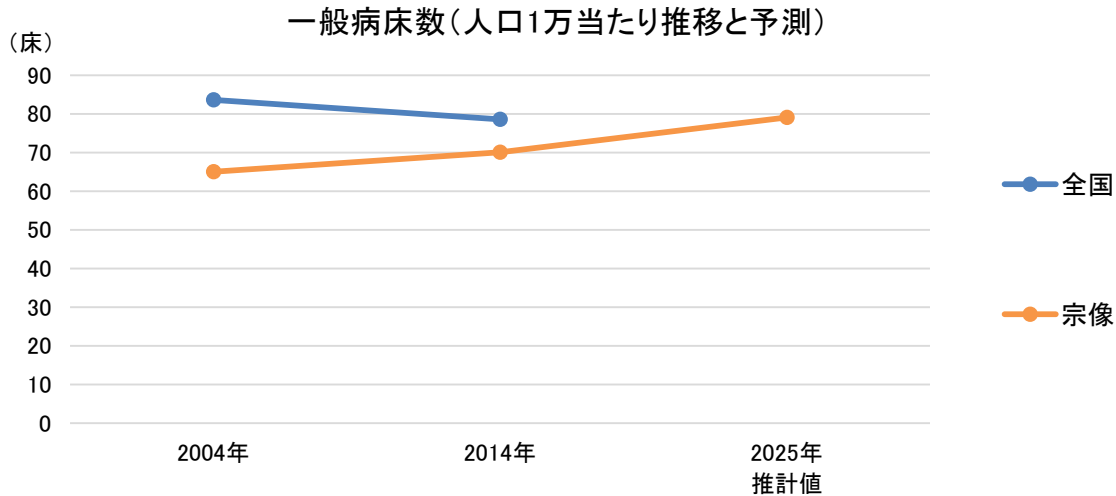
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が217人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に268人(人口10万人当たり179人(全国平均246人)偏差値43)と、51人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



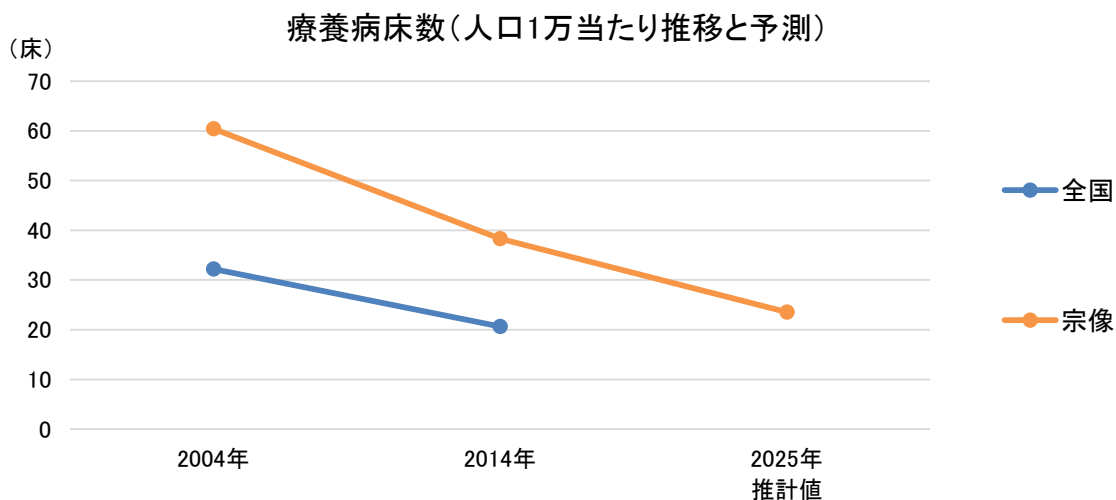
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が974床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1052床(人口1万人当たり70(全国平均79)偏差値47)と、78床の増加、率にして8%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1138床(2025年の推計人口1万人当たり79)になることが予想される。



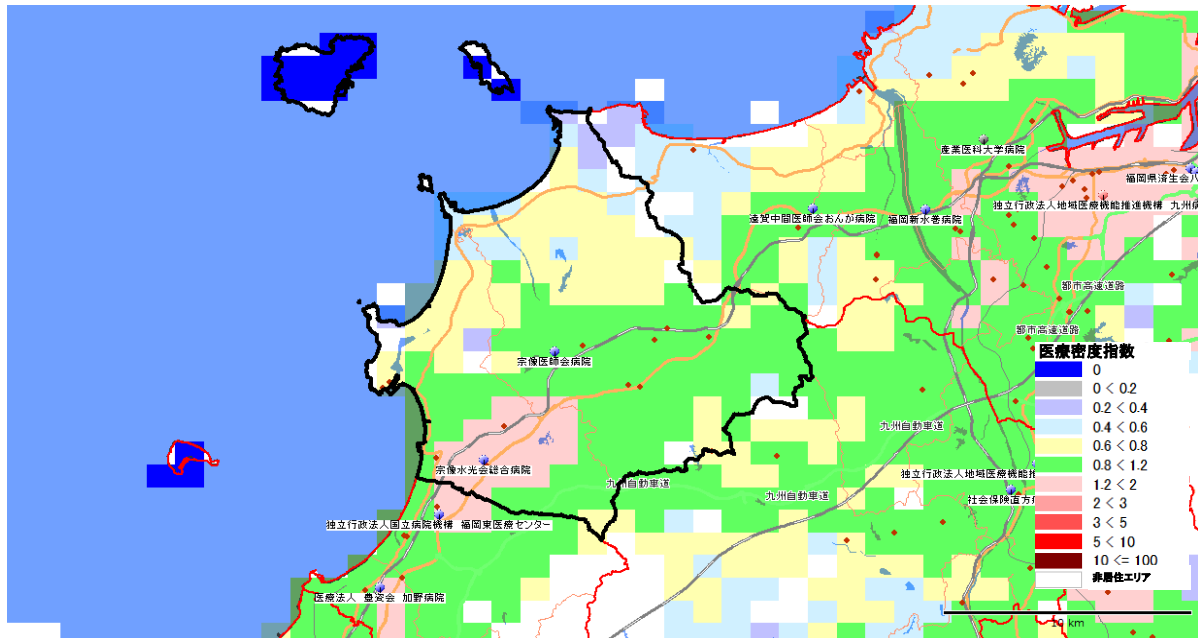
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が868床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に769床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、99床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には660床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

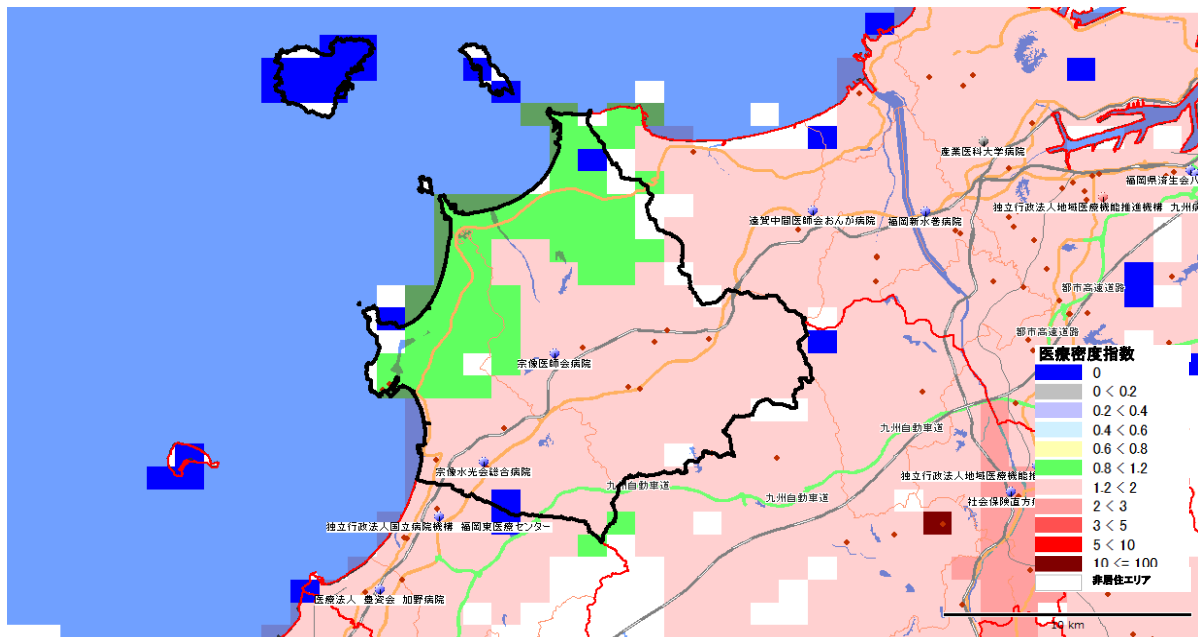


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-3-2 慢性期医療密度指数マップ

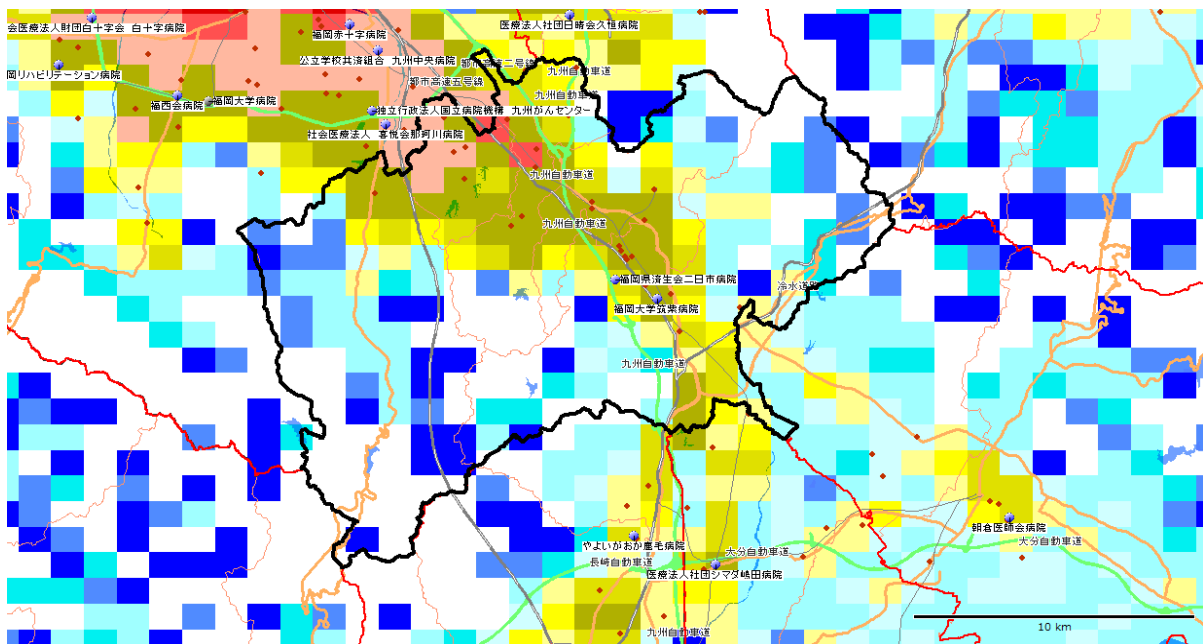




# 40-4. ちくし 筑紫医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [筑紫野市](#) [春日市](#) [大野城市](#) [太宰府市](#)  
[那珂川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （筑紫医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 筑紫（筑紫野市）は、総人口約428千人（2015年推計）、面積233km<sup>2</sup>、人口密度は1833人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 筑紫の総人口は2025年に426千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年に403千人へと減少する（2025年比−5%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の42千人が、2025年にかけて64千人へと増加し（2015年比+52%）、2040年には75千人へと増加する（2025年比+17%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 筑紫の一人当たり医療費（国保）は318千円（偏差値50）、介護給付費は225千円（偏差値42）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 筑紫の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.99で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46（病院医師数45、診療所医師数47）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。筑紫には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡徳洲会病院（Ⅲ群）、1000例以上の福岡大学筑紫病院（Ⅲ群）、500例以上の済生会二日市病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 筑紫の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、4460人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2242床（偏差値45）、高齢者住宅等が2218床（偏差値59）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2855人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設35、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設76、有料老人ホーム60、軽費ホーム49、グループホーム46、サ高住59である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員（在宅）の合計は、467人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は−64%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

筑紫医療圏の総人口は、2005年412780人が、2015年に427749人と4%増加し、2025年の人口が426037人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

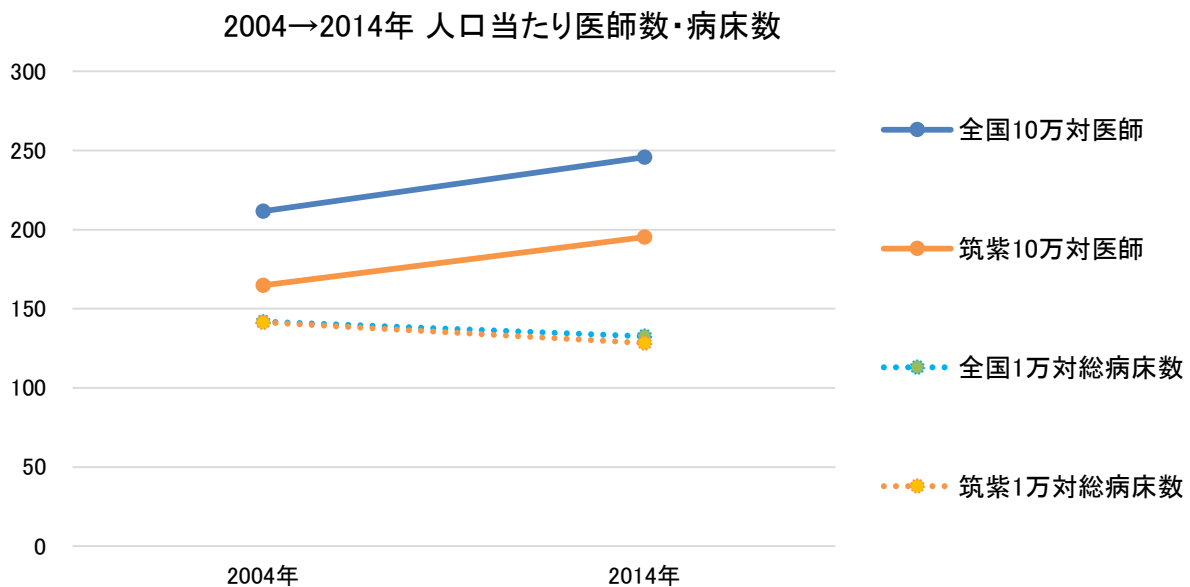
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が28(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に26(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が248(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に288(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、40診療所が増加した。

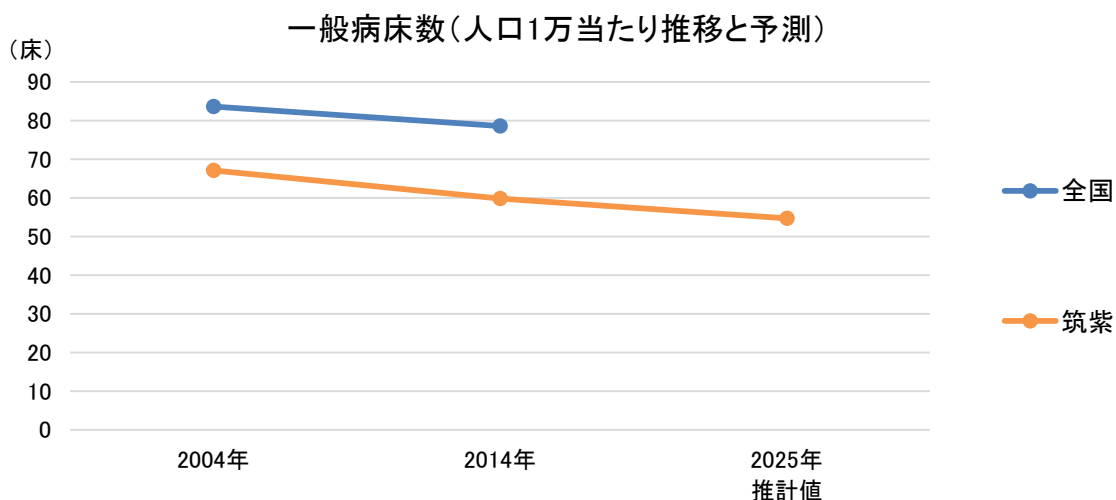
2004年の総病床数が5837床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に5490床(人口1万人当たり128(全国平均133)偏差値49)と、347床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が680人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に835人(人口10万人当たり195人(全国平均246人)偏差値45)と、155人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



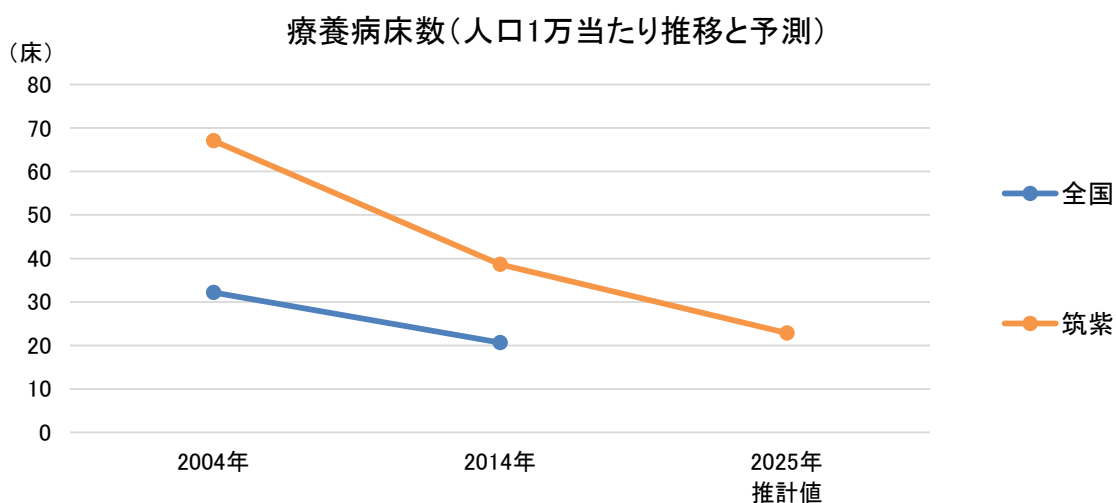
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2771床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に2561床(人口1万人当たり60(全国平均79)偏差値43)と、210床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2330床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



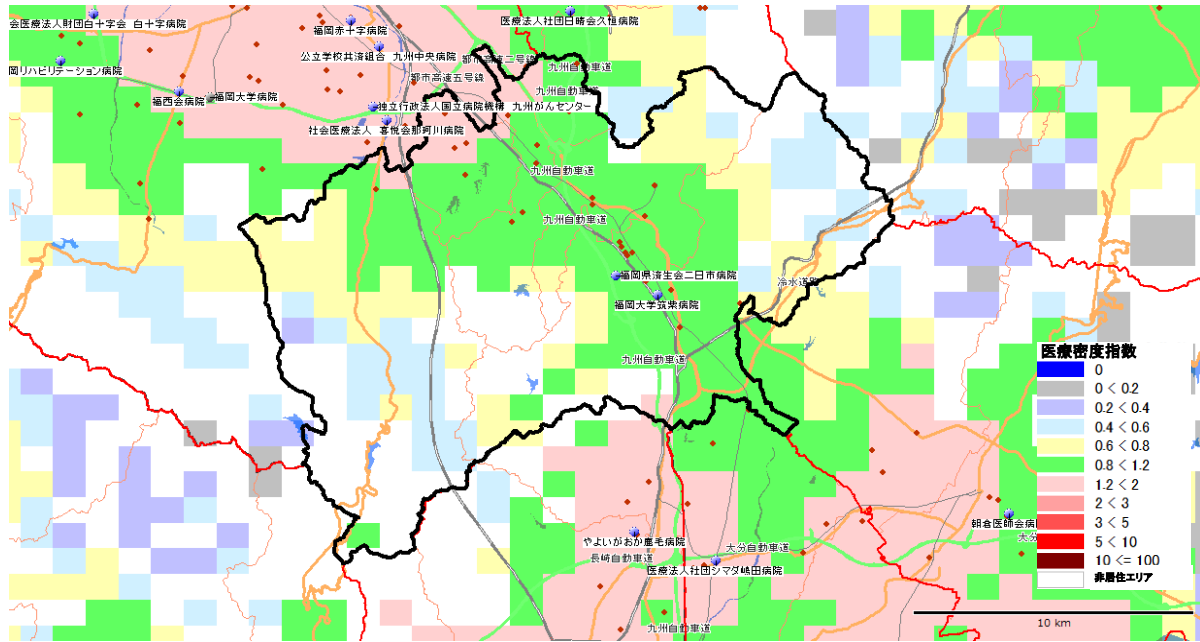
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1755床(75歳以上1000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2014年に1614床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値66)と、141床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1459床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。

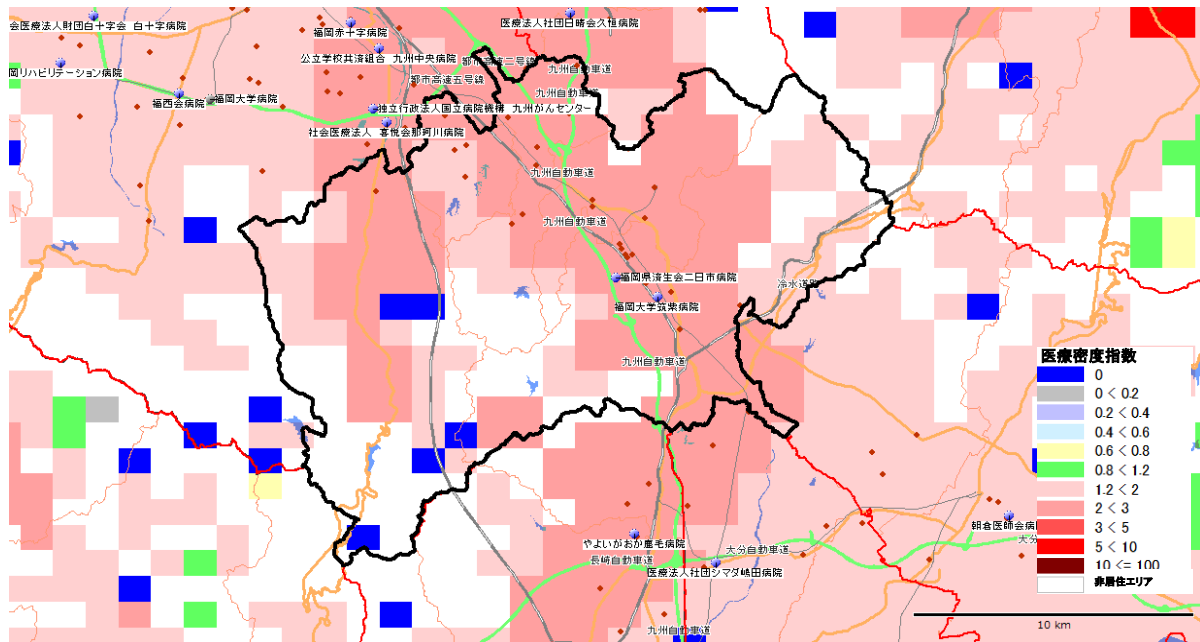


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-4-1 急性期医療密度指数マップ



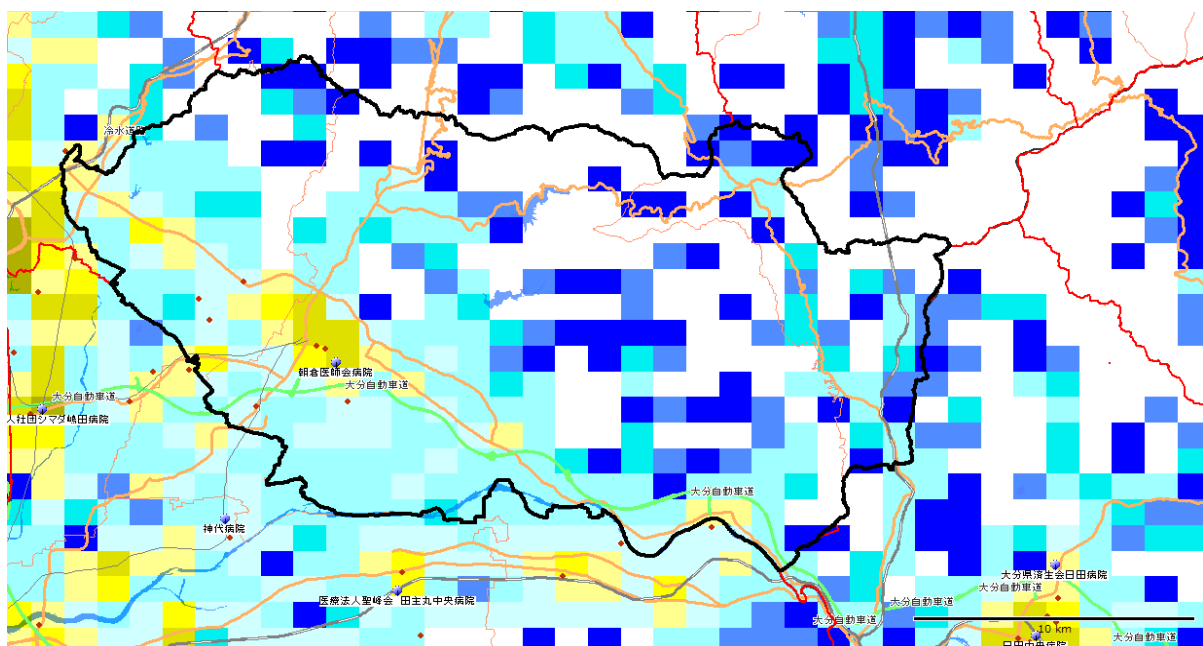
図表40-4-2 慢性期医療密度指数マップ



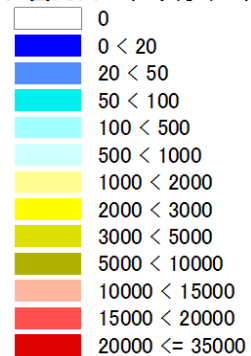
# 40-5. あさくら 朝倉医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [朝倉市](#) [筑前町](#) [東峰村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (朝倉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 朝倉(朝倉市)は、総人口約84千人(2015年推計)、面積366km<sup>2</sup>、人口密度は231人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 朝倉の総人口は2025年に77千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に64千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 朝倉の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値64)、介護給付費は277千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 朝倉の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.11で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48(病院医師数46、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。朝倉には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 朝倉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1419人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1070床(偏差値65)、高齢者住宅等が349床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1157人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住52である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値80と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、88人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

朝倉医療圏の総人口は、2005年91487人が、2015年に84462人と8%減少し、2025年の人口が76947人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

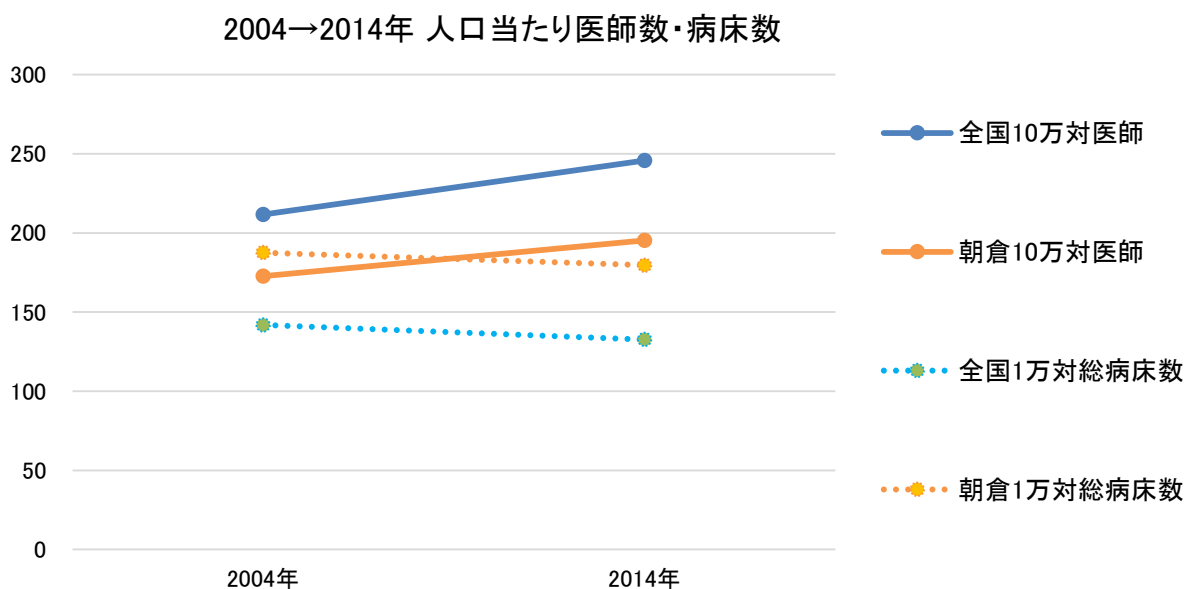
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に8(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が75(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に73(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値54)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1716床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1517床(人口1万人当たり180(全国平均133)偏差値58)と、199床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

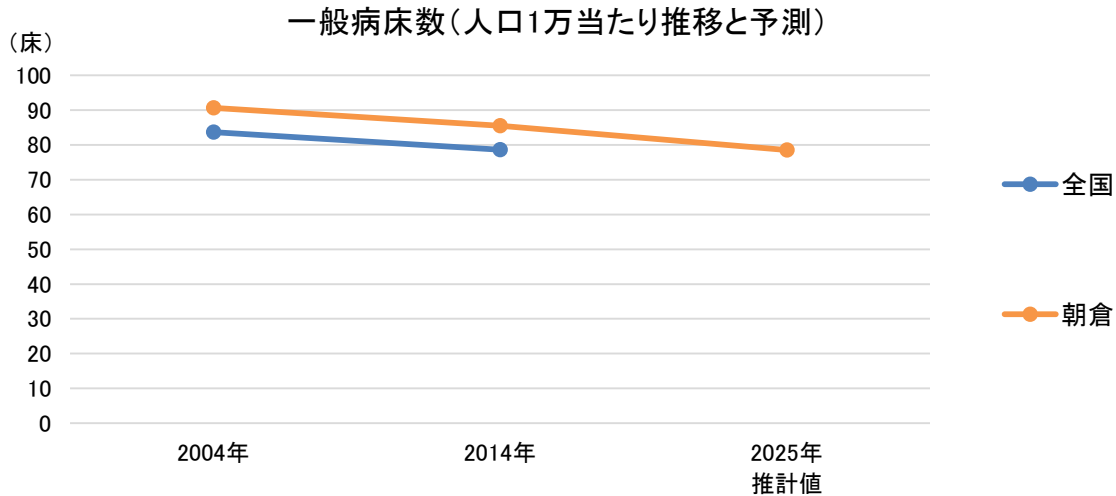
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が158人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり195人(全国平均246人)偏差値45)と、7人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。





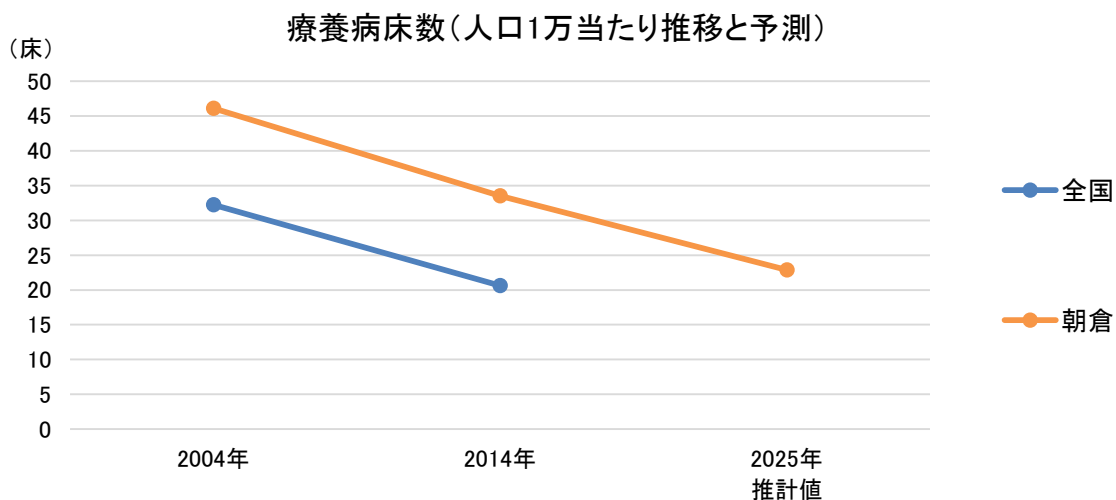
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が829床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に722床(人口1万人当たり85(全国平均79)偏差値53)と、107床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には604床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



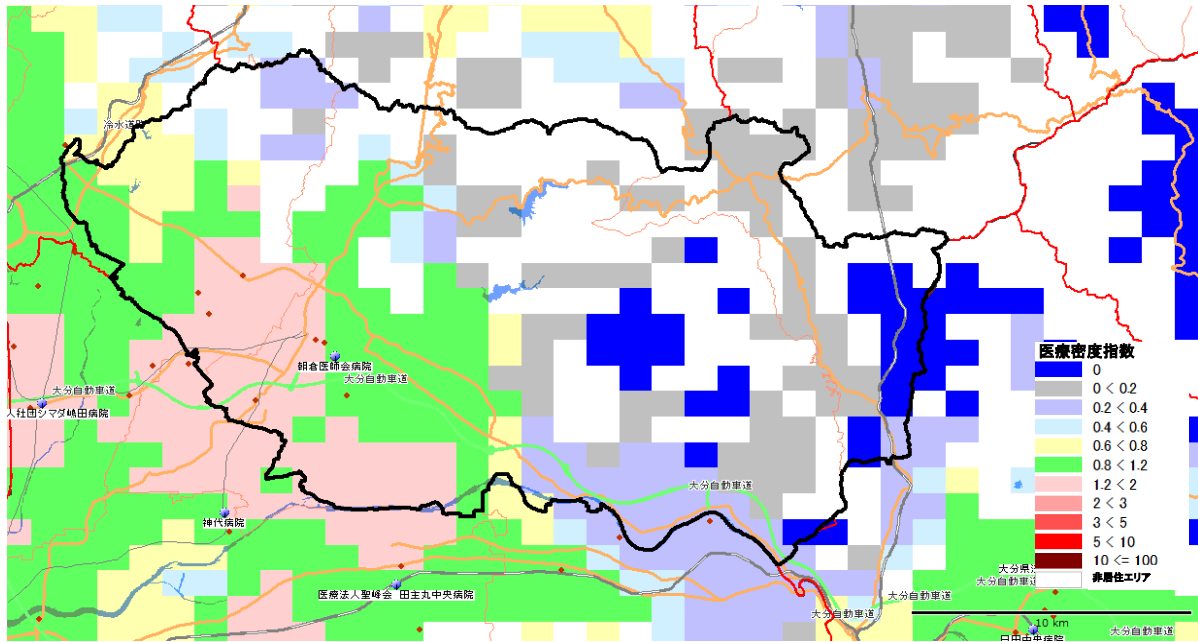
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が529床(75歳以上1000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に455床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、74床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には374床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。

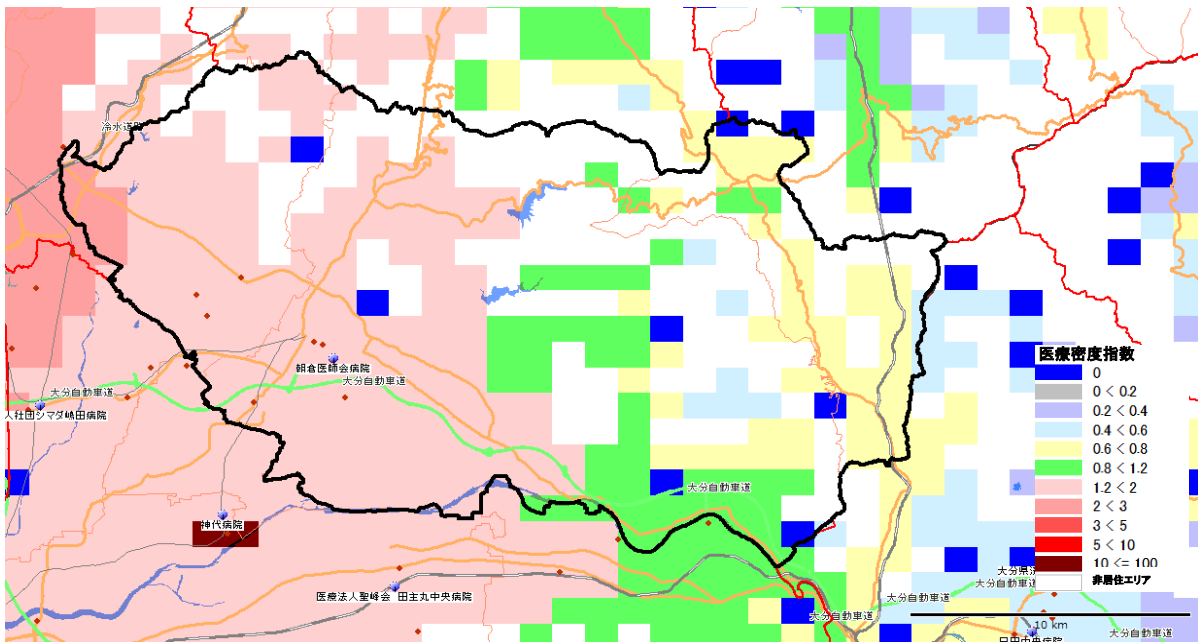


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-5-1 急性期医療密度指数マップ



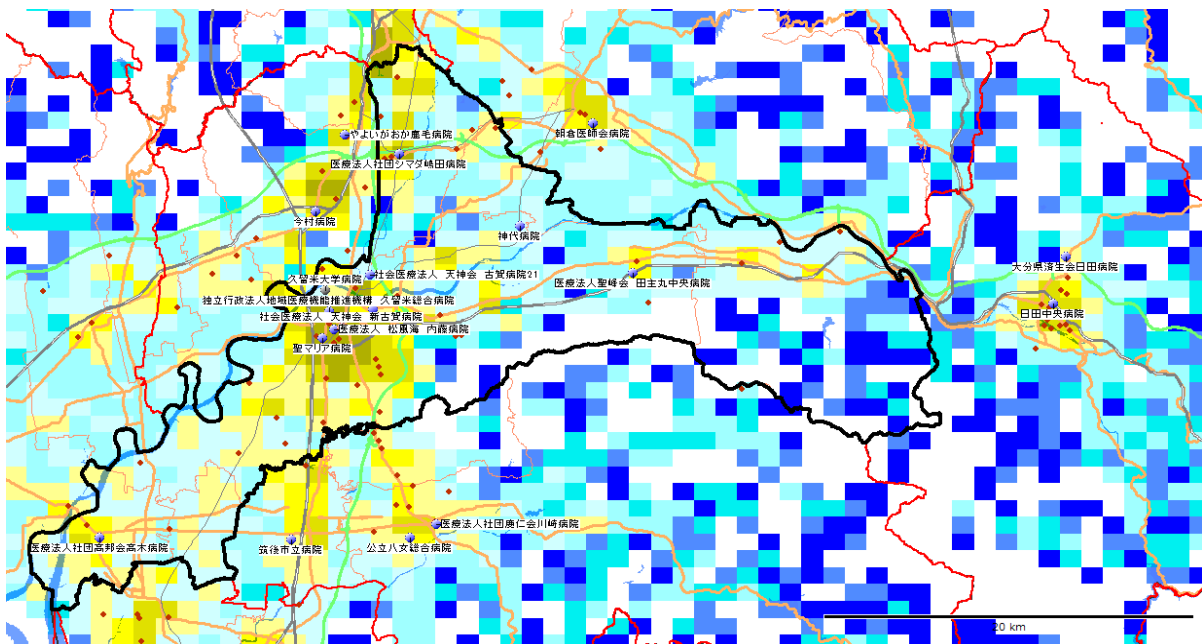
図表40-5-2 慢性期医療密度指数マップ



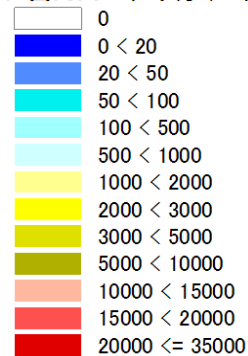
# 40-6. く る め 久留米医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [久留米市](#)      [大川市](#)      [小郡市](#)      [うきは市](#)  
[大刀洗町](#)      [大木町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (久留米医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 久留米(久留米市)は、総人口約451千人(2015年推計)、面積468km<sup>2</sup>、人口密度は963人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 久留米の総人口は2025年に425千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に371千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて78千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 久留米の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値58)、介護給付費は265千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 久留米の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が74(病院医師数79、診療所医師数57)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。久留米には、年間全身麻酔件数が2000例以上の聖マリア病院(Ⅲ群・救命)、久留米大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のJCHO久留米総合病院(Ⅲ群)、新古賀病院(Ⅲ群)、500例以上の高木病院(Ⅲ群)、古賀病院21(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 久留米の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5650人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3257床(偏差値45)、高齢者住宅等が2393床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4984人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム45、軽費ホーム48、グループホーム65、サ高住46である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値70と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、646人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-31%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

久留米医療圏の総人口は、2005年465712人が、2015年に450701人と3%減少し、2025年の人口が424744人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

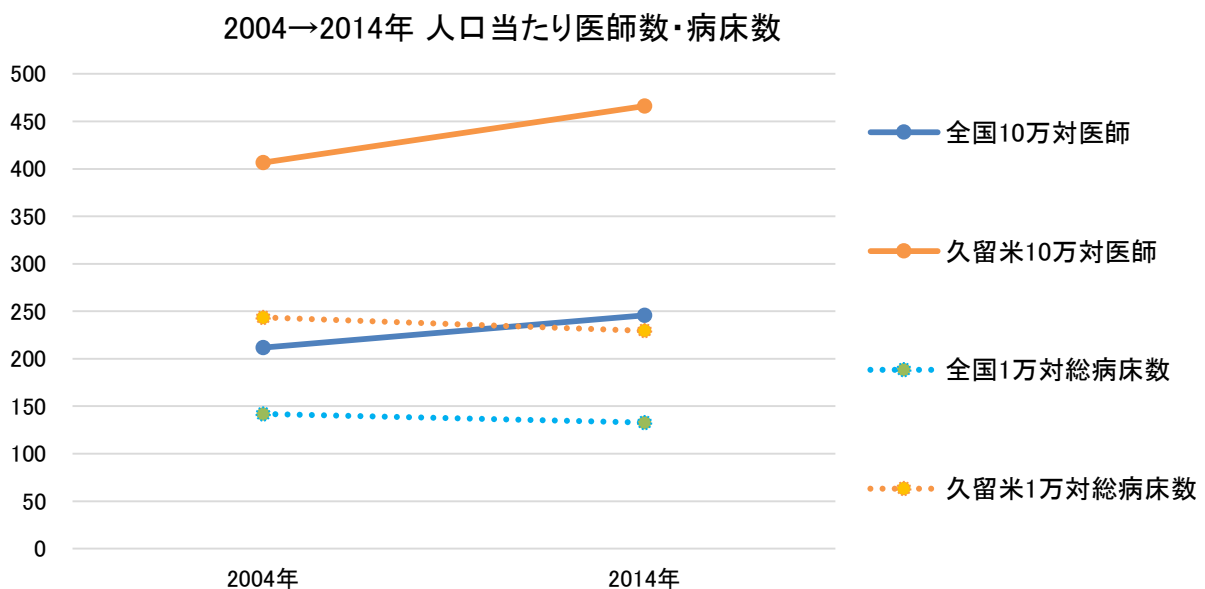
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が49(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に49(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が433(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に453(人口10万人当たり101診療所(全国平均79)偏差値61)と、20診療所が増加した。

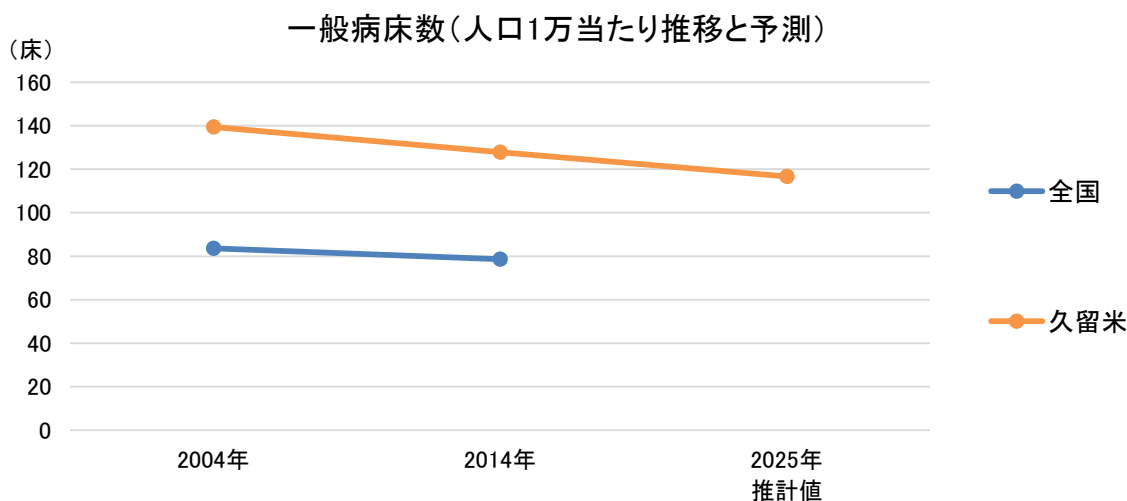
2004年の総病床数が11336床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に10345床(人口1万人当たり230(全国平均133)偏差値67)と、991床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1894人(人口10万人当たり407人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2014年に2101人(人口10万人当たり466人(全国平均246人)偏差値72)と、207人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



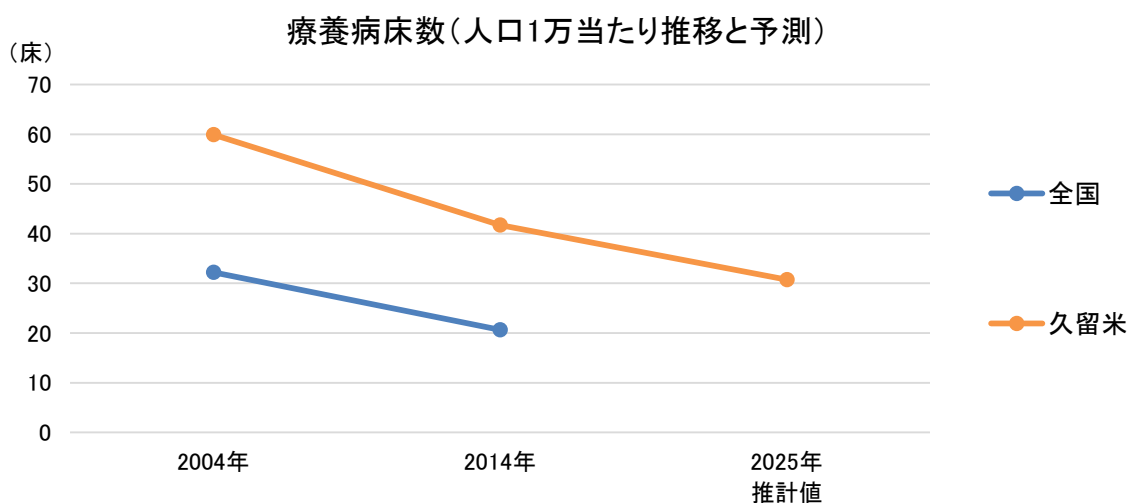
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6492床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に5761床(人口1万人当たり128(全国平均79)偏差値68)と、731床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4957床(2025年の推計人口1万人当たり117)になることが予想される。



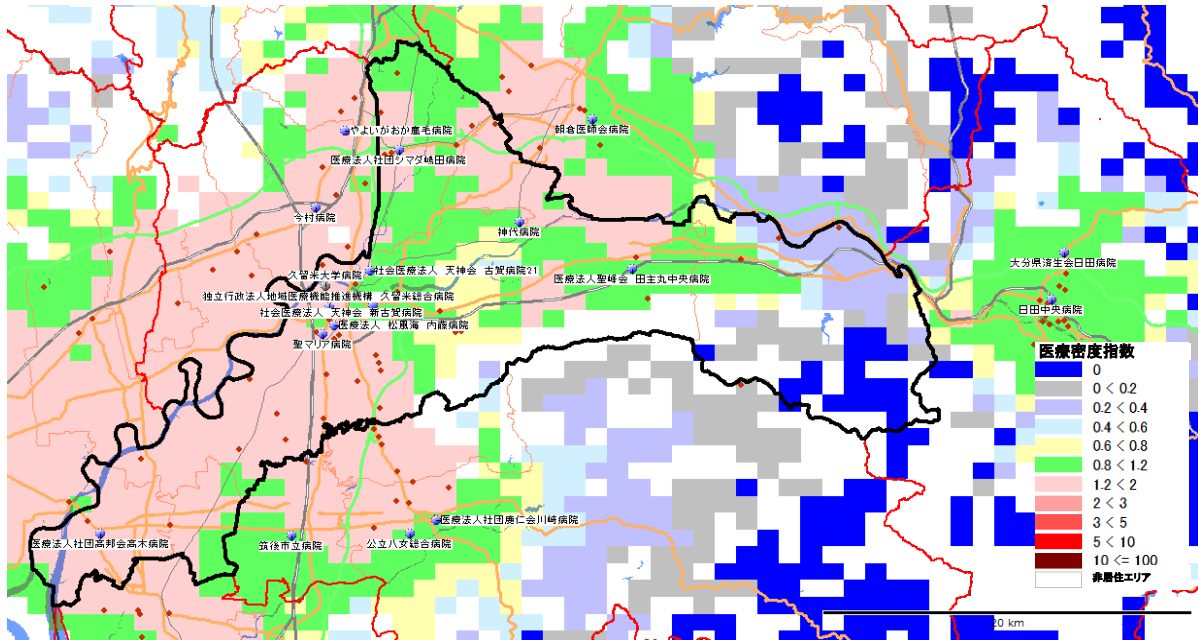
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2644床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に2529床(75歳以上1000人当たり42(全国平均21)偏差値68)と、115床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2403床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。

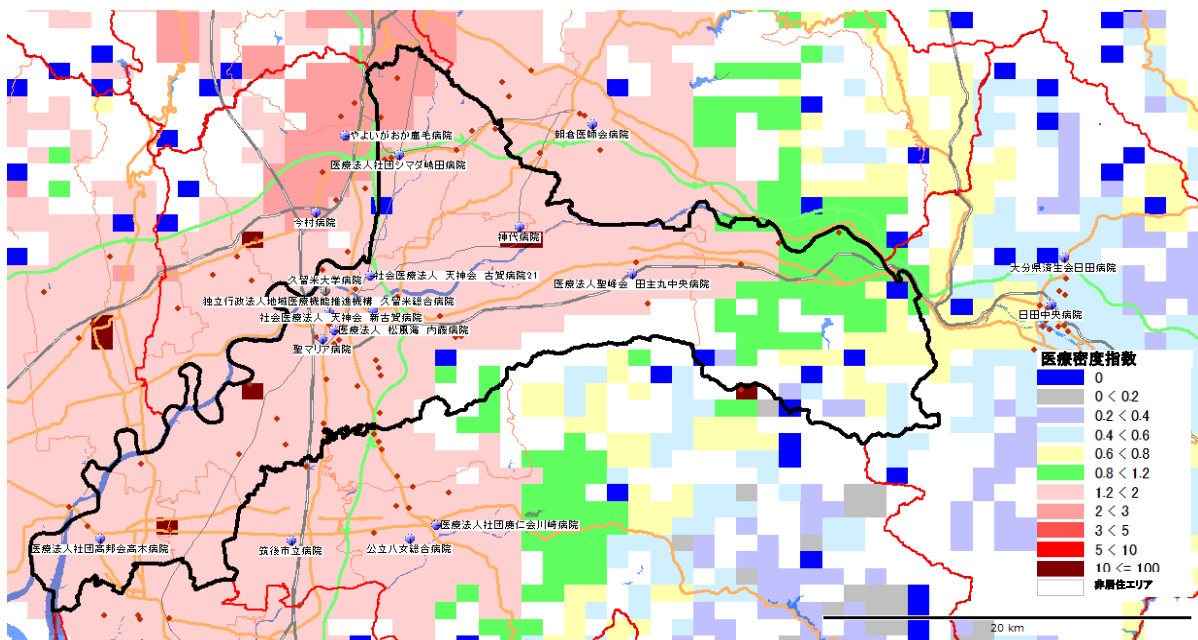


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-6-1 急性期医療密度指数マップ



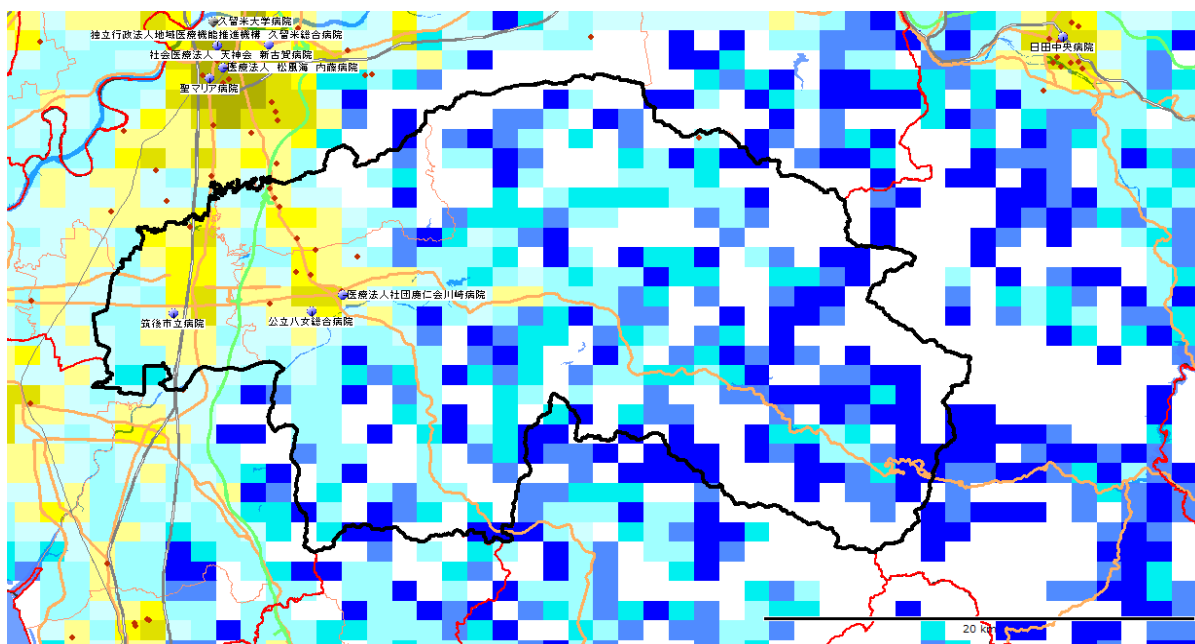
図表40-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-7. やめちくご 八女・筑後医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [八女市](#)      [筑後市](#)      [広川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院



## (八女・筑後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 八女・筑後(八女市)は、総人口約134千人(2015年推計)、面積562km<sup>2</sup>、人口密度は238人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 八女・筑後の総人口は2025年に124千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に107千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 八女・筑後の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値58)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 八女・筑後の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.19で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。八女・筑後には、年間全身麻酔件数が500例以上の筑後市立病院(Ⅲ群)、川崎病院(Ⅲ群)、公立八女総合病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 八女・筑後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2255人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1579床(偏差値61)、高齢者住宅等が676床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1878人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。  
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住43である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値69と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、195人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

八女・筑後医療圏の総人口は、2005年141354人が、2015年に133617人と5%減少し、2025年の人口が123597人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

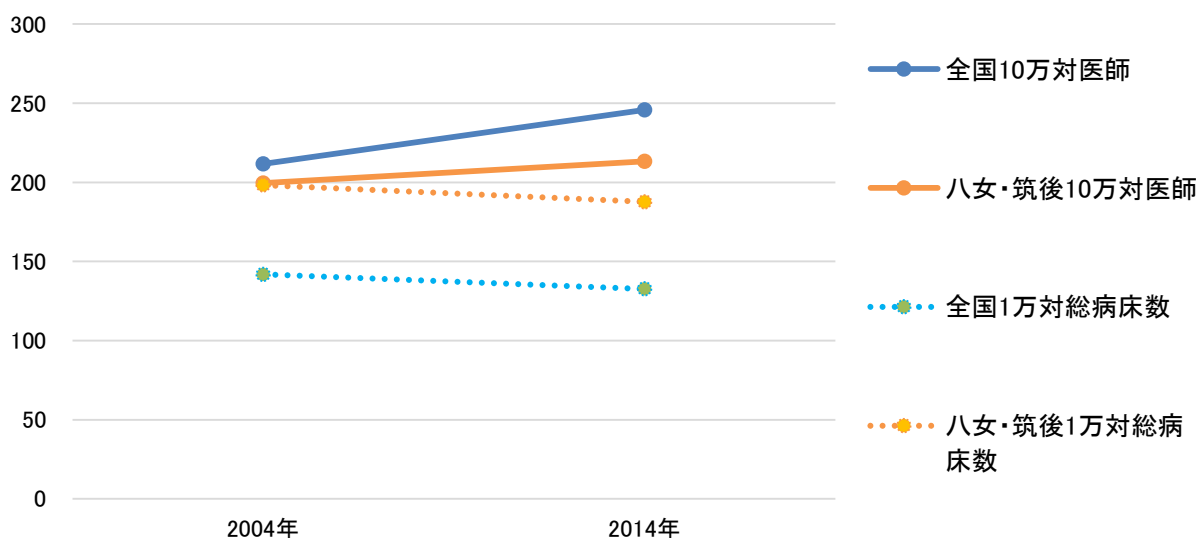
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.9病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に117(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値54)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が2803床(人口1万人当たり198(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に2508床(人口1万人当たり188(全国平均133)偏差値60)と、295床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

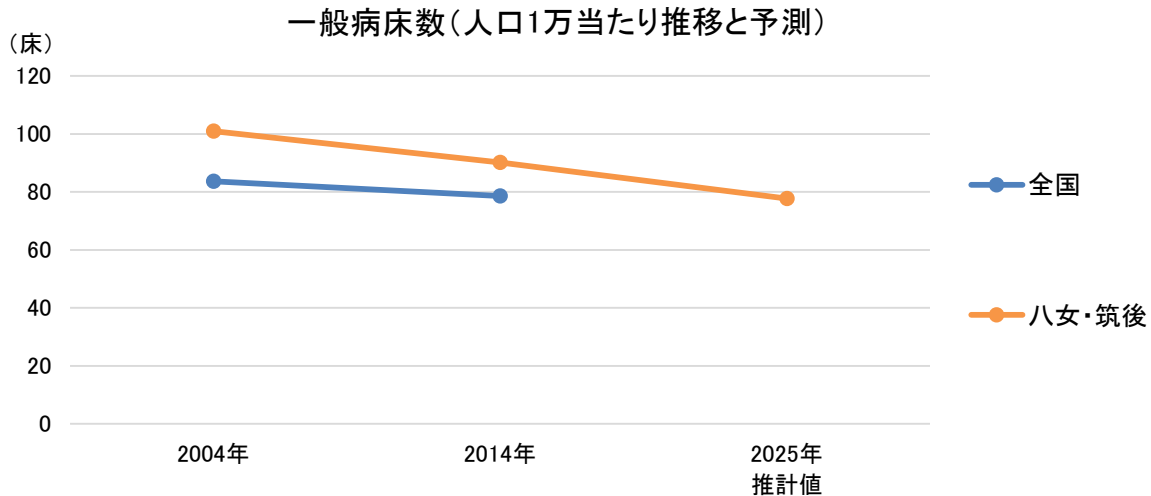
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が282人(人口10万人当たり199人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に285人(人口10万人当たり213人(全国平均246人)偏差値47)と、3人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



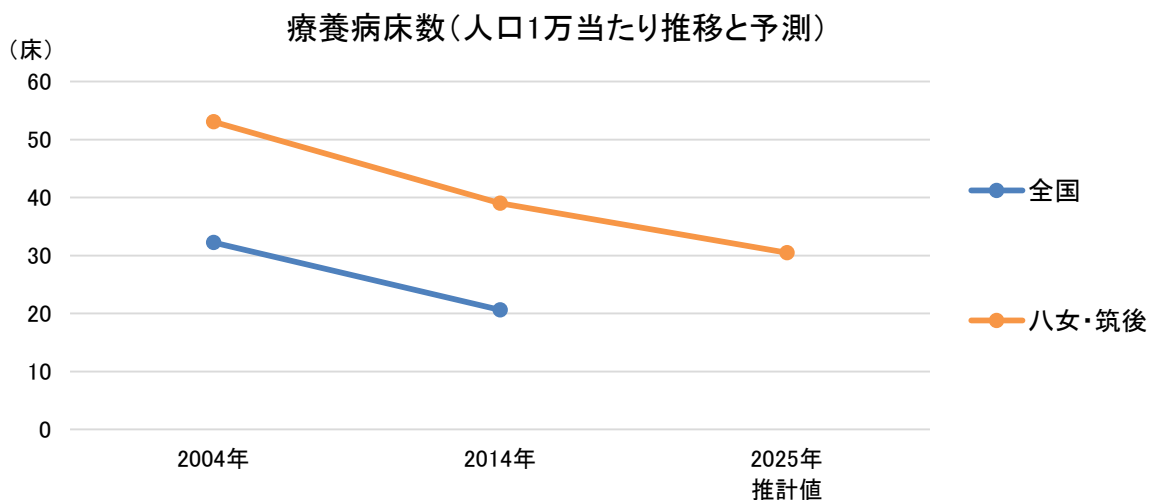
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1427床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に1205床(人口1万人当たり90(全国平均79)偏差値54)と、222床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には961床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



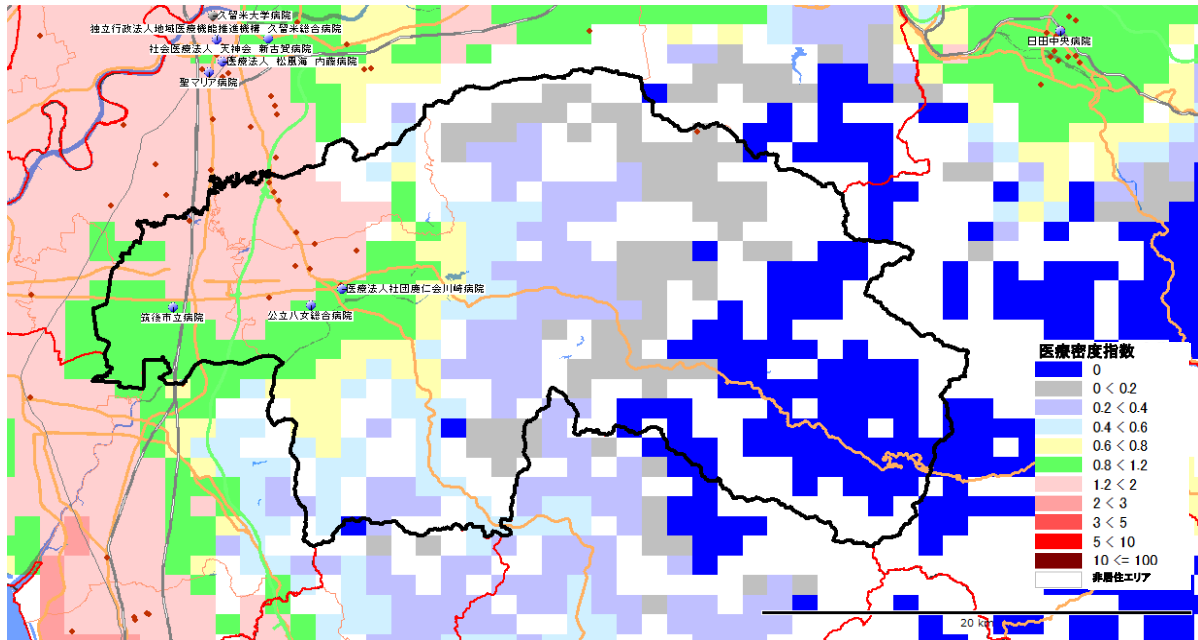
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が912床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に837床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値66)と、75床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には755床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。

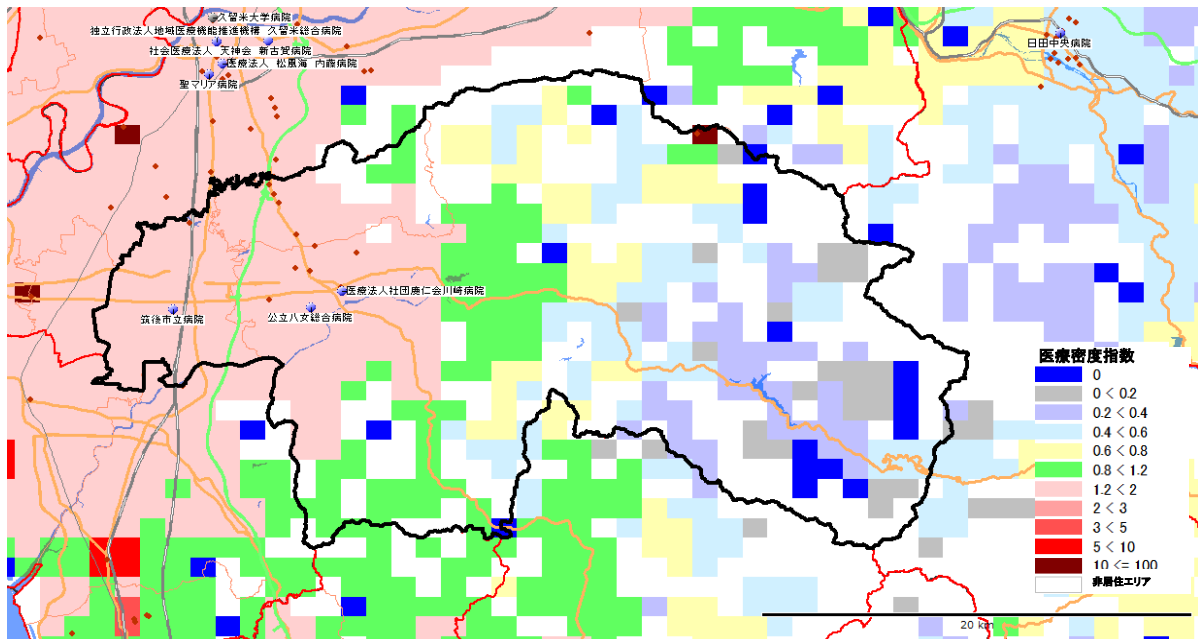


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-7-1 急性期医療密度指数マップ



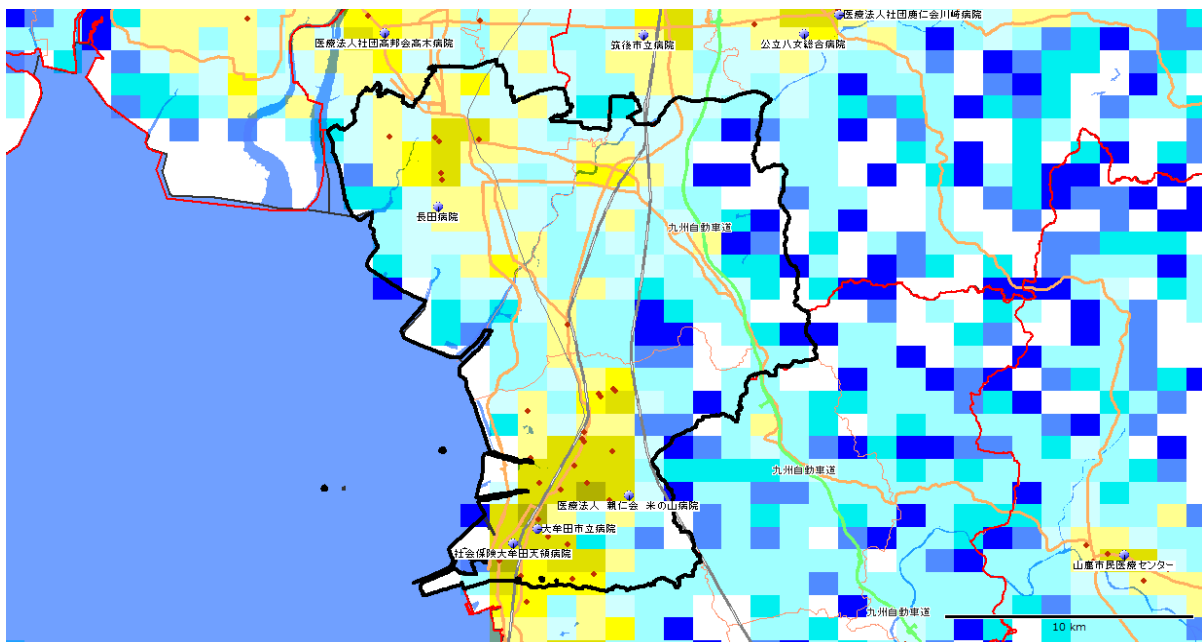
図表40-7-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-8. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [大牟田市](#)      [柳川市](#)      [みやま市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （有明医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 有明（大牟田市）は、総人口約222千人（2015年推計）、面積264km<sup>2</sup>、人口密度は843人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 有明の総人口は2025年に195千人へと減少し（2015年比-12%）、2040年に155千人へと減少する（2025年比-21%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて45千人へと増加し（2015年比+13%）、2040年には41千人へと減少する（2025年比-9%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 有明の一人当たり医療費（国保）は392千円（偏差値68）、介護給付費は287千円（偏差値59）であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 有明の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.52、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.2で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が55（病院医師数53、診療所医師数57）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は77と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は75で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。有明には、年間全身麻酔件数が1000例以上の大牟田市立病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値81と非常に多く、回復期病床数は偏差値66と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は73で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 有明の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、4090人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2861床（偏差値59）、高齢者住宅等が1229床（偏差値44）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、3562人（75歳以上1000人当たりの偏差値61）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム52、サ高住45である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、481人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

有明医療圏の総人口は、2005年249001人が、2015年に222230人と11%減少し、2025年の人口が195314人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

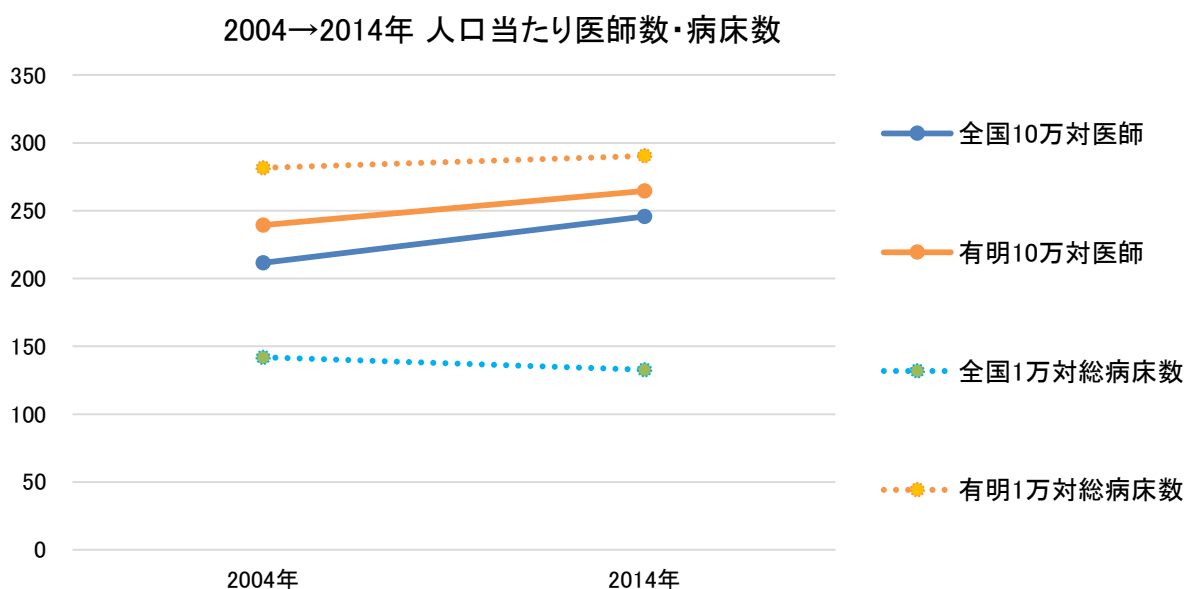
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が34(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に33(人口10万人当たり14.8病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が244(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に221(人口10万人当たり99診療所(全国平均79)偏差値60)と、23診療所が減少した。

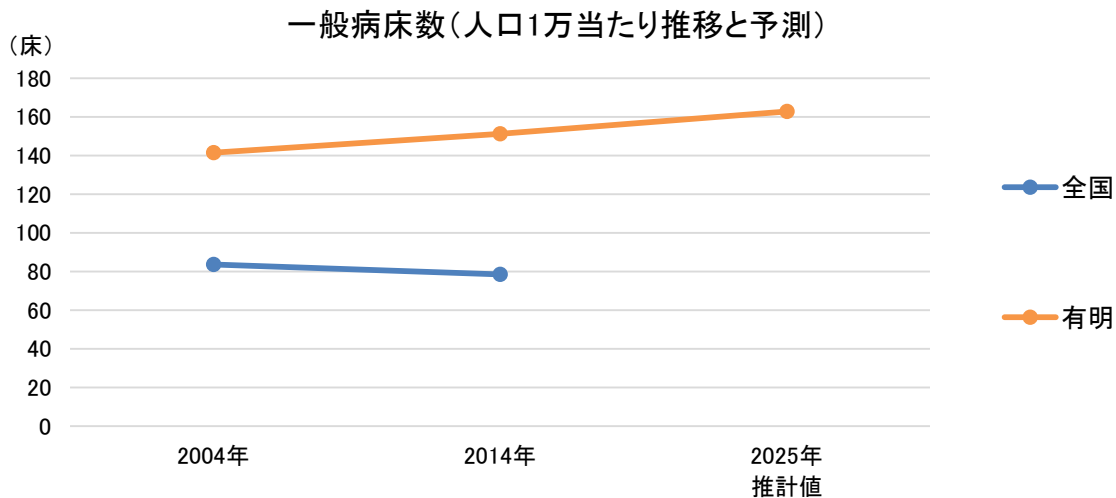
2004年の総病床数が7012床(人口1万人当たり282(全国平均142)偏差値75)であったが、2014年に6455床(人口1万人当たり290(全国平均133)偏差値78)と、557床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が596人(人口10万人当たり239人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に588人(人口10万人当たり265人(全国平均246人)偏差値52)と、8人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



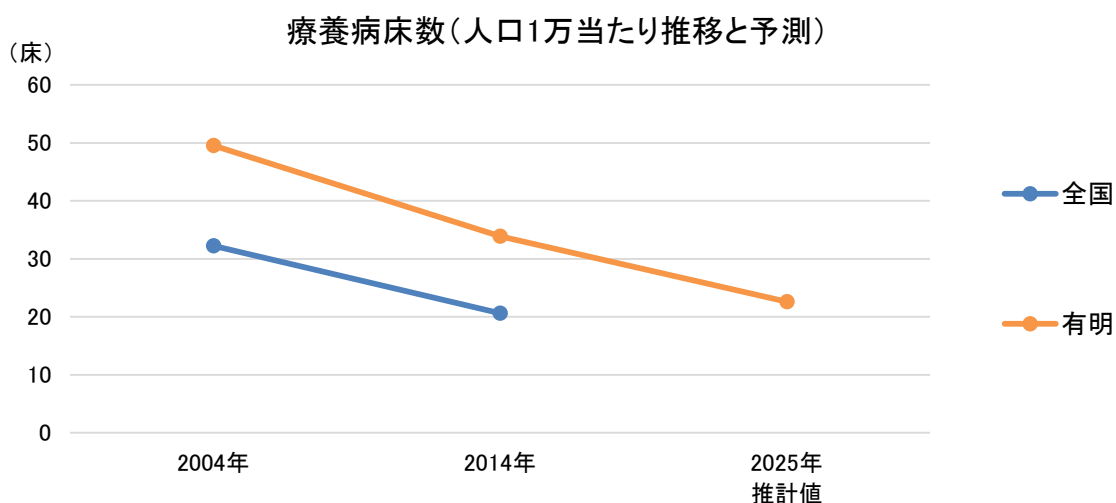
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3523床(人口1万人当たり141(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3360床(人口1万人当たり151(全国平均79)偏差値77)と、163床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3181床(2025年の推計人口1万人当たり163)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

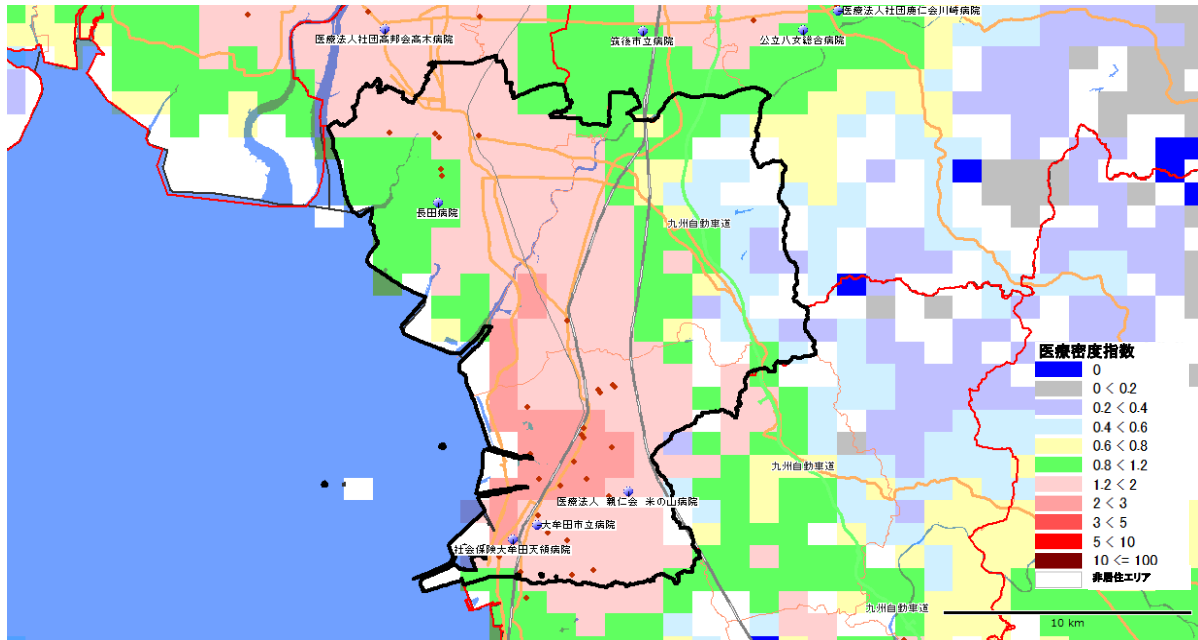
2004年の療養病床(病院+診療所)が1667床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1353床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、314床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1008床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



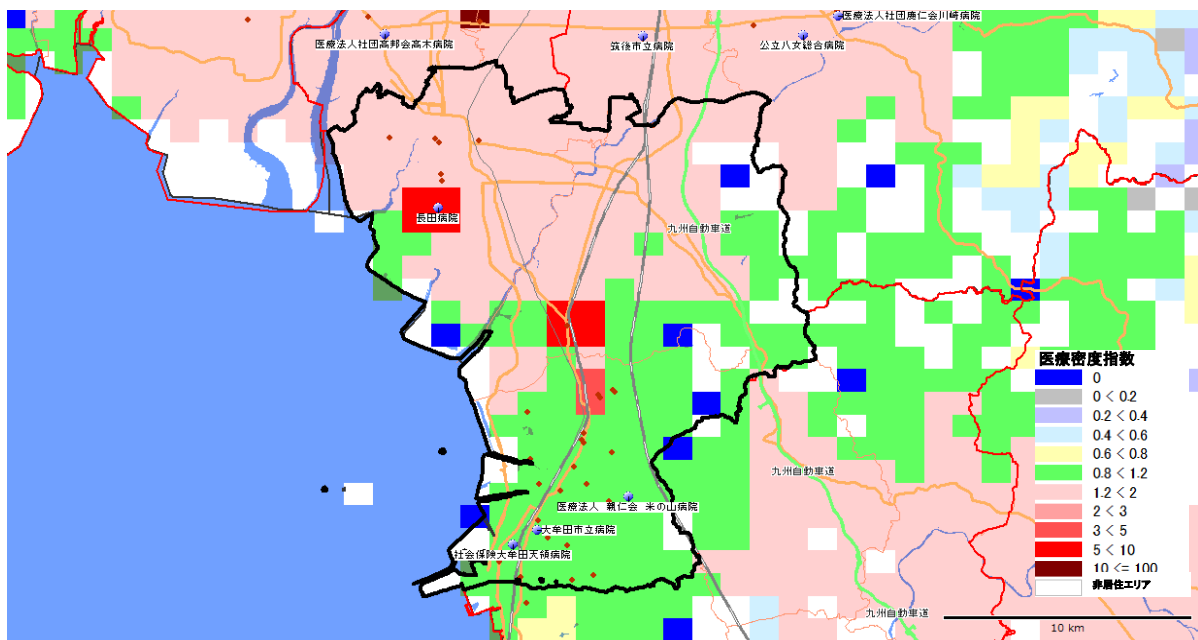


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-8-1 急性期医療密度指数マップ



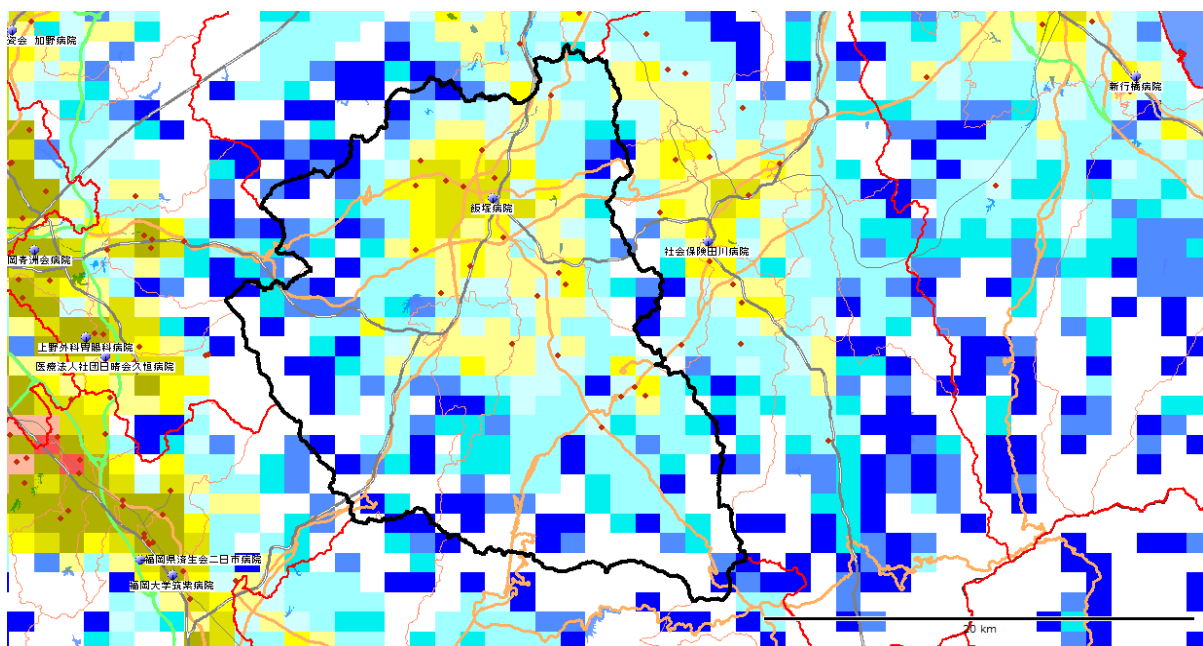
図表40-8-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-9. い い づ か 飯塚医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [飯塚市](#)      [嘉麻市](#)      [桂川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (飯塚医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 飯塚(飯塚市)は、総人口約181千人(2015年推計)、面積369km<sup>2</sup>、人口密度は490人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 飯塚の総人口は2025年に166千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に141千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 飯塚の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値59)、介護給付費は318千円(偏差値67)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 飯塚の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が62(病院医師数66、診療所医師数50)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は77と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。飯塚には、年間全身麻酔件数が2000例以上の飯塚病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の飯塚市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 飯塚の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3536人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2209床(偏差値65)、高齢者住宅等が1327床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2346人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム50、軽費ホーム57、グループホーム53、サ高住58である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値62と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、558人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

飯塚医療圏の総人口は、2005年193821人が、2015年に181091人と7%減少し、2025年の人口が166186人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

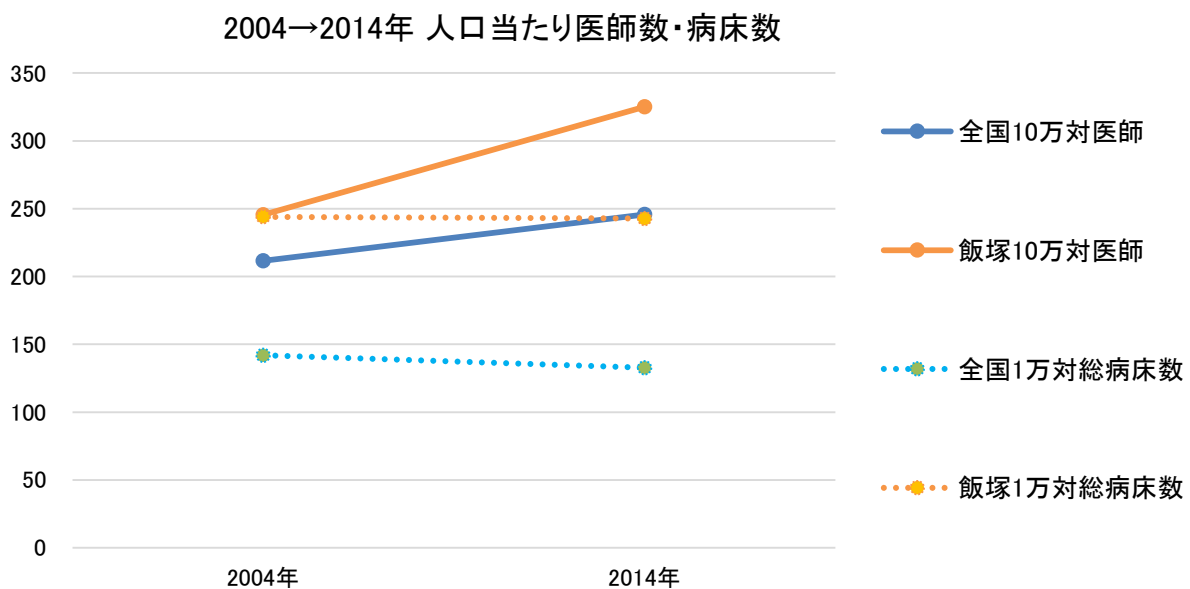
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が24(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に22(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が167(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に170(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値57)と、3診療所が増加した。

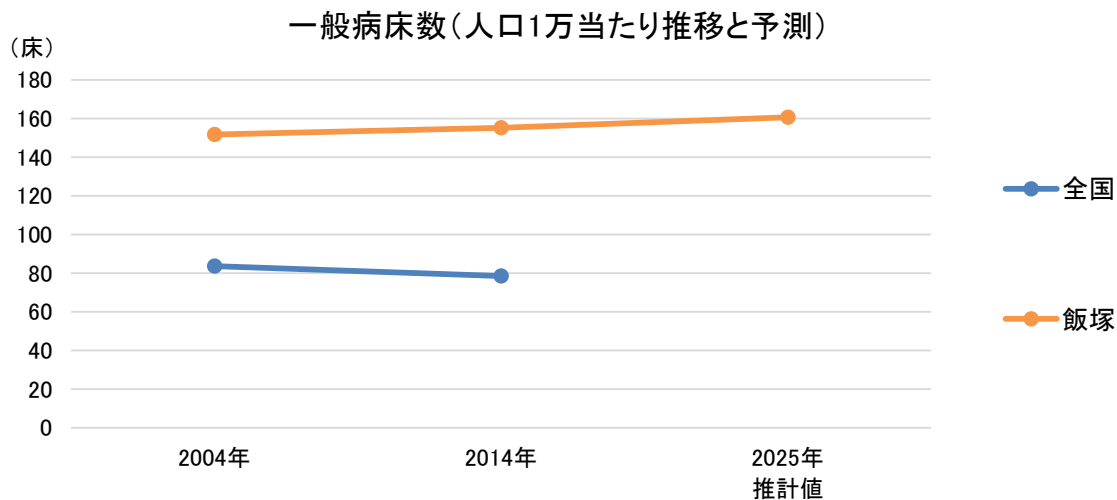
2004年の総病床数が4731床(人口1万人当たり244(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に4395床(人口1万人当たり243(全国平均133)偏差値69)と、336床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が476人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に589人(人口10万人当たり325人(全国平均246人)偏差値58)と、113人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



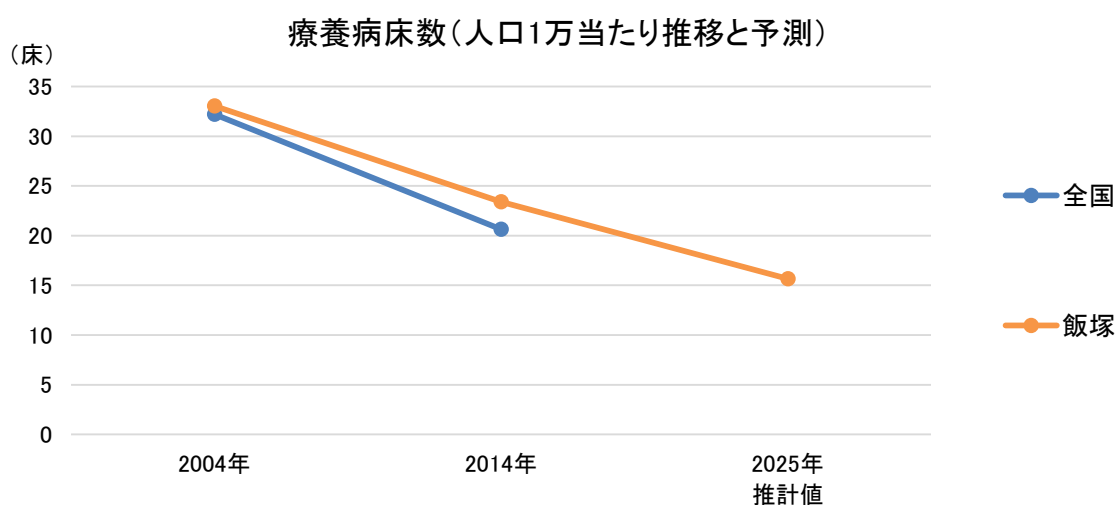
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2941床(人口1万人当たり152(全国平均84)偏差値74)であったが、2014年に2812床(人口1万人当たり155(全国平均79)偏差値78)と、129床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2670床(2025年の推計人口1万人当たり161)になることが予想される。



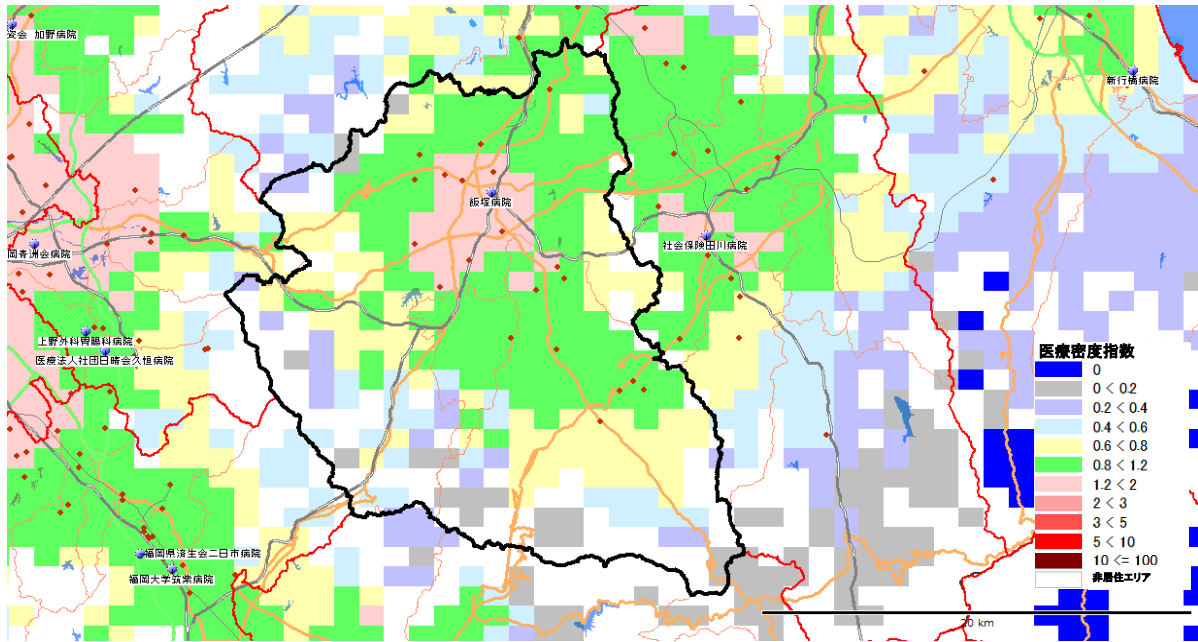
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が770床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に654床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、116床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には526床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

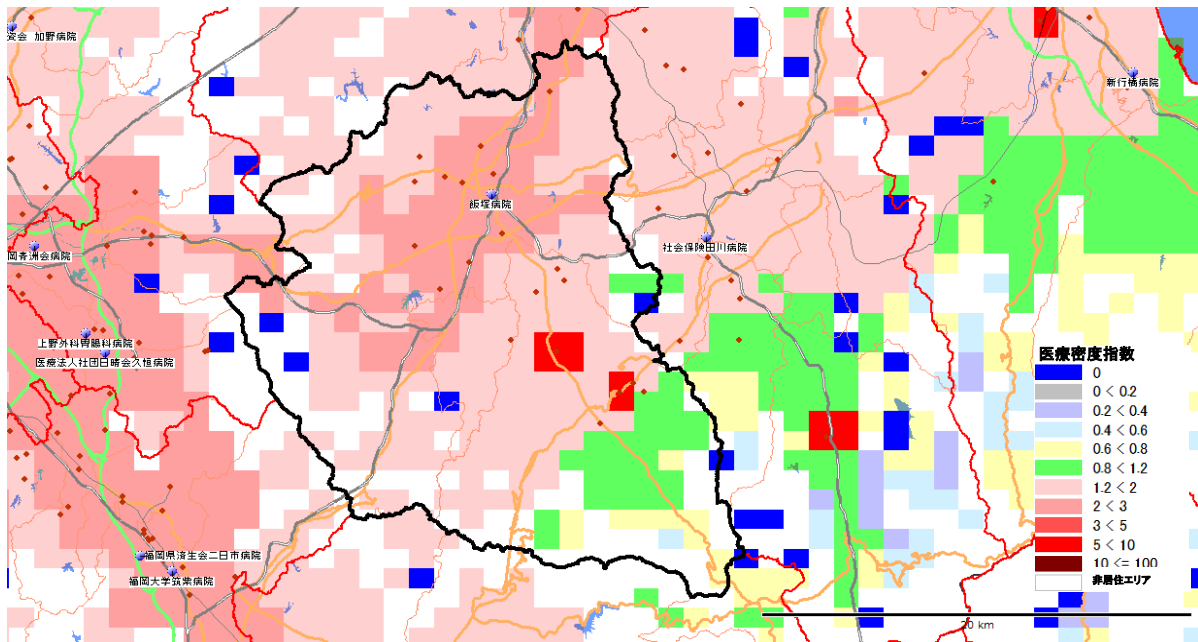


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-9-1 急性期医療密度指数マップ



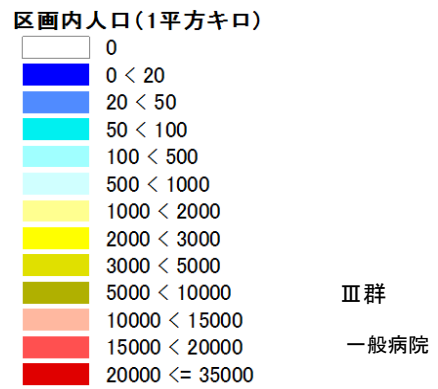
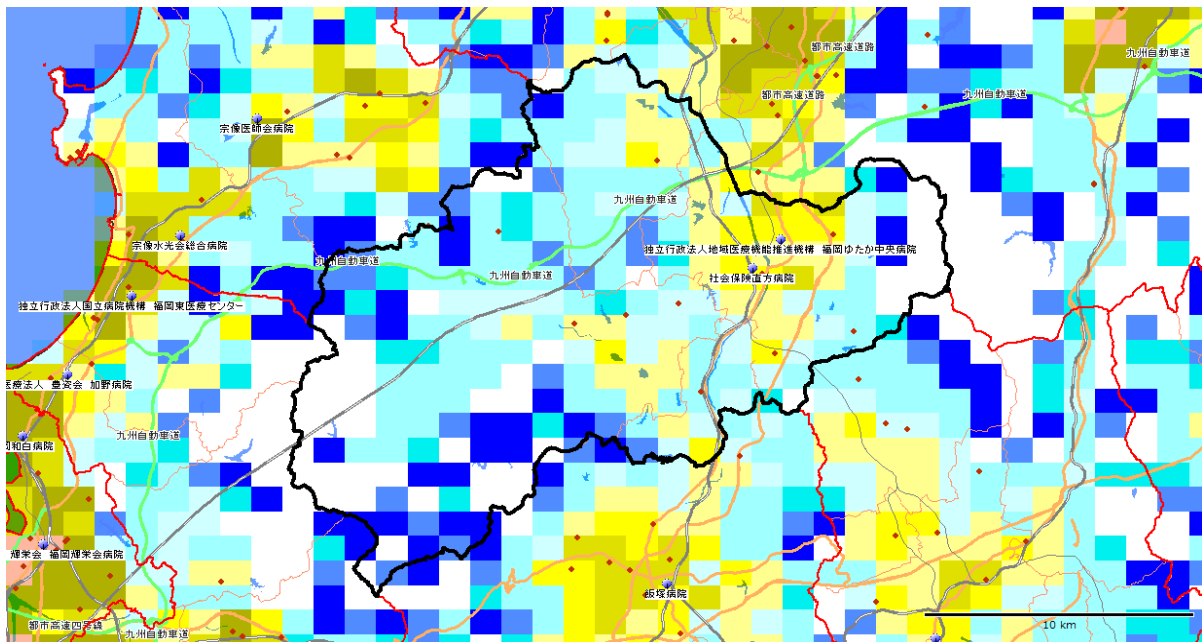
図表40-9-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-10. のおがた くらて 直方・鞍手医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [直方市](#) [宮若市](#) [小竹町](#) [鞍手町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （直方・鞍手医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 直方・鞍手(直方市)は、総人口約109千人(2015年推計)、面積252km<sup>2</sup>、人口密度は432人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 直方・鞍手の総人口は2025年に98千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に81千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 直方・鞍手の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値61)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 直方・鞍手の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.58で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48(病院医師数45、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。直方・鞍手には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は68で精神病床数は非常に多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 直方・鞍手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2748人(75歳以上1000人当たりの偏差値81)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1330床(偏差値60)、高齢者住宅等が1418床(偏差値76)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1692人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム61、軽費ホーム70、グループホーム71、サ高住67である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、248人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+31%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。



## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

直方・鞍手医療圏の総人口は、2005年115584人が、2015年に108618人と6%減少し、2025年の人口が98057人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

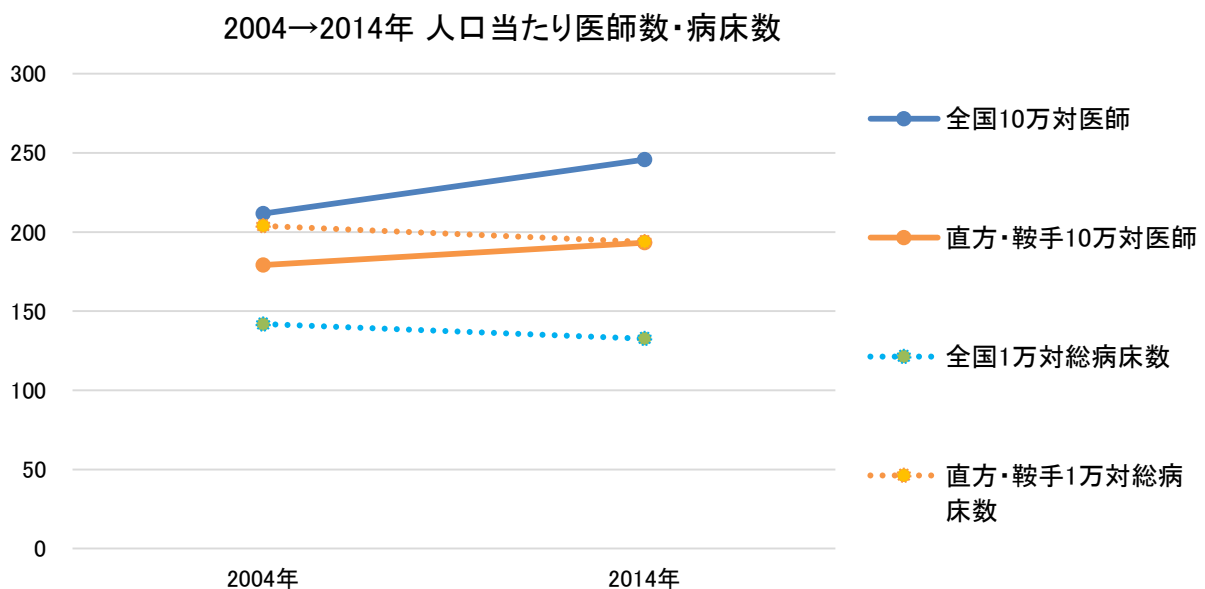
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に12(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に102(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値57)と、2診療所が増加した。

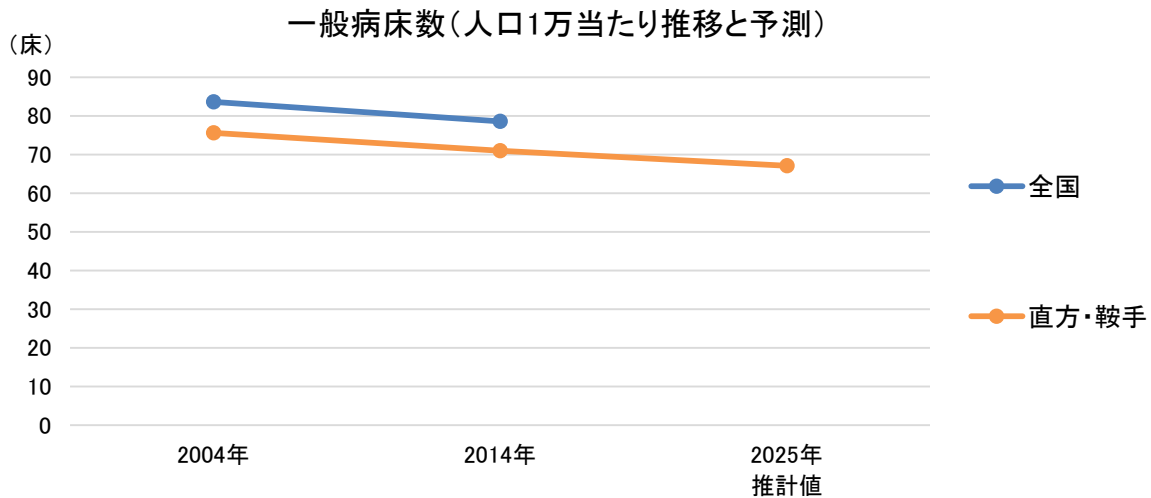
2004年の総病床数が2357床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に2105床(人口1万人当たり194(全国平均133)偏差値61)と、252床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が207人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に210人(人口10万人当たり193人(全国平均246人)偏差値45)と、3人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



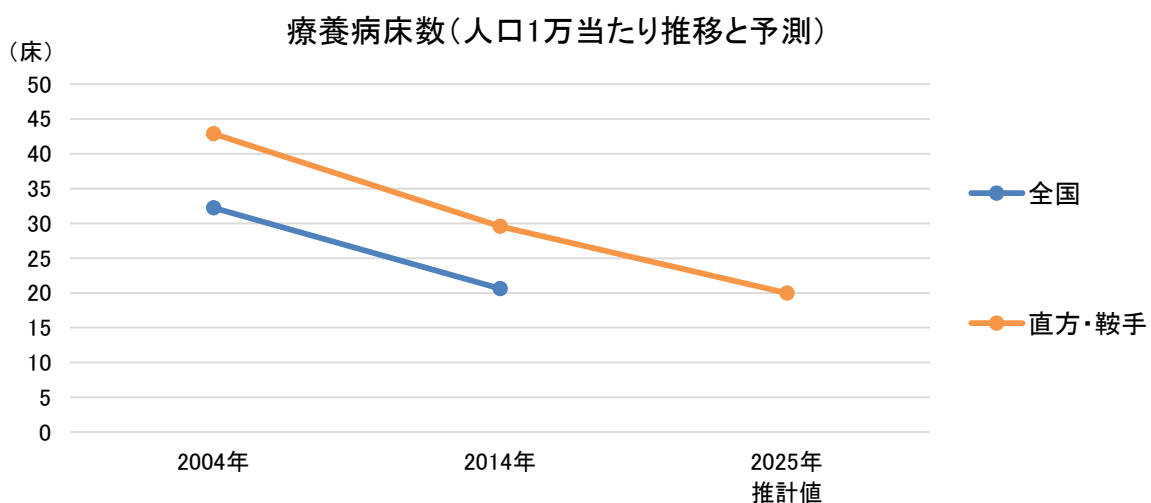
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が874床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に771床(人口1万人当たり71(全国平均79)偏差値47)と、103床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には658床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



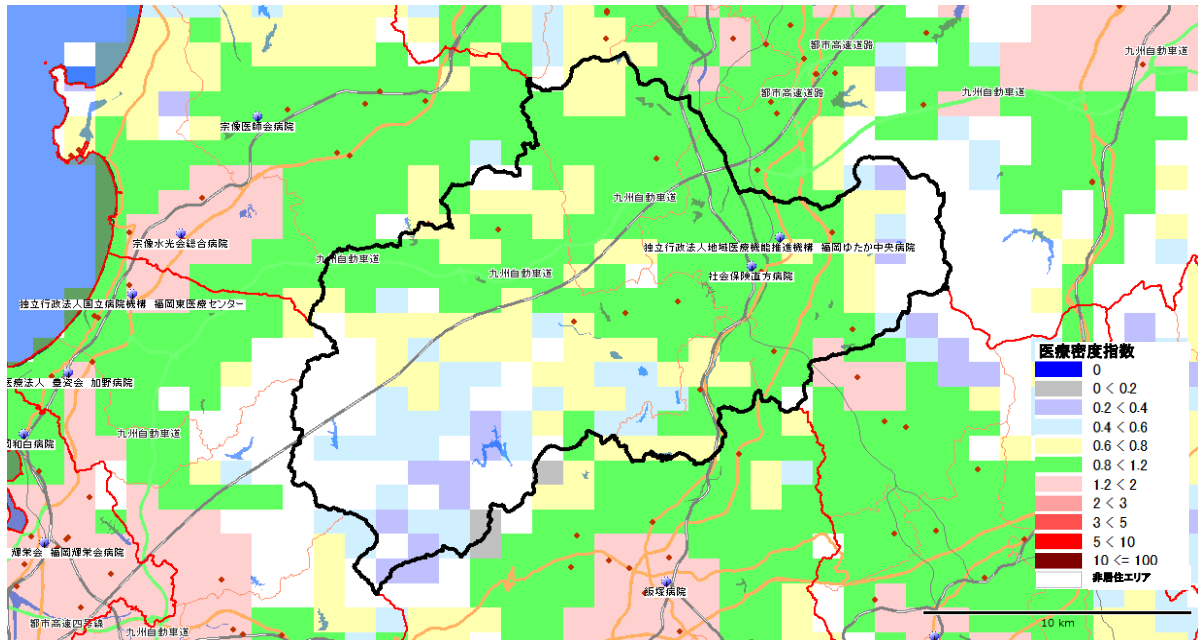
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が640床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に541床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、99床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には432床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

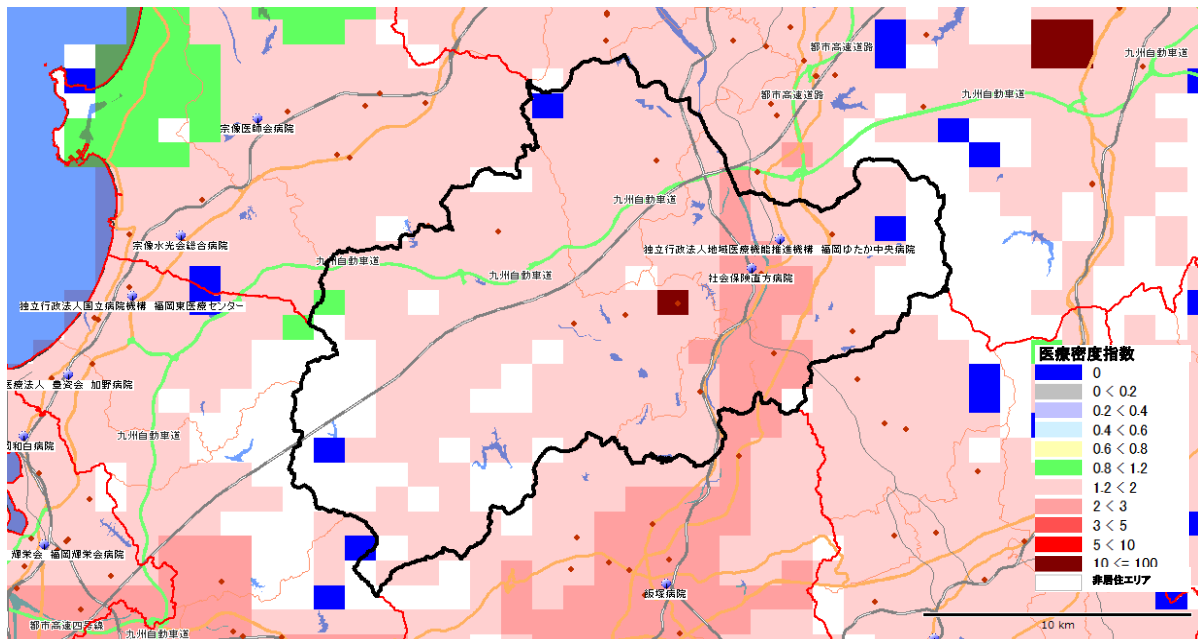


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-10-1 急性期医療密度指数マップ



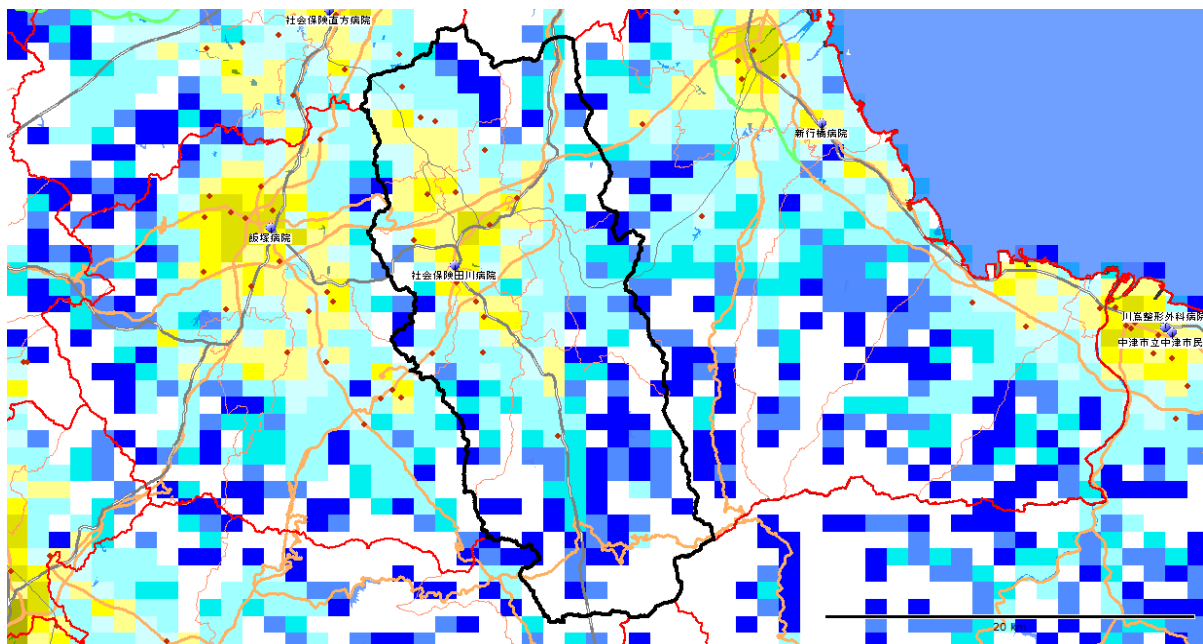
図表40-10-2 慢性期医療密度指数マップ



# たがわ 40-11. 田川医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [田川市](#) [香春町](#) [添田町](#) [糸田町](#)  
[川崎町](#) [大任町](#) [赤村](#) [福智町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (田川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 田川(田川市)は、総人口約128千人(2015年推計)、面積364km<sup>2</sup>、人口密度は351人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 田川の総人口は2025年に114千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に94千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には21千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 田川の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値59)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 田川の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。田川には、年間全身麻酔件数が500例以上の田川市立病院(Ⅲ群)、社会保険田川病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は106で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 田川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3608人(75歳以上1000人当たりの偏差値90)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2199床(偏差値83)、高齢者住宅等が1409床(偏差値67)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2425人(75歳以上1000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設74、特別養護老人ホーム79、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム51、軽費ホーム61、グループホーム92、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値78と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、717人(75歳以上1000人当たりの偏差値85)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+48%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

田川医療圏の総人口は、2005年140736人が、2015年に127768人と9%減少し、2025年の人口が114342人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

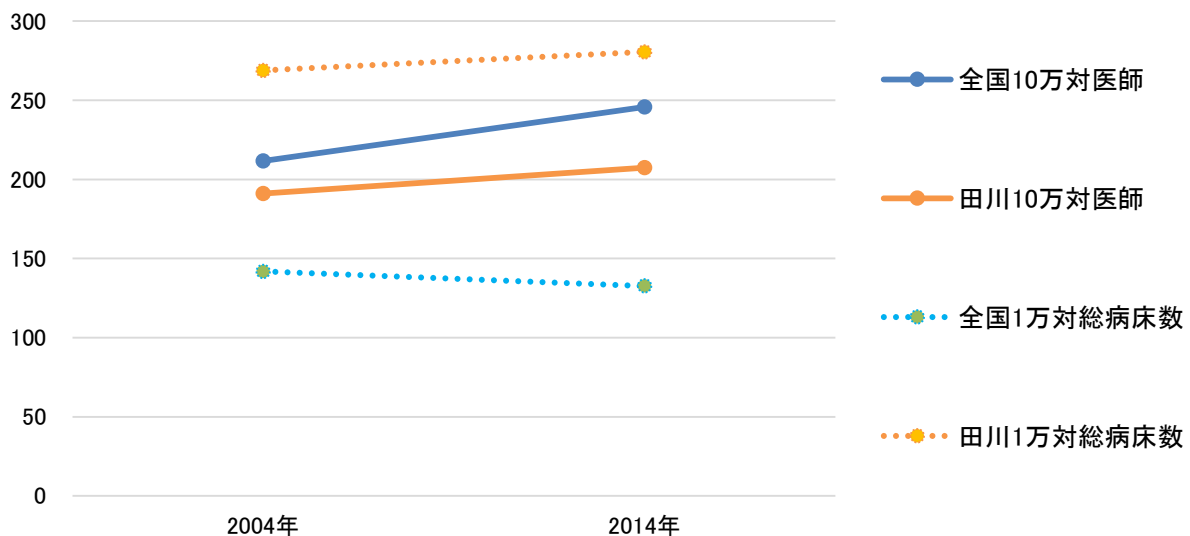
2004年の病院数が17(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に16(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.7)偏差値64)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に110(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値53)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が3783床(人口1万人当たり269(全国平均142)偏差値73)であったが、2014年に3584床(人口1万人当たり281(全国平均133)偏差値76)と、199床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

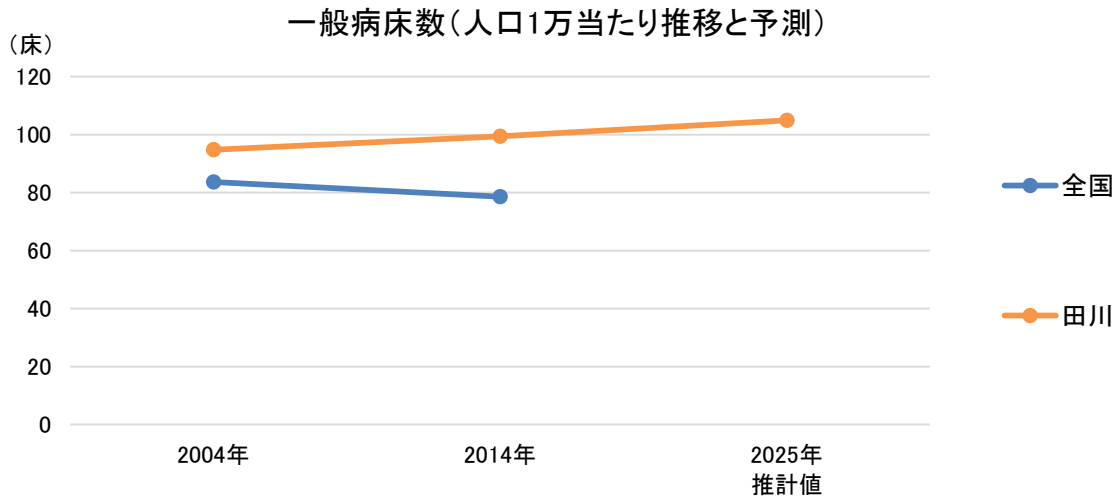
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が269人(人口10万人当たり191人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に265人(人口10万人当たり207人(全国平均246人)偏差値46)と、4人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



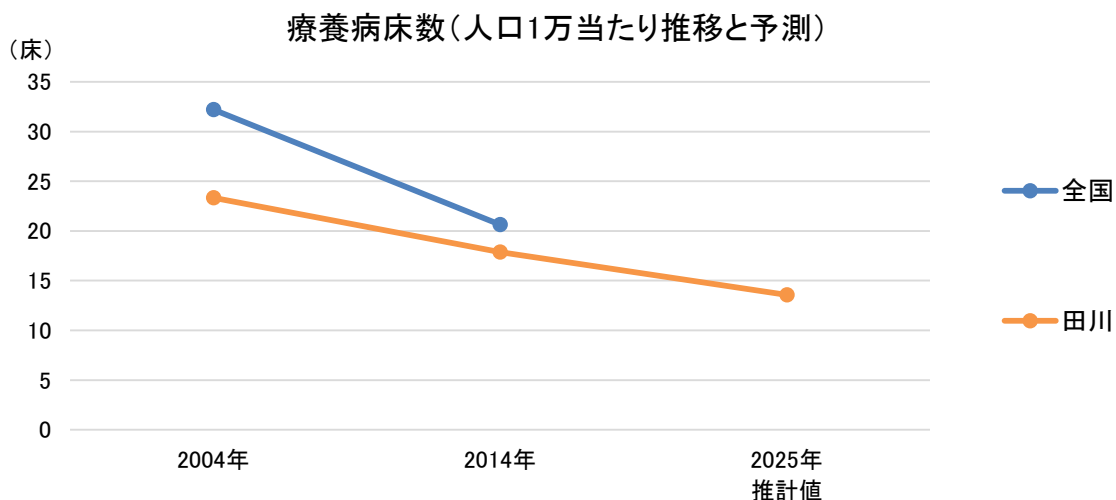
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1334床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1270床(人口1万人当たり99(全国平均79)偏差値58)と、64床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1200床(2025年の推計人口1万人当たり105)になることが予想される。



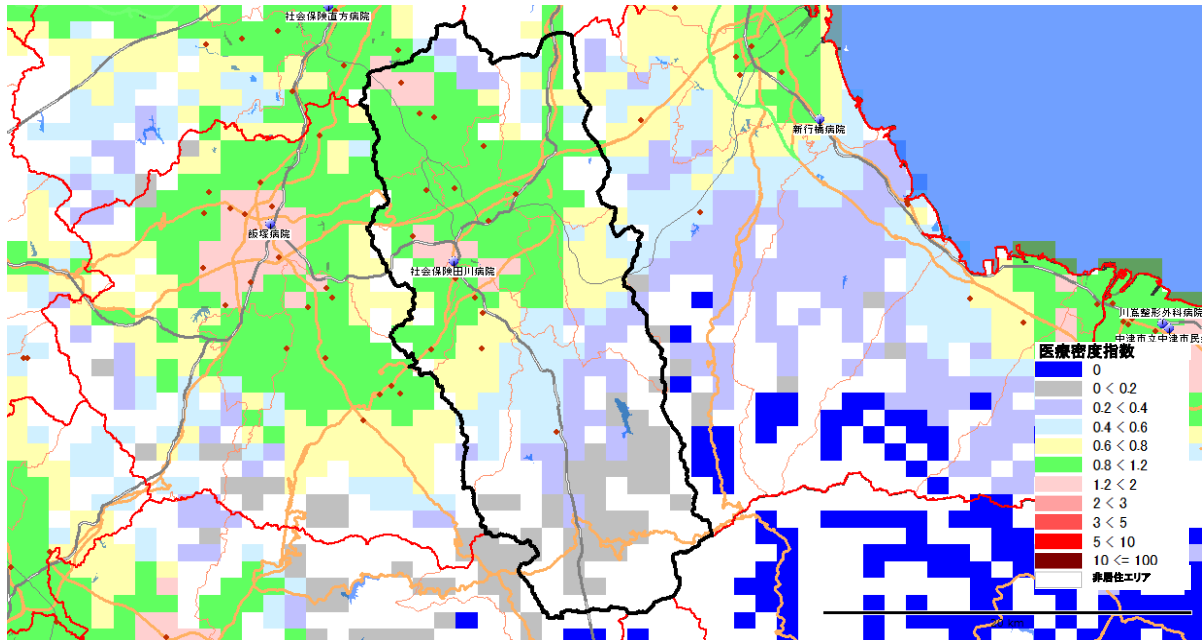
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が440床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に390床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、50床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には335床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

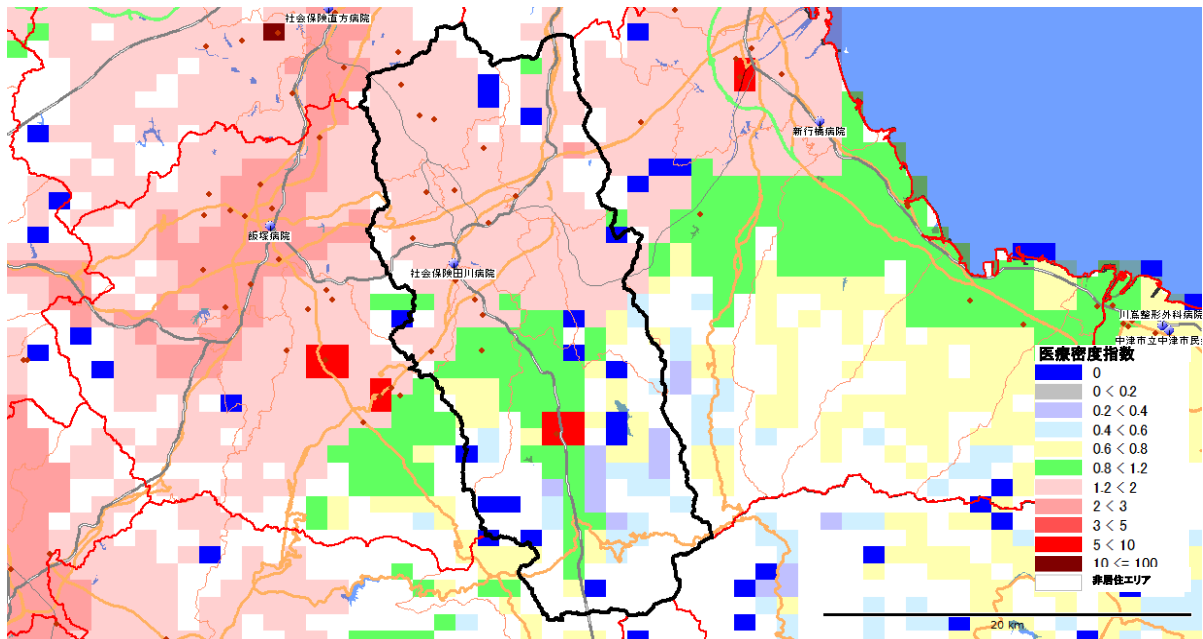


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-11-2 慢性期医療密度指数マップ



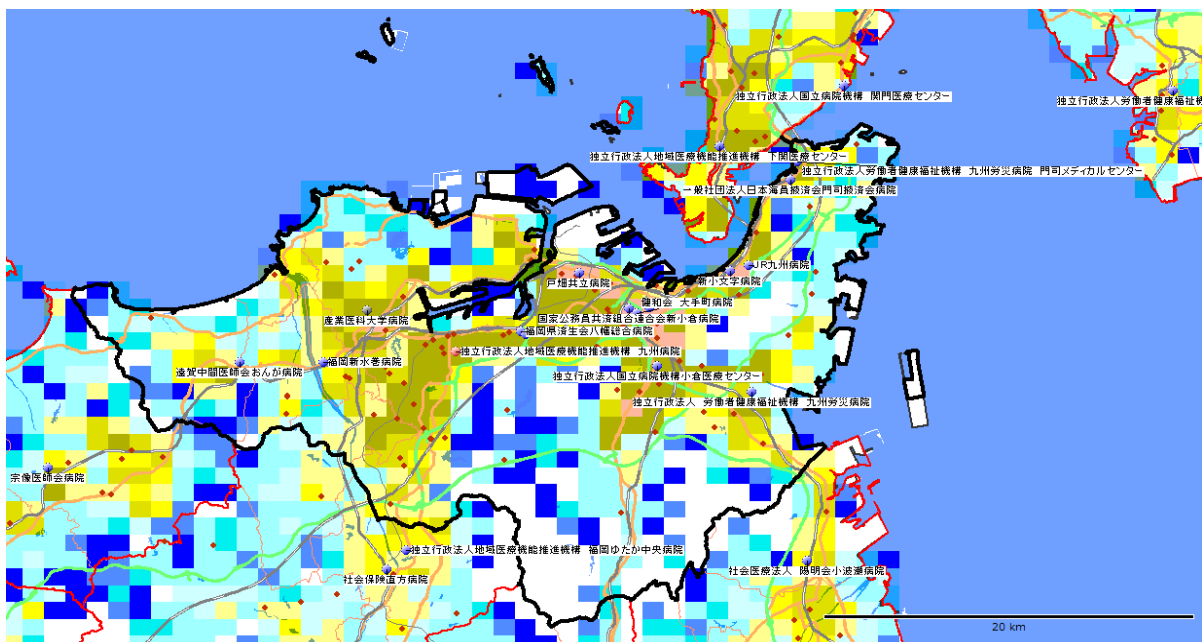


きたきゅうしゅう  
**40-12. 北九州医療圏**

構成市区町村<sup>10</sup>

門司区	若松区	戸畑区	小倉北区
小倉南区	八幡東区	八幡西区	中間市
芦屋町	水巻町	岡垣町	遠賀町

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
 一般病院

## （北九州医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北九州(北九州市門司区)は、総人口約1098千人(2015年推計)、面積597km<sup>2</sup>、人口密度は1839人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北九州の総人口は2025年に1028千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に888千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の164千人が、2025年にかけて213千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には204千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北九州の一人当たり医療費(国保)は371千円(偏差値63)、介護給付費は273千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北九州の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が58(病院医師数59、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。北九州には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小倉記念病院(Ⅲ群)、北九州市立医療センター(Ⅲ群)、JCHO九州病院(Ⅱ群)、産業医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構小倉医療センター(Ⅲ群)、北九州総合病院(Ⅲ群・救命)、九州労災病院(Ⅲ群)、新小文字病院(Ⅲ群)、済生会八幡総合病院(Ⅲ群)、製鉄記念八幡病院(Ⅲ群)、500例以上の北九州市立八幡病院(Ⅲ群・救命)、大手町病院(Ⅲ群)、新小倉病院(Ⅲ群)、戸畑共立病院(Ⅲ群)、福岡新水巻病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北九州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16841人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9912床(偏差値51)、高齢者住宅等が6929床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12549人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム54、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2459人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北九州医療圏の総人口は、2005年1137622人が、2015年に1097809人と3%減少し、2025年の人口が1027674人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

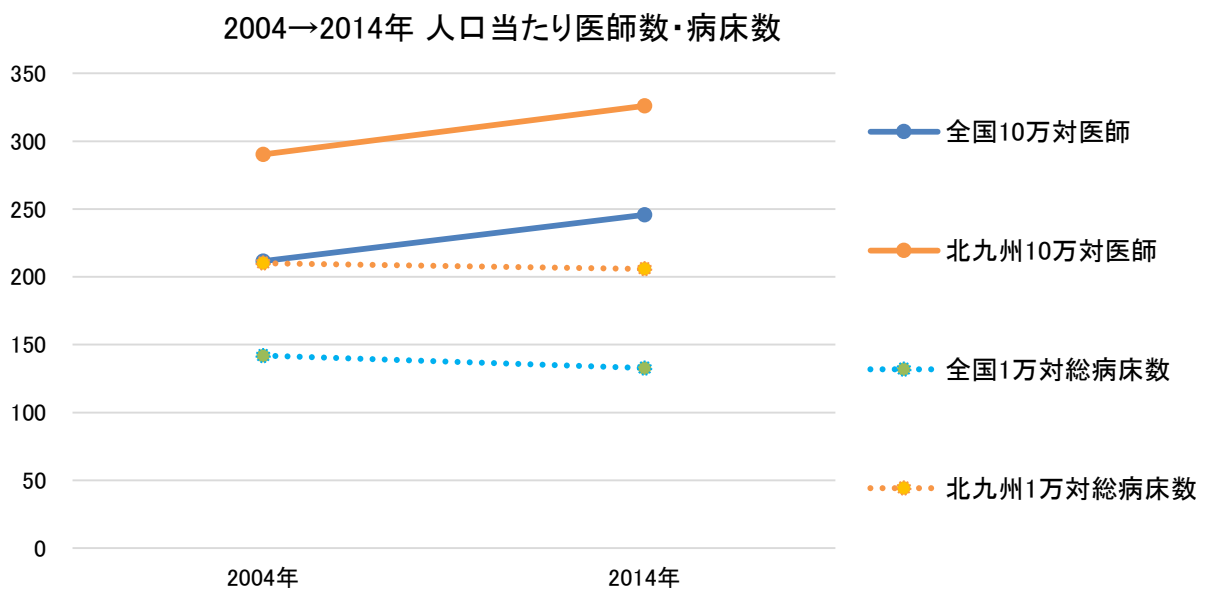
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が105(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に102(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1109(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に1059(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値59)と、50診療所が減少した。

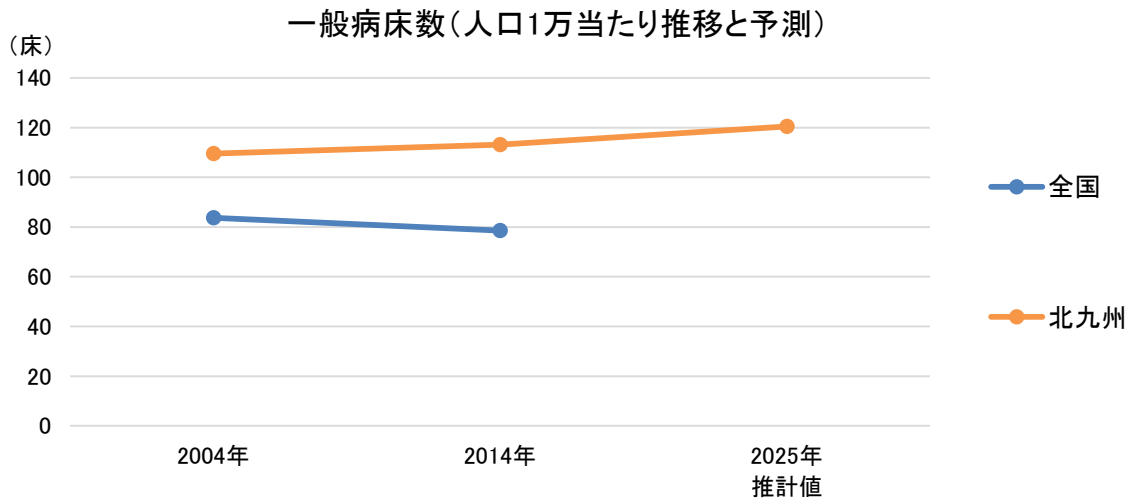
2004年の総病床数が23901床(人口1万人当たり210(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に22602床(人口1万人当たり206(全国平均133)偏差値63)と、1299床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が3302人(人口10万人当たり290人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に3579人(人口10万人当たり326人(全国平均246人)偏差値58)との増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



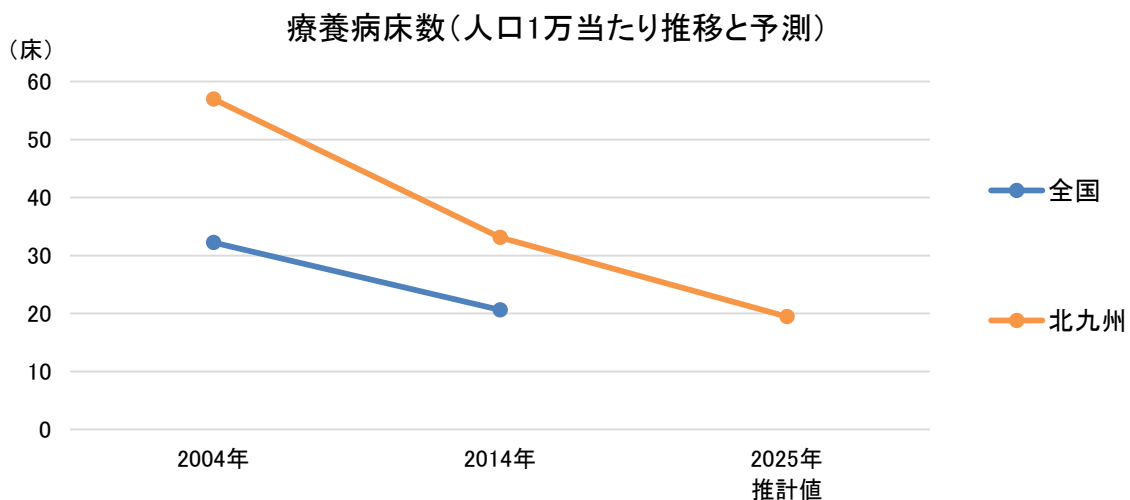
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12465床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に12427床(人口1万人当たり113(全国平均79)偏差値63)と、38床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には12385床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



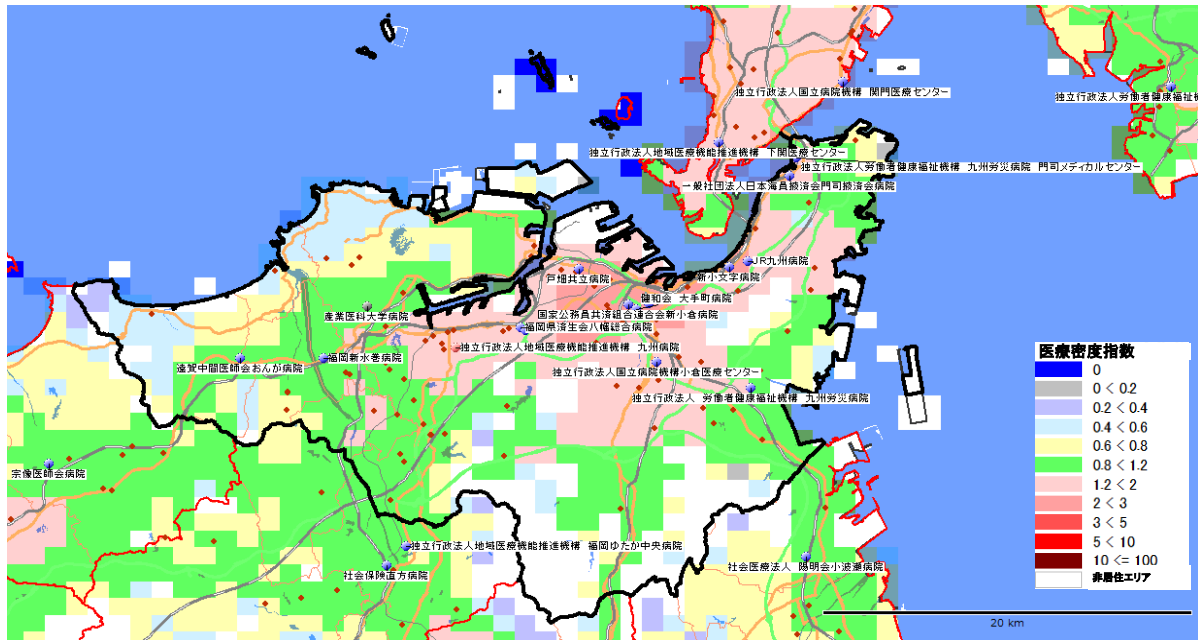
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6581床(75歳以上1000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に5423床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値61)と、1158床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4149床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

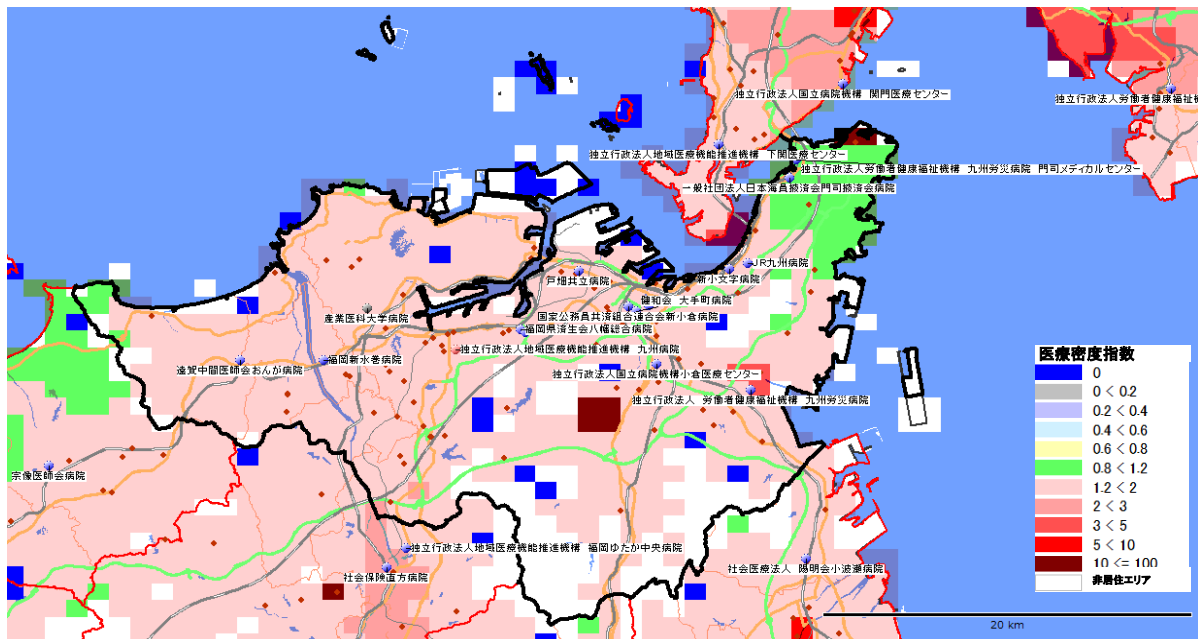


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-12-1 急性期医療密度指数マップ



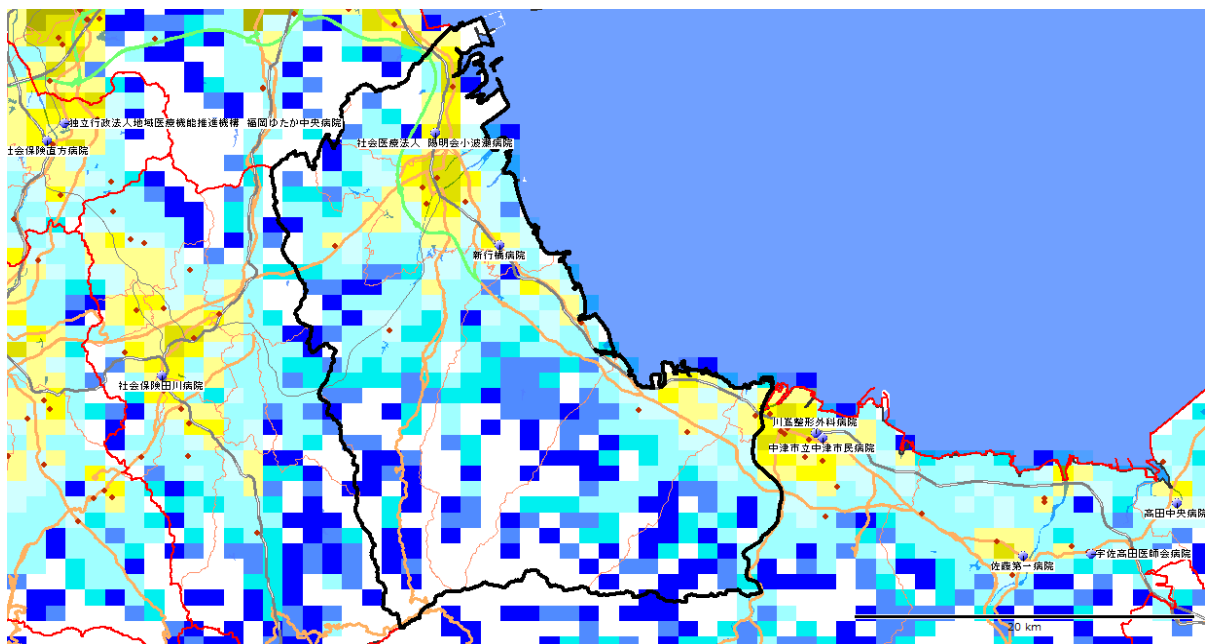
図表40-12-2 慢性期医療密度指数マップ



# 40-13. けいちく京築医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [行橋市](#) [豊前市](#) [荻田町](#) [みやこ町](#)  
[吉富町](#) [上毛町](#) [築上町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (京築医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 京築(行橋市)は、総人口約185千人(2015年推計)、面積566km<sup>2</sup>、人口密度は326人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 京築の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に144千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 京築の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値66)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 京築の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.6で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。京築には、年間全身麻酔件数が500例以上の新行橋病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 京築の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3397人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1989床(偏差値60)、高齢者住宅等が1408床(偏差値58)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2214人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム61、軽費ホーム61、グループホーム53、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値62と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、320人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

京築医療圏の総人口は、2005年191521人が、2015年に184870人と3%減少し、2025年の人口が170292人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

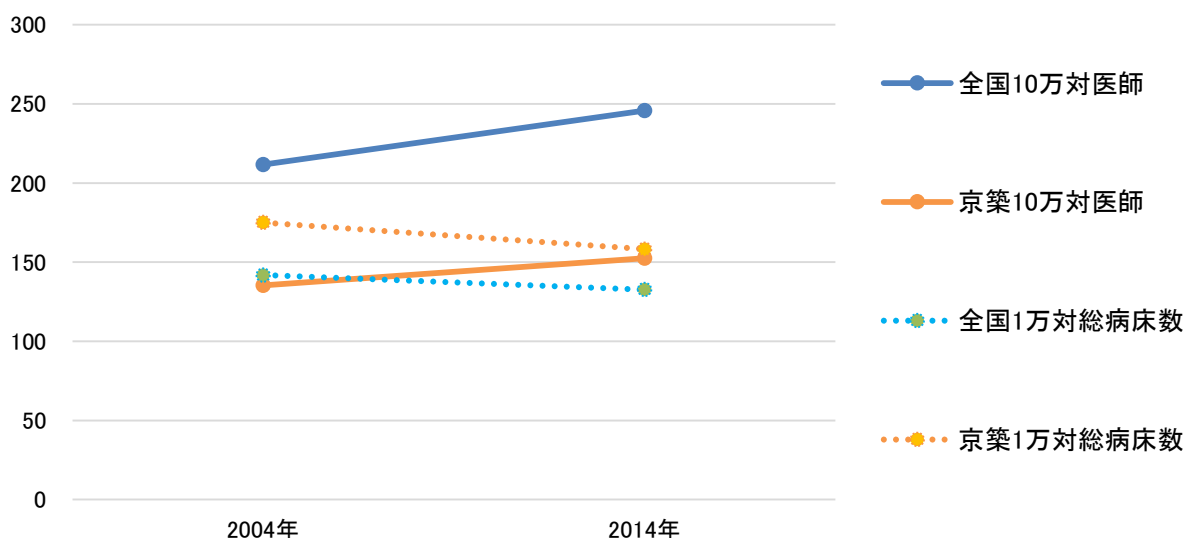
2004年の病院数が17(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に15(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が148(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に163(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値55)と、15診療所が増加した。

2004年の総病床数が3353床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2925床(人口1万人当たり158(全国平均133)偏差値55)と、428床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が259人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に282人(人口10万人当たり153人(全国平均246人)偏差値41)と、23人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

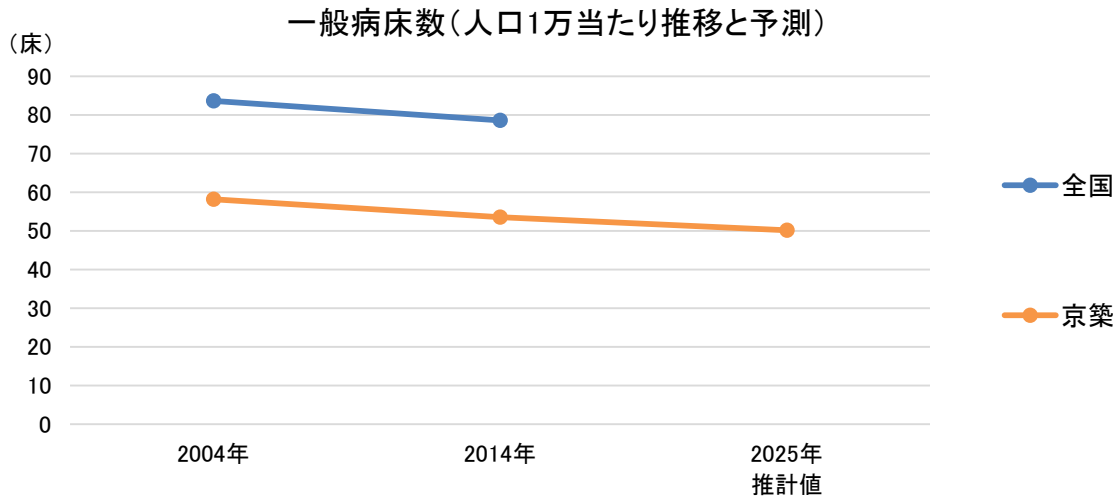
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





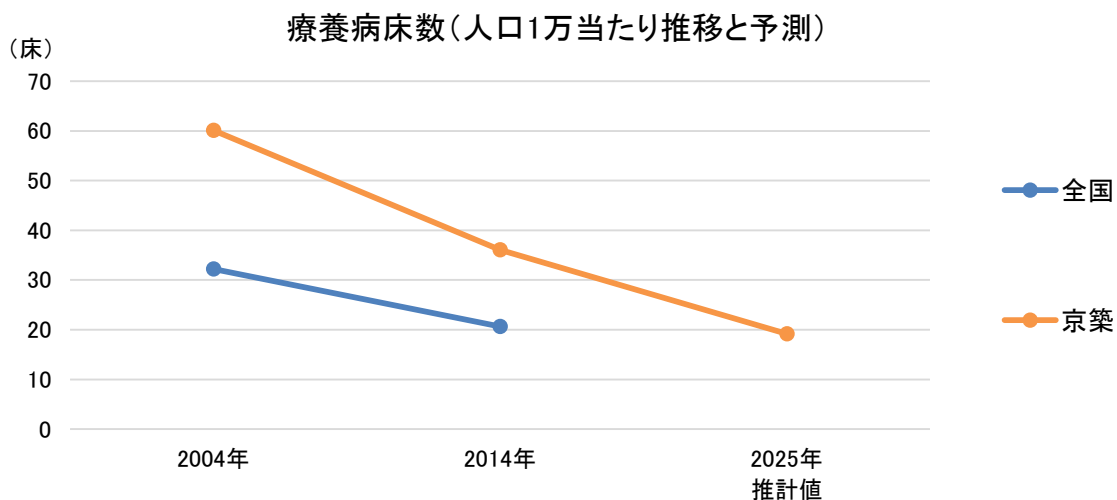
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1114床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に990床(人口1万人当たり54(全国平均79)偏差値41)と、124床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には854床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



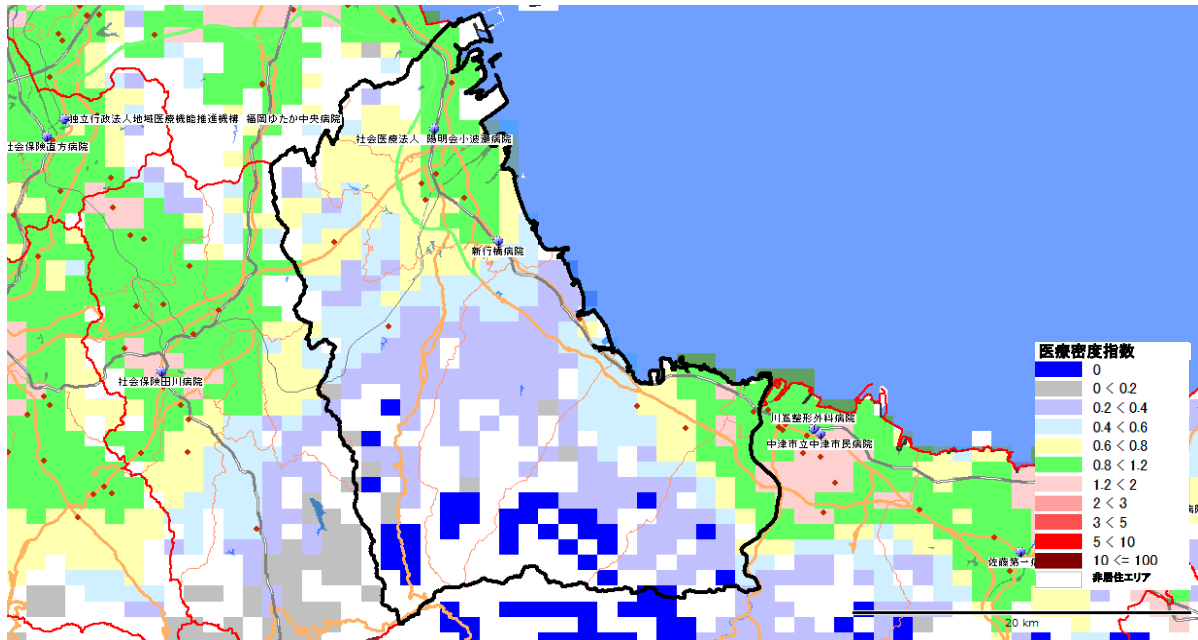
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1297床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に993床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値63)と、304床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には659床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

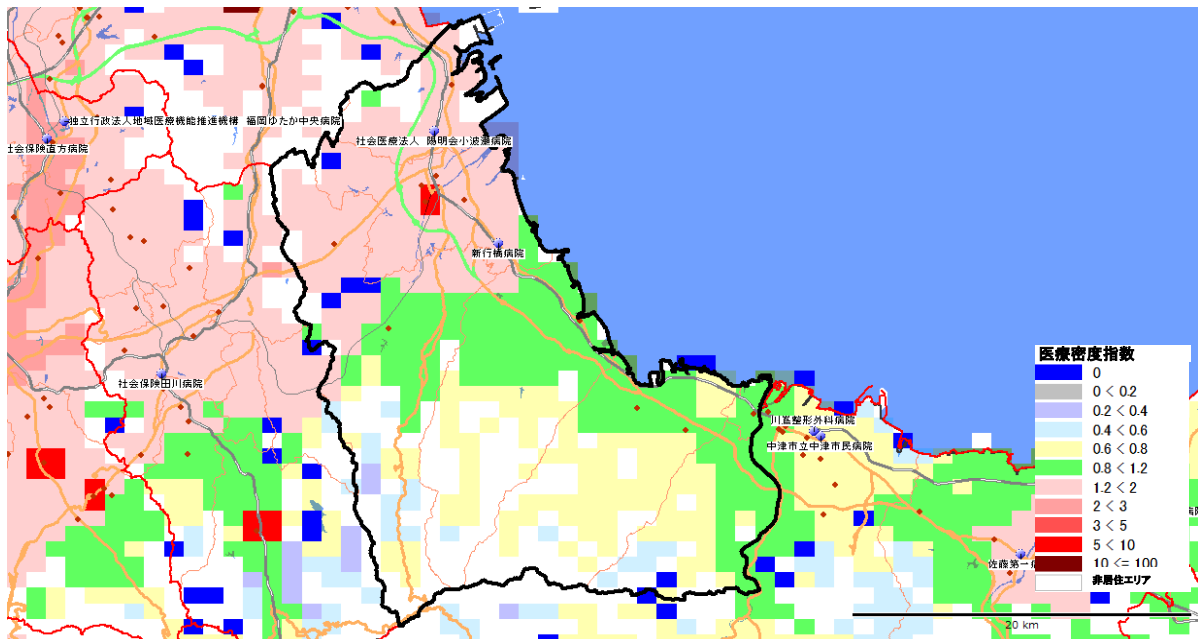


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表40-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-13-2 慢性期医療密度指数マップ



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。